

長崎歴史文化博物館

年報

平成 23 年度



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 年報

平成 23 年度

目次

ごあいさつ	3
1. 沿革	4
2. 基本理念	
(1) 長崎歴史文化博物館の基本方針	6
(2) 行動指針	6
3. 事業方針	7
4. 展示企画事業	
(1) 企画展	8
(2) 常設展	38
(3) 歴史文化展示室リニューアル	44
5. 調査研究事業	
(1) 長崎学調査研究プロジェクト	46
(2) 調査研究活動	50
(3) 史料翻刻事業	51
(4) 資料修理修復事業	52
(5) 資料の管理	55
6. 長崎学・生涯学習支援事業	
(1) 事業概要	59
(2) 一般向け事業	59
(3) 学校向け事業	61
(4) 子供向け事業	63
(5) レファレンス事業	64
(6) 博物館実習	65
(7) 伝統工芸体験工房	65
7. 地域連携事業	
(1) 事業概要	66
(2) 移動博物館	66
(3) イベント実施	66
(4) ボランティア活動	70
8. 広報マーケティング	
(1) 広報ツール	72
(2) 交通広告	72
(3) メールマガジンの発信	73
(4) 企画展ホームページの作成	73
(5) 営業・広報活動	73
9. 利用状況	
(1) 来館者統計	74
(2) 主な出来事と来館者	75
(3) 貸館・貸室	75
10. 収支	76
11. 組織	77
12. 施設概要	
(1) 建築概要	78
(2) 施設平面図	79
13. 関連法規	80
14. 利用案内	113

ごあいさつ

平成 23 年度年報発刊にあたって



開館以来6年間、長崎歴史文化博物館は長崎の歴史や文化に関するローカルかつグローバルな視点に立った「長崎学」調査研究の継承・発展と、その成果の発信、多彩で魅力ある展示・教育活動の展開による集客と地域経済・地域振興への寄与、地域の各団体・機関等との連携、開かれた博物館づくりなどをミッションとして活動して参りました。

平成23年度における主な活動の一つとしては、長崎学調査研究を本格化させたことが挙げられます。調査研究は、博物館活動の中核機能として重視すべきものでありますが、これまでその研究推進体制は必ずしも十分ではありませんでした。その点で今年度は当博物館所蔵のコレクションから中国との交流関係資料の調査研究を行う「コレクション研究部会」、

長崎と中国福建省を東アジア世界における一つの地域圏として捉え直し、「国境」を越えた異文化交流の在り方を研究する「地域研究部会」、福建省との歴史的・文化的交流の様相を博物館という場を通じて人々に紹介する異文化理解教育プログラムの開発と実践にかかわる研究を行う「展示教育研究部会」の3部会から成る「長崎学調査研究プロジェクト」を起ち上げ、その実施に着手できたことに大きな意義を見いだしております。

次に、2011年が、中国近代化の出発点といわれる辛亥革命から100周年を迎えることにちなみ、この革命を指導した孫文と、私心を交えず物心両面で孫文を支援し続けた長崎出身の実業家・梅屋庄吉の国境を越えた友情を紹介することなどで構成した特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」を開催できたことはきわめて画期的であったと思います。これは半年にわたる長期間に及んだうえに、梅屋庄吉の曾孫・小坂文乃氏所蔵の実物資料の初公開であること、中国の関係機関から貴重な品々をお借りして日中共同事業として開催し、友好交流の一つの証にもなったことなど、国内外の多くの人々から高い評価をいただくことができた展覧会であったと思います。

また、前年度、当博物館奉行所展示ゾーンを活用し、今年度も奉行所ゾーンでNHK大河ドラマ50作を記念し、平成22年2月から10月末までのロングラン、「長崎奉行所・大河ドラマ館」を展開したことが注目されました。

さらに、常設展示室「長崎の歴史文化ゾーン」の展示リニューアルを行ったことも大事業でした。11月下旬から24年度3月下旬まで当館メインの展示室を閉鎖しましたので、残念ながら入館者は減少しましたが、約6年間の運営の経験を踏まえ、参加体験アイテムや幕末・維新展示の充実、検索端末（タブレット）による詳しい情報の提供、長崎交流史列伝（ミニシアター）の新設など、改善・充実を図りました。これを積極的にPRし、多くの来館者をお迎えできるように努めたいと考えております。

教育活動は、生涯学習関連講座をはじめ、小中高校教員と連携した「パートナーズプログラム」や、離島の小中学校との「遠隔授業プログラム」、「れきぶん子どもクラブ」などに前進が見られました。また、博物館が来館者の交流・社交・憩いの場になるよう、定期的なミュージアムコンサートや奉行所夏祭りなどのイベントの企画実施に努め、好評をいただきましたし、地域連携事業の実践について学会で発表する機会を得たことも収穫でした。

本年報は、上記に挙げた事業のほか、多彩な活動について館員はもとより、ボランティア、客員・共同研究員、そして何よりも地域の多くの皆様のご協力・ご支援のもとに展開した様々な活動とその成果をまとめたものであります。これを振り返りながら、さらに皆様のご期待に応えられるよう、今後も館員一同、地域に根ざした、進化する博物館づくりに努めてまいりたいと思います。一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

館長 大堀 哲

1 沿 革

平成 10 年 (1998)

11 月 18 日 政策創造会議「諏訪の森部会」設置

平成 11 年 (1999)

12 月 15 日 「諏訪の森部会」最終提言

平成 12 年 (2000)

11 月 30 日 諏訪の森の再整備について（基本方針）公表

平成 13 年 (2001)

1 月 15 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想専門家会議設置（3 月報告書提出）

11 月 14 日 県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結

11 月 16 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想（案）公表

12 月 27 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想策定

平成 14 年 (2002)

2 月 22 日 （株）乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結

2 月 28 日 （株）黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託締結

平成 15 年 (2003)

7 月 19 日 起工式

平成 16 年 (2004)

10 月 15 日 長崎歴史文化博物館条例公布

平成 17 年 (2005)

4 月 1 日 （株）乃村工藝社を指定管理者として指定

5 月 博物館仮事務所開設

7 月 1 日 大堀哲（日本ミュージアム・マネージメント学会会長）初代館長に就任

7 月 5 日 長崎歴史文化博物館事業発表会

8 月 30～31 日 建設工事、展示工事竣工

9 月 1 日 博物館事務所開設式

11 月 3 日 開館記念式典

開館記念特別展「長崎大万華鏡」開催（11 月 3 日～1 月 9 日）

12 月 12 日 入場者数 10 万人突破

平成 18 年 (2006)

8 月 14 日 入場者数 50 万人達成

10 月 20 日 開館 1 周年記念式典

開館 1 周年記念特別展「ローマを夢みた美少年」開催（10 月 21 日～12 月 13 日）

平成 19 年 (2007)

6 月 23 日 入場者数 100 万人達成

11 月 3 日 開館 2 周年

日蘭修好 159 周年・開館 2 周年記念特別展「勝海舟と幕末長崎」開催（11 月 3 日～12 月 9 日）

平成 20 年 (2008)

- 8 月 7 日 入場者数 150 万人達成
- 10 月 31 日 開館 3 周年記念式典
列福式関連特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」開催 (11 月 1 日～1 月 12 日)

平成 21 年 (2009)

- 7 月 8 日 指定管理者選定委員会
- 8 月 14 日 入場者数 200 万人達成
- 10 月 5 日 皇太子殿下御来館
- 11 月 3 日 開館 4 周年
日蘭通商 400 年記念「阿蘭陀と NIPPON」展開催 (10 月 31 日～1 月 11 日)

平成 22 年 (2010)

- 1 月 9 日 「長崎奉行所・龍馬伝館」開催 (～平成 23 年 1 月 10 日)
- 5 月 2 日 入場者数 250 万人達成
- 10 月 11 日 入場者数 300 万人達成
- 11 月 3 日 開館 5 周年
開館 5 周年記念特別展「岩崎彌太郎」開催 (11 月 19 日～1 月 10 日)
- 11 月 15 日 長崎歴史文化博物館 (館長 大堀哲) と中国福建博物院 (院長 呉志躍) との友好館協定締結
- 11 月 18 日 開館 5 周年記念式典

平成 23 年 (2011)

- 2 月 11 日 「長崎奉行所・大河ドラマ館」開催 (～10 月 30 日)
- 7 月 8 日 入場者数 350 万人達成
- 11 月 3 日 開館 6 周年
日中国交正常化 40 周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立 15 周年記念特別展「孫文・梅屋庄吉と長崎」開催 (10 月 1 日～3 月 25 日)



2

基本理念

(1) 長崎歴史文化博物館の基本方針

1) 海外交流史の博物館

海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。

2) 長崎学研究の拠点となる博物館

県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・活用を図るため、さらなる研究体制を強化し、長崎学の研究とその成果の情報発信を行う。

3) 開かれた博物館

子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史や文化に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する。

4) 連携する博物館

長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外および海外の博物館・資料館、学校や研究機関、歴史団体、博物館関連学会との連携を推進する。とりわけ、オランダライデン国立民族学博物館との新たな交流展開とともに中国福建省福建博物院との交流を本格化させる。

5) 体験と発見の博物館

生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。

6) 地域づくりに貢献する博物館

地域の個性や特色を活かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

(2) 行動指針

1) これまでの実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、地域の人材育成に寄与する。また、展覧会や教育普及活動の多彩な実践を通じて新たな利用者層を開拓するとともに、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。

2) 博物館活動の重要な柱の一つである調査研究活動の充実強化を図るため、これまでの教育研究グループから研究グループを独立させ、研究体制を確立させる。このことを通じて資料の収集整理、保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、県・市学芸員、教員、外来研究員と当館研究員との共同研究を実施し成果を上げる。

3) 集客目標を達成するため、「孫文・梅屋庄吉と長崎」展をはじめ、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進はもちろんのこと、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。

4) 博物館施設の有効活動やミュージアムショップ等の附帯施設の活性化、安定的な入館者の確保に取り組み、収益力向上を図る。

3

事業方針

(1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

1) 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地域との連携展を実施するとともに、館長ミュージアムトーク、名誉館長奉行所トーク、さらに研究員による長崎学講座等の多彩な教育普及プログラムを充実し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

2) 施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設の有効活用を推進する。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

3) 調査研究体制の強化と研究成果の創出・情報発信

長崎学の調査研究の充実を図るため、研究及び教育グループ研究員、県市学芸員、外来研究員等との柔軟かつ機能的な共同研究体制を本格的にスタートさせ、長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

(2) 博物館の目的・使命に沿った取り組みの推進

1) 学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、ティーチャーズルームの活性化、スクールパートナーズ、研修会などを通して、教員の博物館活用リテラシーの向上を図ることに努める。また、収蔵資料の複製品等の教育利用貸し出しなどを通じて、学校教育の充実に寄与する。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前講座の計画や沿革授業についてもさらに充実を図る。

2) 地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客の増加に努める。また、利用者満足にさらに配慮し、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3) 博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職員の規律ある行動の遵守に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして学習成果が活かせる環境づくり、その定着化と拡大に努める。

(4) 県内の中核博物館としての取り組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本ミュージアム・マネジメント学会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進するとともに、九州博物館協議会会長館、長崎県博物館協会会長館として新規事業や加盟館職員の研修機会を設けるなどを通して、県内博物館のレベルアップを図る。さらに、博物館の国際化の重要性に鑑み、オランダのほか、中国、韓国等アジア地域の連携博物館の確保に向け取り組む。

(5) 指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として指定管理期間の2期目2年目となる本年度は、その運営の在り方、事業内容、組織としての効率的な取り組み方等を含め、課題・問題を明確にし、その解決方策を探りつつ、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。

1 企画展

安野光雅の絵本—はじめの作品から今日まで—

1, 展示概要

津和野町立安野光雅美術館の開館10周年を記念し開催した全国巡回展。デビュー作『ふしぎなえ』(1968年)をはじめ、初期から近作まで名作絵本の原画を一堂に集め、豊かな知識と想像力を駆使して描かれた独創性あふれる作品とその魅力に迫る内容となった。

開催期間：4月16日(土)～6月5日(日) 49日間
※休館日：4月19日(火)・5月17日(火)

観覧料：大人1,000円・小中高生300円

主催：長崎歴史文化博物館・朝日新聞社・
NCC長崎文化放送

協力：JR九州メンテナンス

後援：長崎県・長崎県教育委員会・長崎市・長崎市教育委員会・佐世保市・佐世保市教育委員会・島原市教育委員会・諫早市教育委員会・大村市教育委員会・平戸市教育委員会・松浦市教育委員会・西海市教育委員会・雲仙市・雲仙市教育委員会・南島原市教育委員会・波佐見町教育委員会・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

展示点数：約200点

総入場者数：8,486名(1日平均173名)

2, 展示構成

- 1, ふしぎ・ABC
 - 2, 旅の絵本
 - 3, 美しい数学
 - 4, 科学と物語
 - 5, 古典への挑戦
 - 6, 物語のある風景
 - 7, 挿絵・ポスター・装丁
 - 0, ふるさと津和野
- 特別章 長崎とオランダ



3, 関連行事

○講演会

「安野光雅の世界」

日時：4月16日(土) 13:00～14:30

会場：1階ホール

講師：大矢鞆音氏(津和野町立安野光雅美術館館長)

参加者：60名

「絵本のある子育てのすすめ」

日 時：5月21日（土）14：00～15：30
 会 場：1階ホール
 講 師：川端強氏（こどもの本の童話館グループ代表）
 参加者：26名

○ワークショップ

ココウォークイベント「水彩鉛筆で缶バッチづくり」
 日 時：4月9日（日）14：00～
 会 場：ココウォーク
 参加者：172名

「あんみつをシル！ミル！エガク！（模写）」

★れきぶん子どもクラブ（前期）連携企画

日 時：4月23日（日）
 14：00～16：00

会 場：講座室
 参加者：23名



切り絵体験

内 容：ボランティアによる切り絵を使った安野作品の読み聞かせと動物の切り絵の作成

日 時：5月1日（日）・5月14日（土）14：00～

会 場：講座室

参加者：[5/1] 35名、[5/14] 15名

絵本の読み聞かせ・折り紙体験

内 容：ボランティアによる安野作品の読み聞かせと絵本で紹介されている折り紙の作成

日 時：5月3日（火・祝）10：30～

：5月4日（水・祝）・5月5日（木・祝）・5月28日（土）14：00～

：5月18日（水）15：30～

会 場：イベントの間

参加者：[5/3] 15名、[5/4] 17名、[5/5] 18名、
 [5/28] 26名、[5/18] 0名

○企画展連携企画

第1回 れきぶんミュージアムコンサート

日 時：4月30日（土）16：30～

演 奏：OMURA 室内合奏団

会 場：1階エントランス
 ホール

参加者：82名



○「第10回国際博物館の日」関連事業

入館料無料企画

5月18日（水）738名（記念品贈呈644名）

○幼稚園向けプログラム（展示案内+缶バッチ作り）

5月16日（月）三和幼稚園 26名

5月24日（火）ひかり幼稚園 48名、
 ほほえみ保育園 18名

6月2日（木）三和幼稚園 27名、
 みのりが丘幼稚園 52名

○学校対応

5月25日（水）桜町小学校図書クラブ 11名

5月31日（火）桜町小学校1年生 85名

5月31日（火）桜町小学校2年生 92名

○制作物 体験用パズル

○展示解説

会期中毎日14：00～
 （40分から60分程度）



4. 展示リスト

	作品（絵本）名	初版出版（年）
	0章 ふるさと津和野	
1	『津和野』女学校あと	1980年
2	『津和野』青野林道から	1980年
3	『津和野』喜時雨の農家	1980年
4	『津和野』機関庫	1980年
5	『昔の子どもたち』蒸気機関車	2002年
6	『昔の子どもたち』鷺舞いごっこ	2002年
7	『昔の子どもたち』鷗外先生	2002年
8	『ついきのうのここと 續 昔の子どもたち』勉強部屋	2005年
9	『ついきのうのここと 續 昔の子どもたち』祭りの店	2005年
10	『ついきのうのここと 續 昔の子どもたち』石見神樂	2005年
11	『雲の歌 風の曲』津和野の風	2005年
12	『木のぼりの詩』自轉車の横乗り	2008年

13	『木のぼりの詩』藁のちゃんばら	2008年
14	『木のぼりの詩』津和野	2008年
15	「安野光雅美術館」ポスター 原画	2001年
16	「安野光雅美術館」ポスター	2001年
	1章 ふしぎ・ABC	
17	『ふしぎなえ』表紙	1968年
18	『ふしぎなえ』扉	1968年
19	『ふしぎなえ』	1968年
20	『ふしぎなえ』	1968年
21	『ふしぎなえ』	1968年
22	『ふしぎなえ』	1968年
23	『ふしぎなえ』	1968年
24	『ふしぎなえ』	1968年
25	『ふしぎなえ』	1968年

26	『ふしぎなえ』	1968年
27	『ふしぎなえ』	1968年
28	『ふしぎなえ』	1968年
29	『ふしぎなえ』	1968年
30	『ふしぎなえ』	1968年
31	『ふしぎなえ』	1968年
32	『さかさま』	1969年
33	『さかさま』	1969年
34	『さかさま』	1969年
35	『さかさま』	1969年
36	『さかさま』	1969年
37	『ふしぎな さーかす』	1971年
38	『ふしぎな さーかす』	1971年
39	『ふしぎな さーかす』	1971年
40	『ふしぎな さーかす』	1971年
41	『ふしぎな さーかす』	1971年
42	『ABCの本 ヘそまがりのアルファベット』"A" Anvil (金床)	1974年
43	『ABCの本 ヘそまがりのアルファベット』"M" Map (地図)	1974年
44	『ABCの本 ヘそまがりのアルファベット』"N" Nut, Nut-cracker (クルミ、クルミ割り)	1974年
45	『ABCの本 ヘそまがりのアルファベット』"V" Violin (ヴァイオリン)	1974年
46	『ABCの本 ヘそまがりのアルファベット』"Z" Zebra (シマウマ)	1974年
47	『あいうえおの本』"あ" あんぱん、あり	1976年
48	『あいうえおの本』"た" たいやき	1976年
49	『あいうえおの本』"ち" ちえのわ	1976年
50	『あいうえおの本』"ふ" ふで	1976年
51	『あいうえおの本』"ら" らむね	1976年
52	『もりのえほん』	1977年
53	『もりのえほん』	1977年
54	『もりのえほん』	1977年
55	『もりのえほん』	1977年
56	『もりのえほん』	1977年
57	『安野光雅の画集』いじわるなこーひーかつぶ	1977年
58	『安野光雅の画集』わたしはしさくのとりこ	1977年
59	『安野光雅の画集』おたまじゃくしはおたまのひまご	1977年
60	『安野光雅の画集』やぶいしゃのななつどうぐ	1977年
61	『安野光雅の画集』ぜんたいをみればまちがっている	1977年
62	『安野光雅の画集』いちじげんのせかいをみるめがね	1977年
63	『安野光雅の画集』ちきゅうのかけ	1977年
64	『空想の繪本』あるお屋敷	1999年
65	『空想の繪本』ジグソウパズル	1999年
66	『魔法使いのABC』"a" ant,anteater (アリ、アリ クイ)	1980年
67	『魔法使いのABC』apple (リンゴ)	1980年
68	『魔法使いのABC』"e" elephant (ゾウ)	1980年
69	『魔法使いのABC』elm (ニレ)	1980年
70	『魔法使いのABC』"i" iguana (イグアナ)	1980年
71	『魔法使いのABC』ivy (ツタ)	1980年
72	『魔法使いのABC』"K" King (キング)	1980年
73	『魔法使いのABC』knobble knapweed (ヤグルマ ギクのなかま)	1980年
74	『魔法使いのABC』"Y" Yacht	1980年

75	『魔法使いのABC』yew (イチイ)	1980年
76	『魔法使いのABC』a,d,e,表紙 製版原稿	1980年
77	『魔法使いのあいうえお』"あ" あさがお	1980年
78	『魔法使いのあいうえお』"ア"	1980年
79	『魔法使いのあいうえお』"き" きかんしゃ	1980年
80	『魔法使いのあいうえお』"キ"	1980年
81	『魔法使いのあいうえお』"し" しろ	1980年
82	『魔法使いのあいうえお』"シ"	1980年
83	『魔法使いのあいうえお』"よ" よろい	1980年
84	『魔法使いのあいうえお』"ヨ"	1980年
85	『魔法使いのあいうえお』"わ" わらぐつ	1980年
86	『魔法使いのあいうえお』"ワ"	1980年
87	『魔法使いのあいうえお』らラ,りリ,ろロ,わワ 製版原稿	1980年
2章 旅の絵本		
88	『旅の絵本V』表紙	2003年
89	『旅の絵本V』扉	2003年
90	『旅の絵本V』	2003年
91	『旅の絵本V』	2003年
92	『旅の絵本V』	2003年
93	『旅の絵本V』	2003年
94	『旅の絵本V』	2003年
95	『旅の絵本V』	2003年
96	『旅の絵本V』	2003年
97	『旅の絵本V』	2003年
98	『旅の絵本V』	2003年
99	『旅の絵本V』	2003年
100	『旅の絵本V』	2003年
101	『旅の絵本V』	2003年
102	『旅の絵本V』	2003年
103	『旅の絵本V』	2003年
104	『旅の絵本V』	2003年
105	『旅の絵本V』	2003年
106	『旅の絵本V』	2003年
107	『旅の絵本V』	2003年
108	『旅の絵本V』	2003年
109	『旅の絵本V』	2003年
110	『旅の絵本V』	2003年
3章 美しい数学		
111	『10人のゆかいなひっこし』表紙	1981年
112	『10人のゆかいなひっこし』表紙	1981年
113	『10人のゆかいなひっこし』裏表紙	1981年
114	『10人のゆかいなひっこし』裏表紙	1981年
115	『10人のゆかいなひっこし』	1981年
116	『10人のゆかいなひっこし』	1981年
117	『10人のゆかいなひっこし』	1981年
118	『10人のゆかいなひっこし』	1981年
119	『はじめてであう すうがくの絵本 1・2・3』 表紙	1982年
120	『はじめてであう すうがくの絵本 1・2・3』 裏表紙	1982年
121	『はじめてであう すうがくの絵本』1・2・3	1982年
122	『はじめてであう すうがくの絵本』1・2・3	1982年

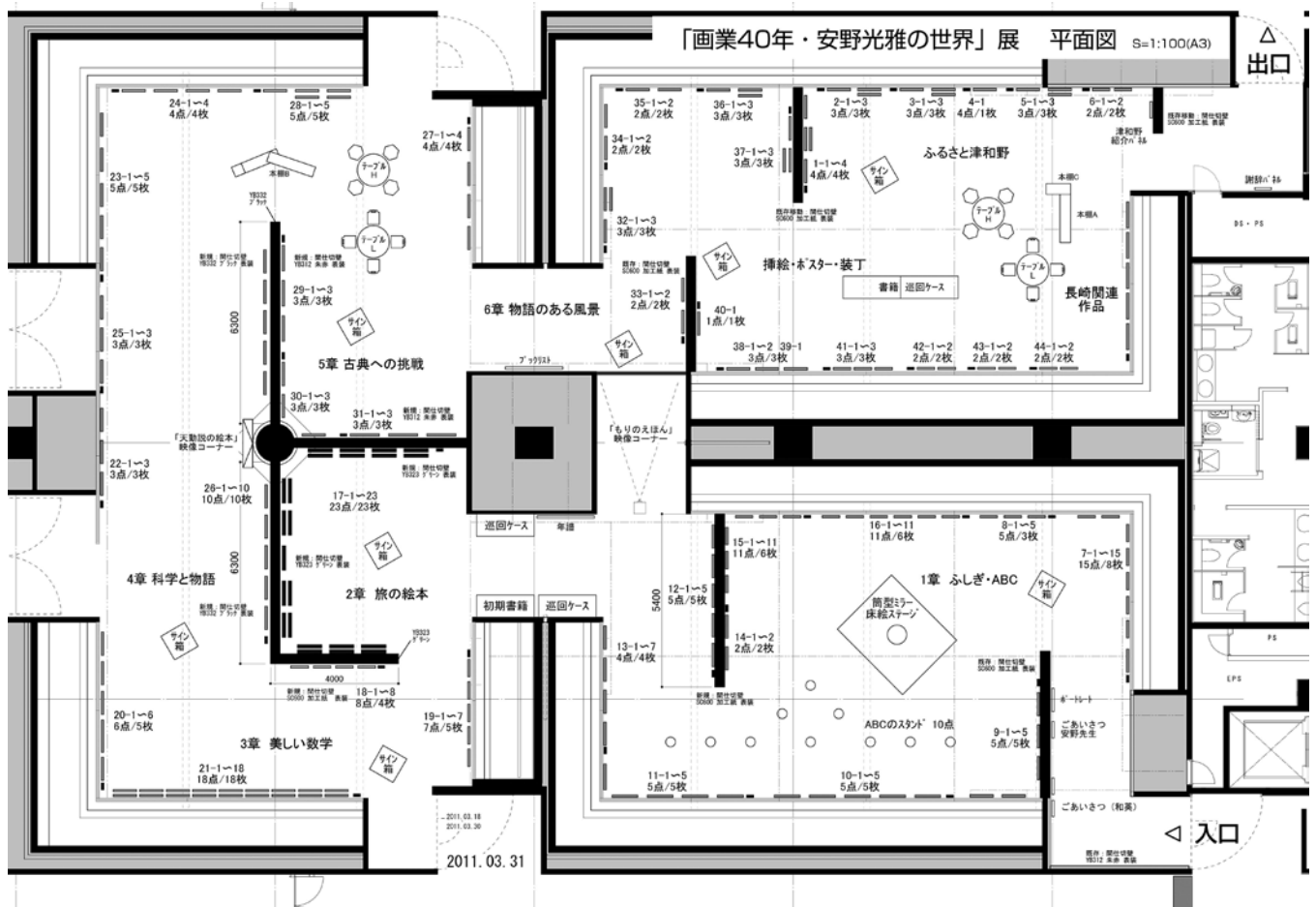
123	『はじめてであう すうがくの絵本』 1・2・3	1982年
124	『はじめてであう すうがくの絵本』 1・2・3	1982年
125	『はじめてであう すうがくの絵本』 1・2・3	1982年
126	『3びきの こぶた』	1985年
127	『3びきの こぶた』	1985年
128	『3びきの こぶた』	1985年
129	『3びきの こぶた』	1985年
130	『3びきの こぶた』	1985年
131	『3びきの こぶた』	1985年
132	『ふしぎなたね』表紙	1992年
133	『ふしぎなたね』裏表紙	1992年
134	『ふしぎなたね』	1992年
135	『ふしぎなたね』	1992年
136	『ふしぎなたね』	1992年
137	『ふしぎなたね』	1992年
138	『ふしぎなたね』	1992年
139	『ふしぎなたね』	1992年
140	『ふしぎなたね』	1992年
141	『ふしぎなたね』	1992年
142	『ふしぎなたね』	1992年
143	『ふしぎなたね』	1992年
144	『ふしぎなたね』	1992年
145	『ふしぎなたね』	1992年
146	『ふしぎなたね』	1992年
147	『ふしぎなたね』	1992年
148	『ふしぎなたね』	1992年
149	『ふしぎなたね』	1992年
	4章 科学と物語	
150	『昔咄きりがみ舌切雀』	1974年
151	『昔咄きりがみ舌切雀』	1974年
152	『昔咄きりがみ舌切雀』	1974年
153	『おおきなもののすきなおうさま』	1976年
154	『おおきなもののすきなおうさま』	1976年
155	『おおきなもののすきなおうさま』	1976年
156	『おおきなもののすきなおうさま』	1976年
157	『おおきなもののすきなおうさま』	1976年
158	『画集 野の花と小人たち』れんげ	1976年
159	『画集 野の花と小人たち』つゆくさ	1976年
160	『画集 野の花と小人たち』つりふねそう	1976年
161	『画集 野の花と小人たち』からすうり	1976年
162	『がまの油 賈作まっちうりの少女』	1976年
163	『がまの油 賈作まっちうりの少女』	1976年
164	『がまの油 賈作まっちうりの少女』	1976年
165	『天動説の絵本』	1979年
166	『天動説の絵本』	1979年
167	『天動説の絵本』	1979年
168	『天動説の絵本』	1979年
169	『天動説の絵本』	1979年
170	『天動説の絵本』	1979年
171	『天動説の絵本』	1979年
172	『天動説の絵本』	1979年

173	『天動説の絵本』	1979年
174	『天動説の絵本』	1979年
175	『蚤の市』	1983年
176	『蚤の市』	1983年
177	『蚤の市』	1983年
178	『蚤の市』	1983年
179	『きつねがひろったイソップものがたり』旅人とクマ	1987年
180	『きつねがひろったイソップものがたり』肉をくわえたイヌ	1987年
181	『きつねがひろったイソップものがたり』キツネとライオン	1987年
182	『きつねがひろったイソップものがたり』キツネとワニ	1987年
183	『きつねがひろったイソップものがたり』キツネとツル	1987年
	5章 古典への挑戦	
184	『繪本 平家物語』小督	1996年
185	『繪本 平家物語』太宰府落	1996年
186	『繪本 平家物語』法住寺合戦	1996年
187	『繪本 シェイクスピア劇場』ヘンリー4世 第2部／第2幕第4場 巨漢フォルスタッフが戦場へ行く前の酒盛りをしている	1998年
188	『繪本 シェイクスピア劇場』ジュリアス・シーザー／第3幕第1場 シーザーがブルータス一派に暗殺される	1998年
189	『繪本 シェイクスピア劇場』夏の夜の夢／第4幕第1場 パックのいたずらでロバ頭にされたボトムに恋する妖精王女。その様子をうかがう妖精王とパック	1998年
190	『繪本 三國志』反董同盟（河南・洛陽）	2008年
191	『繪本 三國志』長安夢幻（陝西・西安）	2008年
192	『繪本 三國志』戦艦炎上（湖北・赤壁）	2008年
	6章 物語のある風景	
193	『イタリアの丘』花の聖母寺	1980年
194	『イタリアの丘』トレビの噴水	1980年
195	『イタリアの丘』アッシジ遠望	1980年
196	『安曇野』茶白山	1981年
197	『安曇野』白馬村	1981年
198	『イギリスの村』バース近くの村	1982年
199	『イギリスの村』ストラトフォードの町並み	1982年
200	『アメリカの風』ニューヨーク五番街	1983年
201	『アメリカの風』リッチモンドの近く	1983年
202	『ドイツの森』ハイデルベルク	1993年
203	『ドイツの森』ツェレ	1993年
204	『ドイツの森』マイセン	1993年
205	『イタリアの陽ざし』マントヴァ	1997年
206	『イタリアの陽ざし』アッシジ	1997年
207	『イタリアの陽ざし』ナポリ	1997年
	挿絵・ポスター・装丁	
208	『スケッチ集「街道をゆく」』名古屋城の正門	1997年
209	『スケッチ集「街道をゆく」』有松	1997年
210	『台湾小景「街道をゆく」スケッチ集』台北故宮	1995年
211	『人情話 松太郎』装画	1985年
212	「IBBY創設25年」ポスター	1978年
213	「IBBY創設25年」ポスター	1978年
214	「IBBY創設25年」ポスター	1978年
215	「ポスター展 フリーダム'80s」ポスター	1980年

216	「ポスター展 フリーダム'80s」ポスター	1980年
217	「頭痛肩こり樋口一葉」ポスター	1984年
218	「頭痛肩こり樋口一葉」ポスター	1984年
219	「貧乏物語」ポスター	1998年
220	「貧乏物語」ポスター	1998年

特別章 長崎とオランダ		
221	『オランダの花』アルクマール チーズ市場の裏	
222	『オランダの花』ハーグ マドローダムの家々	
223	『オランダの花』エイントホーフェンの夕ぐれ	
224	『司馬遼太郎さんと歩いた道』長崎港	
225	『司馬遼太郎さんと歩いた道』長崎市のグラバー園から見た港	

5. 展示図面



長崎・寫眞傳來—知られざる日本写真開拓史 四国・九州・沖縄編

1, 展示概要

四国・九州・沖縄の美術館、博物館、資料館等公共機関が所蔵する幕末から明治期の写真や資料を、東京都写真美術館が調査・体系化した巡回展。オリジナル作品による長崎初の本格的な古写真展となり、日本写真史における長崎の位置づけが確認できる内容となった。

開催期間：6月11日(土)～7月8日(金) 27日間

※休館日：6月21日(火)

観覧料：大人500円・小中高生250円

主催：長崎歴史文化博物館・長崎大学附属図書館・読売新聞社・美術館連絡協議会・N I B 長崎国際テレビ

協賛：ライオン・清水建設・大日本印刷・損保ジャパン・インテックス

協力：東京都写真美術館・日本大学芸術学部

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

展示点数：340点

総入場者数：3,318名(1日平均119名)



2, 展示構成

- 第1部 であい
- 第2部 まなび
- 第3部 ひろがり



3, 関連行事

○講演会

「日本写真史における長崎」 ★長崎学講座連携企画

日時：6月11日(土) 13:00～14:30

会場：1階ホール

講師：天野圭悟氏(初期写真研究者)

参加者：63名



「古写真に見る世界史のなかの長崎」

日時：6月19日(日) 13:00～14:30

会場：1階ホール

講師：姫野順一氏(長崎大学附属図書館長)

参加者：46名

○ワークショップ

「台紙デザインが命! 名刺判写真づくり」

内容：写真師のこだわりが詰まっている写真の台紙デザインに注目し、自分なりの名刺判写真を作成

日時：6月12日(日) 14:00～

会場：講座室

参加者：8名



4, 展示リスト

番号	資料名	制作者	制作年	技法	収蔵館
1	題不詳(松平石見守康直像)	ミルトン・ミラー	文久2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
2	題不詳(京極能登守高朗像)	ミルトン・ミラー	文久2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館

3	題不詳(野々村忠実像)	チャールズ・デフォレスト・フレデリックス	万延元年	ダゲレオタイプ	東京都写真美術館
4	題不詳(甲冑武士の武闘)	ピエール・ロシエ(撮影)・ミルトン・ミラー(印画)	万延元年頃(撮影)／文久2年頃(印画)	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
5	題不詳(甲冑を着けた武士)	ミルトン・ミラー	文久2年頃	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
6	題不詳(甲冑を着けた武士)	ミルトン・ミラー	文久2年頃	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
7	題不詳(女性3人像)	ミルトン・ミラー	文久2年頃	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
8	題不詳(相撲)	ピエール・ロシエ(撮影)・ミルトン・ミラー(印画)	万延元年頃(撮影)／文久2年頃(印画)	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
9	題不詳(相撲)	下岡蓮杖	明治初年	鶏卵紙	東京都写真美術館
10	題不詳(相撲) ジャパニーズコスチュームより	スティルフリード&アンデルセン	明治初年	鶏卵紙に手彩色	東京都写真美術館
11	肥前長崎図	梅香堂	享和2年	多色刷木版	長崎歴史文化博物館
12	題不詳(長崎パノラマ)	制作者不詳	文久元年頃	鶏卵紙	東京都写真美術館
13	題不詳(長崎パノラマ)	制作者不詳	文久元年頃	鶏卵紙	東京都写真美術館
14	長崎港全図	渡辺忠章	明治3年	多色刷木版	長崎歴史文化博物館
15	題不詳(長崎市街の中心と梅香崎居留地)	フェリーチェ・ベアト	慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
16	題不詳(大黒町および出島と長崎港口)	フェリーチェ・ベアト	慶応3年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
17	題不詳(女性と長火鉢)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
18	題不詳(僧侶)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
19	題不詳(脈をとる医者)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
20	題不詳(雪装束の女性)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
21	題不詳(巡礼の親子)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
22	題不詳(お茶と煙草でくつろぐ女性たち)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
23	題不詳(お高祖頭巾の女性)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
24	題不詳(中国女性ア-ヒン)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
25	題不詳(長崎奉行)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
26	題不詳(日本の商人と子供)	フェリーチェ・ベアト	元治元-慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
27	題不詳(長崎大浦外国人居留地)	フェリーチェ・ベアト	慶応元年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
28	題不詳(長崎の庭園)	フェリーチェ・ベアト	慶応2年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
29	題不詳(長崎出島とロシア人居留地)	フェリーチェ・ベアト	慶応元年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
30	題不詳(南山手からの大浦居留地) ベアトアルバムより	フェリーチェ・ベアト	年代未詳	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
31	題不詳(眼鏡橋) ベアトアルバムより	フェリーチェ・ベアト	年代未詳	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
32	題不詳(中島川高麗橋) スティルフリードアルバムより	スティルフリード	年代未詳	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
33	題不詳(中島川河口) スティルフリードアルバムより	スティルフリード	年代未詳	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
34	題不詳(出島の商館長邸横の日本庭園から大浦居留地方面を望む)	ミルトン・ミラー	文久2年頃	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
35	ボードインアルバム	アントニウス・ボードイン、フェリーチェ・ベアト	万延元年、文久3年、元治元年、慶応元年、慶応2年、慶応3年、明治3年	鶏卵紙アルバム	長崎大学附属図書館
36	ボードインアルバム	アントニウス・ボードイン、フェリーチェ・ベアト他	文久2年、文久3年、元治元年、慶応元年、慶応2年、慶応4年、明治3年	鶏卵紙アルバム	長崎大学附属図書館
37	ボードインアルバム	アントニウス・ボードイン、フェリーチェ・ベアト	文久2年、文久3年、元治元年、慶応元年、明治4年	鶏卵紙アルバム	長崎大学附属図書館
38	題不詳(上野彦馬像)	伝・堀江欽次郎	文久元年頃	アンプロタイプ	日本大学藝術学部
39	『舎密局必携』	上野彦馬(抄訳)堀江欽次郎(関)	文久2年	版本	長崎歴史文化博物館
40	上野彦馬書簡	上野彦馬	明治初年	紙に墨	長崎歴史文化博物館
41	題不詳(西園寺公望像)	上野彦馬	明治3年	アンプロタイプ	長崎歴史文化博物館
42	題不詳(松平忠直と3人の男)	上野彦馬	明治5-6年頃	鶏卵紙	東京都写真美術館
43	題不詳(田崎道孝像)	上野彦馬	明治4年頃	アンプロタイプ	東京都写真美術館
44	題不詳(田崎道孝像)	上野彦馬	明治4年頃	アンプロタイプ	東京都写真美術館
45	題不詳(松平忠厚と3人の男)	上野彦馬	明治5-6年頃	アンプロタイプ	東京都写真美術館
46	題不詳(親子3人像)	上野彦馬	明治5年	アンプロタイプ	長崎歴史文化博物館
47	題不詳(男性像)	上野彦馬		アンプロタイプ	長崎歴史文化博物館
48	題不詳(上野彦馬と侍達)	上野彦馬	明治初年	鶏卵紙	東京都写真美術館
49	『遠西奇器述』	川本幸民口述 田中綱紀筆記	嘉永7年	版本	東京都写真美術館
50	題不詳(島津斉彬像)	宇宿彦衛門ら	安政4年	ダゲレオタイプ(レブリカ)	東京都写真美術館
51	ガルハ焼入器	ネグレッティ&ザンブラ社製	幕末期	鉄・ガラス・木	武雄鍋島家資料 武雄市蔵
52	マグネシウムリボン	制作者不詳	幕末期	マグネシウム・竹	武雄鍋島家資料 武雄市蔵
53	木々津又六書状	木々津又六	幕末期	紙に墨	武雄鍋島家資料 武雄市蔵
54	撮影術必携検液器	作者不詳	幕末期	紙に墨	武雄鍋島家資料 武雄市蔵
55	ネグレッティ&ザンブラ社カタログ	ネグレッティ&ザンブラ社	慶応2年頃	活版印刷	武雄鍋島家資料 武雄市蔵

56	携帯用暗室	制作者不詳		木・ガラス・鉄	長崎歴史文化博物
57	非常事務書類	長崎県非常事務係	明治10年	紙に墨	長崎歴史文化博物
58	田原坂 上野彦馬アルバムより	上野彦馬	明治10年頃	鶏卵紙	日本大学藝術学部
59	題不詳(島津久治像)	上野彦馬	元治元年	鶏卵紙	日本大学藝術学部
60	題不詳(母子像)	(上野彦馬)	慶応年間	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
61	題不詳(母子像)	(上野彦馬)	慶応年間	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
62	題不詳(集合写真)	上野彦馬	明治2-5年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
63	題不詳(永見傳三郎像)	上野彦馬	明治2-5年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
64	題不詳(永見豊治郎像)	上野彦馬	明治5-6年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
65	題不詳(少年2人像)	上野彦馬	明治5-6年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
66	題不詳(家族写真)	上野彦馬	明治8-9年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
67	題不詳(幼児像)	上野彦馬	明治8年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
68	題不詳(男性像)	上野彦馬	明治8-9年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
69	題不詳(男性像)	上野彦馬	明治8-9年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
70	題不詳(男性像)	上野彦馬	明治10-11年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
71	題不詳(男性像)	上野彦馬	明治10-11年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
72	題不詳(男性像)	上野彦馬	明治15-16年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
73	題不詳(男性3人像)	上野彦馬	明治16年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
74	題不詳(女性像)	上野彦馬	明治17-18年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
75	題不詳(男性3人像)	上野彦馬	明治17-18年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
76	題不詳(女性像)	上野彦馬	明治18-19年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
77	題不詳(女性2人とこども像)	上野彦馬	明治19年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
78	題不詳(女性2人像)	上野彦馬	明治20-22年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
79	題不詳(女性像)	上野彦馬	明治21年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
80	題不詳(岩瀬公圃像)	上野彦馬	明治22-23年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
81	題不詳(踊衣裳着用写真)	上野彦馬	明治22-23年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
82	題不詳(長崎くんち 本大工町)	上野彦馬	明治24年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
83	題不詳(長崎くんち 興善町)	上野彦馬	明治24年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
84	題不詳(福島少佐シベリア横断成功歓迎写真)	上野彦馬	明治26年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
85	題不詳(福島安正像)	上野彦馬	明治26年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
86	題不詳(上野むら他集合写真)	上野彦馬	明治24-25年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
87	題不詳(上野むら像)	上野彦馬	明治24-25年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
88	題不詳(山下シヅ他集合写真)	上野彦馬	明治24-25年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
89	題不詳(集合写真)	上野彦馬	明治24-25年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
90	題不詳(丁汝昌像)	上野彦馬	明治24-25年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
91	題不詳(ニコライ皇太子像)	上野彦馬	明治24-25年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
92	題不詳(桃太郎像)	上野彦馬	明治25-26年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
93	題不詳(女性像)	上野彦馬	明治25-26年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
94	題不詳(母子像)	上野彦馬	明治30年	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
95	題不詳(原田保次像)	上野彦馬	明治30年	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
96	題不詳(上野彦馬・むら夫妻像)	上野彦馬	明治31-34年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
97	題不詳(上野順次郎夫妻像)	上野彦馬	明治31-34年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
98	題不詳(上野陽一郎・たけ夫妻像)	上野彦馬	明治31-34年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
99	題不詳(上野秀次郎・ひで夫妻像)	上野彦馬	明治31-34年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
100	題不詳(渡瀬定太郎・さく夫妻像)	上野彦馬	明治33-35年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
101	題不詳(橋本勝文像)	上野彦馬	明治34年	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
102	題不詳(上野八重子像)	上野彦馬	明治35年	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
103	題不詳(幼児像)	上野彦馬(香港)	明治23年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
104	題不詳(男性像)	上野彦馬(香港)	明治24-28年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
105	題不詳(女性像)	上野彦馬(上海)	明治24-25年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
106	題不詳(女性像)	上野彦馬(上海)	明治24-28年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
107	題未詳(鮑の浦船着場と長崎港) 上野彦馬アルバムより	上野彦馬	明治7年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
108	長崎 恵比寿 居留地遠景 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
109	長崎 眼鏡橋 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
110	長崎 出島館之圓 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館

111	長崎 小菅造船場 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
112	長崎 市中之景 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
113	長崎 諏訪社大鳥居 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
114	長崎 諏訪神社廻廊 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
115	長崎 本蓮寺 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
116	長崎 諏訪本宮 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
117	大坂 御城玉造口 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
118	東京 三井商事 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
119	兵庫 清盛の塔 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
120	大坂 千円寺之佛 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
121	大坂 中之島 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
122	神戸 宇治山より市中 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
123	大坂 造幣寮 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
124	兵庫 湊川の神社 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
125	西京 三十三間堂 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
126	西京 東寺之塔 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
127	西京 嵐山之景 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
128	西京 嵐山渡月橋之遠景 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
129	西京 廣澤之池 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
130	西京 金閣寺 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
131	西京 二条御城 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
132	西京 御所建礼御門 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
133	西京 五条之橋 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
134	西京 銀閣寺 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
135	西京 銀閣寺之景 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
136	西京 黒谷山門 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
137	西京 丸山 端之寮 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
138	西京 丸山之景 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
139	西京 清水寺舞臺 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
140	西京 清水寺山門 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
141	西京 通天橋 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
142	西京 西大谷目鏡橋 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
143	東京 芝 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
144	東京 芝 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
145	東京 芝 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
146	東京 待乳山之雪 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
147	東京 芝 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
148	東京 向島之堤 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
149	神戸 居留地 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
150	神戸 生田之森 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館

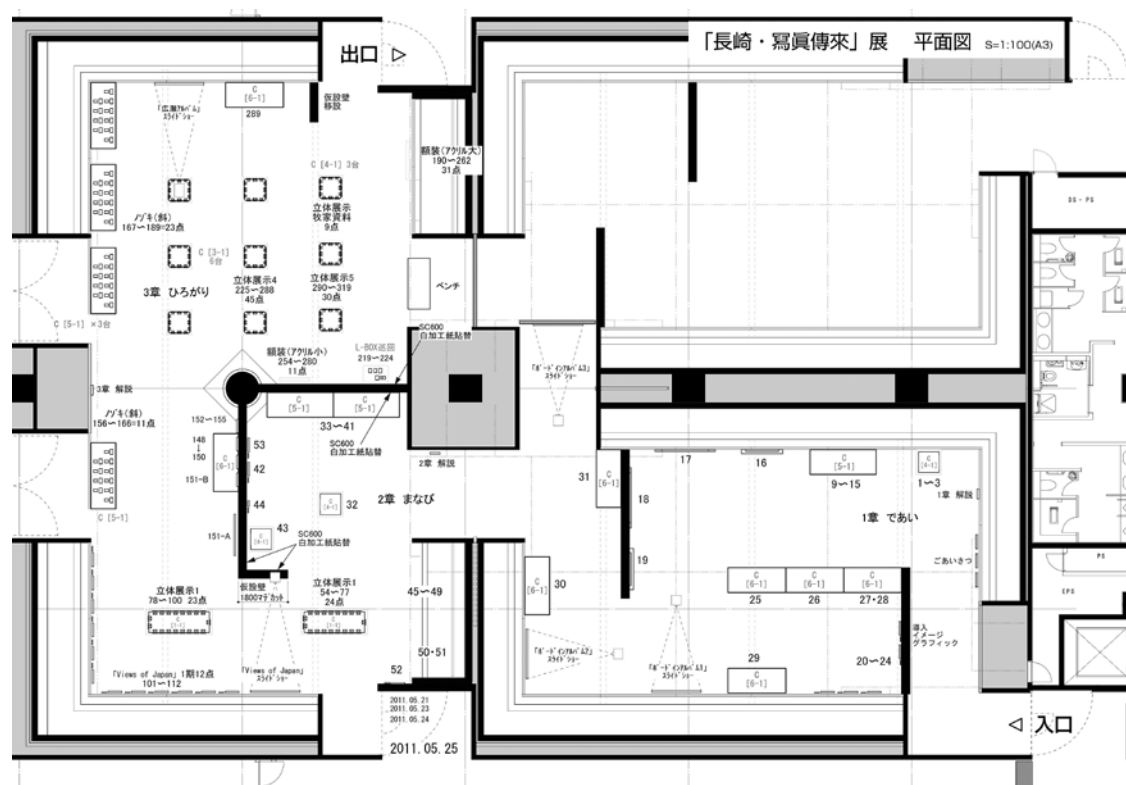
151	大坂 天満橋 京橋之景 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
152	大坂 住吉之反橋 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
153	大坂 四天王寺西門 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
154	大坂 高麗橋 VIEWS OF JAPANより	内田九一	明治7年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
155	題不詳(明治天皇像)	内田九一(撮影)・制作者不詳	明治6年(撮影)	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
156	題不詳(美子皇后像)	内田九一(撮影)・制作者不詳	明治5年(撮影)	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
157	皇太后宮御名夙子・今上天皇御名睦仁・皇后御名美子	内田九一(撮影)	明治5年、明治6年(撮影)	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
158	題不詳(長崎パノラマ)	内田九一(撮影)	明治5年(撮影)	鶏卵紙に手彩色	東京都写真美術館
159	題不詳(長崎大光寺本堂)	内田九一	明治5年	鶏卵紙	長崎大学付属図書館
160	題不詳(長崎大光寺本堂)	フェリーチエ・ベアト	慶応元年頃	鶏卵紙	長崎大学付属図書館
161	長崎市街	内田九一	明治5年	鶏卵紙	東京都写真美術館
162	長崎港	内田九一	明治5年	鶏卵紙	東京都写真美術館
163	長崎 諏訪	内田九一	明治5年	鶏卵紙	東京都写真美術館
164	熊本城	内田九一	明治5年	鶏卵紙	東京都写真美術館
165	題不詳(半井梧菴法橋像)	信夫左司馬	元治元年	アンプロタイプ	個人蔵、愛媛県歴史文化博物館保管
166	題不詳(横井小楠像)	鶴飼玉川	文久元年	アンプロタイプ	個人蔵、横井小楠記念館寄託
167	題不詳(古賀鎔像)	堀与兵衛	慶応4年	アンプロタイプ	佐賀県立博物館
168	題不詳(間島虎之輔像)	堀与兵衛	慶応4年	アンプロタイプ	玉名市立歴史博物館ころビア寄託、森義臣氏蔵
169	題不詳(女性集合写真)	大坂屋佐兵衛	明治初年	アンプロタイプ	玉名市立歴史博物館ころビア寄託、森義臣氏蔵
170	題不詳(葛西辰蔵清純像)	中川信輔	慶応4年	アンプロタイプ	愛媛県歴史文化博物館
171	題不詳(刀を持つ男性座像)	中川信輔	明治初年	アンプロタイプ	愛媛県歴史文化博物館
172	題不詳(集合写真)	(木下助之)	明治元年頃	アンプロタイプ	玉名市立歴史博物館ころビア寄託、森義臣氏蔵
173	題不詳(木下初太郎像)	(木下助之)	明治元年頃	アンプロタイプ	玉名市立歴史博物館ころビア寄託、森義臣氏蔵
174	題不詳(木下助之像)	(木下助之)	明治元年頃	アンプロタイプ	玉名市立歴史博物館ころビア寄託、森義臣氏蔵
175	従軍日記	間島虎之輔	慶応4年	紙に墨	玉名市立歴史博物館ころビア寄託、森義臣氏蔵
176	題不詳(少女像)	(山内家写場)	明治初年	アンプロタイプ	土佐山内家宝物資料館
177	題不詳(豊子像)	制作者不詳	明治初年	アンプロタイプ	東京都写真美術館
178	題不詳(少年像)	制作者不詳	明治初年	アンプロタイプ	新居浜市広瀬歴史記念館
179	題不詳(こうもり傘を持つ女性像)	井上俊三	明治46年頃	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
180	題不詳(女性2人像)	(井上俊三)	明治46年頃	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
181	題不詳(広瀬亀太郎他4人像)	制作者不詳(大阪難波新地にて撮影)	明治5年	アンプロタイプ	新居浜市広瀬歴史記念館
182	題不詳(男性3人像)	制作者不詳	明治7年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
183	題不詳(堀見盾子像)	(井上俊三)	明治10年頃	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
184	題不詳(堀見恭作像)	(藤本乙吉)	明治10年頃	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
185	題不詳(堀見盾子像)	(井上俊三)	明治14年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
186	題不詳(女性2人像)	風山軒	明治14年頃	アンプロタイプ	土佐山内家宝物資料館
187	題不詳(女性2人像)	風山軒	明治15年	アンプロタイプ	土佐山内家宝物資料館
188	題不詳(母子像)	制作者不詳	明治時代中期	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
189	題不詳(男性2人像)	制作者不詳	明治16年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
190	題不詳(3人像)	制作者不詳	明治17年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
191	題不詳(男性2人像)	田中写真師	明治17年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
192	題不詳(堀見恭作・牧野富太郎像)	日新軒	明治17年頃	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
193	題不詳(女性2人像)	萬来軒	明治18年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
194	題不詳(女性とこども2人像)	制作者不詳	明治23年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
195	題不詳(女性像)	(藤本乙吉)	明治33年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
196	題不詳(女性像)	制作者不詳	明治33年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
197	題不詳(男性2人像)	風山軒 今井貞吉	明治22年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
198	題不詳(堀見和香像)	風山軒 今井貞吉	明治28年	アンプロタイプ	高知県立歴史民俗資料館
199	題不詳(歌舞伎役者集)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
200	題不詳(実川延若像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
201	題不詳(実川百々之助像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
202	題不詳(役者像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
203	題不詳(市川助蔵・嵐巖笑像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
204	題不詳(役者像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
205	題不詳(役者像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館

206	題不詳(中村鶴五郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
207	題不詳(沢村曙山像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
208	題不詳(役者像)	浪花曳橋明治軒	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
209	題不詳(役者像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
210	題不詳(中村寿三郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
211	題不詳(嵐璃三郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
212	題不詳(中村駒之助像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
213	題不詳(尾上菊五郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
214	題不詳(尾上多見之助・沢村田之助・坂東家橋像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
215	題不詳(市川左團治像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
216	題不詳(中村福助像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
217	題不詳(中村駒之助・市川右團次・尾上多賀之丞像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
218	題不詳(市川團十郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
219	題不詳(岩井半四郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
220	題不詳(中村芝翫像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
221	題不詳(役者像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
222	題不詳(嵐璃三郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
223	題不詳(市川右團治像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
224	題不詳(中村福助像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
225	題不詳(市川團十郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
226	題不詳(市川團十郎像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
227	題不詳(実川八百蔵像)	制作者不詳	明治16年頃	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
228	題不詳(権大講義半井忠見像)	制作者不詳	明治13年	アンプロタイプ	個人蔵、愛媛県歴史文化博物館保管
229	題不詳(権大講義半井忠見像)	制作者不詳	明治13年	鶏卵紙	個人蔵、愛媛県歴史文化博物館保管
230	題不詳(明治天皇像)	丸木利陽(撮影)	明治21年(撮影)	ゼラチン乾板(ボジ)	佐賀県立佐賀城本丸歴史館
231	題不詳(美子皇后像)	丸木利陽(撮影)	明治21年(撮影)	ゼラチン乾板(ボジ)	佐賀県立佐賀城本丸歴史館
232	大日本帝国高貴肖像	制作者不詳	明治14年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
233	題不詳(山内邦子像)	(清水東谷)	明治初年	コロディオン湿板ネガ	土佐山内家宝物資料館
234	明治重要人物集	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
235	題不詳(単語図(第五~八))	制作者不詳	明治時代中期	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
236	題不詳(男性像)	内田九一写場	明治9年	鶏卵紙	佐賀県立佐賀城本丸歴史館
237	題不詳(男性像)	内田写真館	明治11年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
238	題不詳(集合写真)	内田写真館	明治11年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
239	題不詳(男性像)	内田(大阪順慶町)	明治14-24年頃	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
240	題不詳(増山正治像)	工藤孝	明治30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	玉名市立歴史博物館ころビア
241	題不詳(女性像)	富重利平	明治30年代後半	ゼラチン・シルバー・プリント	長崎歴史文化博物館
242	題不詳(少年像)	藤本乙吉	明治30年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立歴史民俗資料館
243	題不詳(男性4人像)	堀与兵衛(撮影)・風山軒今井貞吉(複写)	明治29年(印画)	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
244	題不詳(男性2人像)	田中松太郎	明治26年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
245	題不詳(堀見家集合写真)	百々稔	明治25年頃	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
246	題不詳(男性3人像)	鈴木捷雲	明治15年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
247	題不詳(男性像)	鈴木捷雲	明治時代中期	ゼラチン・シルバー・プリント	玉名市立歴史博物館ころビア
248	題不詳(男性2人と犬)	中島精一	明治24年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
249	題不詳(松平武修像)	江崎写真館	明治時代中期	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
250	題不詳(松平武修像)	江崎写真館	明治時代中期	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
251	題不詳(少年像)	江崎写真館	明治時代中期	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
252	題不詳(男性像)	江崎礼二	明治16年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
253	題不詳(松平とも子像)	江崎礼二	明治16年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
254	題不詳(少年像)	江崎写真館	明治30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	玉名市立歴史博物館ころビア
255	題不詳(永井尚志像)	小川一真	明治時代中期	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア

256	題不詳(松平武聰像)	清水東谷	明治16年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
257	題不詳(男性像)	鈴木真一(二代)	明治16年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
258	題不詳(井上馨像)	東京印刷局	明治12年頃	鶏卵紙	東京都写真美術館
259	題不詳(細川利永像)	東京印刷局	明治13年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
260	題不詳(松平信安像)	東京印刷局	明治13年	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
261	題不詳(役者像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
262	題不詳(片岡仁左衛門像)	大阪金澤	明治初年	鶏卵紙に手彩色	高知県立歴史民俗資料館
263	題不詳(女性像)	制作者不詳	明治初年	鶏卵紙	武雄鍋島家資料 武雄市蔵
264	題不詳(開業式)	制作者不詳	明治時代初期	鶏卵紙	土佐山内家宝物資料館
265	題不詳(堀見躰像)	制作者不詳	明治3年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
266	題不詳(守田屋正面図)	制作者不詳	明治5-8年頃	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
267	伊予松山城	桂城思風	明治10年	鶏卵紙	愛媛県歴史文化博物館
268	題不詳(女性像)	中村基次	明治10年代	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
269	題不詳(吉原俄七福神)	加藤正吉	明治10年代	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
270	題不詳(吉原俄唐獅子)	加藤正吉	明治10年代	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
271	題不詳(男性像)	大江力太郎	明治時代中期	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
272	題不詳(女性とこども像)	制作者不詳	明治時代初期	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
273	題不詳(女性像)	制作者不詳	明治時代中期	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
274	題不詳(堀見恭作像)	二見堂 保利計泰	明治17年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
275	題不詳(原田茂吉郎肖像画写真)	小豆沢亮一	明治20年	写真油絵	長崎歴史文化博物館
276	題不詳(原田治郎像)	小豆沢亮一	明治20年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
277	題不詳(母子像)	筏梅香堂	明治20年代	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
278	題不詳(女性とこども像)	有光安馬	明治20年代	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
279	高知名物花台	今井栄	明治23-28年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立歴史民俗資料館
280	題不詳(女性3人像)	堀真澄(二代)	明治25年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
281	題不詳(上田有澤像)	長井輝正	明治26年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
282	題不詳(堀見恭作像)	丸木利陽	明治26年頃	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
283	題不詳(堀見恭作像)	制作者不詳	明治28年	サイアノタイプ	高知県立歴史民俗資料館
284	題不詳(男性像)	山本明進軒	明治28年	鶏卵紙	高知県立歴史民俗資料館
285	題不詳(堀見恭作像)	S. マシノ	明治28年	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立歴史民俗資料館
286	題不詳(中岡慎太郎像)	堀与兵衛(撮影)・制作者不詳	慶応2年(撮影)／明治時代後期(印画)	ゼラチン・シルバー・プリント	中岡慎太郎館
287	題不詳(谷干城像)	堀与兵衛(撮影)・制作者不詳	慶応2年(撮影)／明治時代後期(印画)	ゼラチン・シルバー・プリント	中岡慎太郎館
288	題不詳(菊屋峯吉像)	制作者不詳	明治4年(撮影)／明治時代後期(印画)	ゼラチン・シルバー・プリント	中岡慎太郎館
289	題不詳(男女4人像)	制作者不詳	明治4年(撮影)／明治時代後期(印画)	ゼラチン・シルバー・プリント	中岡慎太郎館
290	題不詳(顔を隠す女性像)	小島保光	明治25-36年頃	鶏卵紙	玉名市立歴史博物館ころビア
291	題不詳(女性3人像)	藤本乙吉	明治30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立歴史民俗資料館
292	題不詳(男性像)	武林盛一	明治30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	玉名市立歴史博物館ころビア
293	題不詳(男性2人像)	藤本乙吉	明治32年	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立歴史民俗資料館
294	題不詳(男性4人像)	中黒実	明治35年	ゼラチン・シルバー・プリント	高知県立歴史民俗資料館
295	題不詳(武者姿集合写真)	制作者不詳	明治36年頃	サイアノタイプ	高知県立歴史民俗資料館
296	納入袋	鈴木捷雲	明治16年	紙製袋	玉名市立歴史博物館ころビア
297	納入袋	江崎写真館	明治時代中期	紙製袋	玉名市立歴史博物館ころビア
298	予州別子鉾山写真 広瀬アルバム	中村才次郎	明治14年	鶏卵紙アルバム	新居浜市広瀬歴史記念館
299	題不詳(幼児像)	小達写真館	明治時代中期	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
300	題不詳(長崎くんち 本石灰町傘鉾)	竹下佳治	明治25年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
301	題不詳(少年像)	竹下佳治	明治25年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
302	題不詳(劉永福像)	竹下佳治	明治28年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
303	題不詳(日清戦争関係写真)	竹下佳治	明治28年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
304	題不詳(女性2人像)	薛信二郎	明治初年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
305	題不詳(男性4人像)	薛信二郎	明治15年	鶏卵紙	佐賀県立佐賀城本丸歴史館
306	題不詳(男性2人像)	薛信二郎	明治17年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館

307	題不詳(男女2人像)	薛信二郎	明治20年代初頭	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
308	題不詳(長崎製鉄所)	薛信二郎	明治23年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
309	題不詳(長崎公園)	薛信二郎	明治23年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
310	題不詳(高島炭鉱中島)	薛信二郎	明治23年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
311	題不詳(高島百間崎第三杭)	薛信二郎	明治23年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
312	題不詳(園吉他女性像)	清河武安	明治時代初期	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
313	題不詳(女性2人像)	清河堂	明治10年代	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
314	題不詳(男性像)	清河武安	明治10年代	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
315	題不詳(稲佐遊廓)	清河武安	明治20年代	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
316	題不詳(大浦海岸通り)	清河武安	明治20年代	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
317	題不詳(長崎県尋常師範学校)	清河武安	明治20年代後半	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
318	題不詳(長崎くんち 諏訪町傘鉾)	清河武安	明治26年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
319	題不詳(原田保次他集合写真)	渡瀬定太郎	明治20年代初頭	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
320	題不詳(清水新太郎像)	浦川多三郎	明治10年代	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
321	題不詳(原田保次他少年像)	古賀瑳六	明治33年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
322	題不詳(原田保次他少年像)	古賀瑳六	明治33年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
323	題不詳(女性像)	共盛館	明治時代中期	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
324	題不詳(集合写真)	宮崎(長崎港小島山頭)	明治時代中期	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
325	題不詳(万才図)	鶴田(長崎市梅香崎町写真店)	明治20年代	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
326	題不詳(ロシア皇后像)	為政虎三	明治27-29年頃	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
327	題不詳(洪鐘字像)	光玉館服部	明治時代中期	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
328	題不詳(向畑治三郎・北賀市市太郎像)	石原美代三	明治24年	鶏卵紙	長崎歴史文化博物館
329	題不詳(牧元次郎と不詳の男性)	薛信二郎	明治23-26年頃	POP紙	長崎大学附属図書館
330	題不詳(上野奴意と二人の女性)	薛信二郎	明治16年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
331	題不詳(上野撮影局での牧元次郎のスナップ写真)	牧元次郎	明治25年	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
332	題不詳(天津の武内写真館における牧元次郎の肖像①)	牧元次郎	明治33年頃	POP紙	長崎大学附属図書館
333	題不詳(天津の武内写真館における牧元次郎の肖像②)	牧元次郎	明治34年頃	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
334	題不詳(牧家の家族)	牧元次郎	明治39年頃	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
335	題不詳(幕末の武士達)	牧元次郎	年代未詳	鶏卵紙	長崎大学附属図書館
336	題不詳(ベッドに横たわる入院中の上野彦馬)	上野秀治郎または牧元次郎	明治37年	ゼラチンシルバー	長崎大学附属図書館
337	上野彦馬撮影局のガラス原板	上野彦馬	明治元年頃	コロディオン湿板ネガ	長崎大学附属図書館

5. 展示図面



えびすリアリズム - 蛭子さんの展覧会 -

1. 展示概要

長崎出身の漫画家・タレントである蛭子能収（1947～）の、新作・初公開の作品を中心に紹介する初めての大規模展。「お茶の間でのイメージ通りの蛭子さん」「奇才なアーティスト蛭子能収」を紹介し、特にアーティストとしての知られざる魅力を味わう機会となった。

開催期間：7月15日（金）～9月4日（日） 51日間

※休館日：7月19日（火）

観覧料：大人1,000円・小中高生300円、電車乗車券付記念チケット 大人のみ1,000円

主催：長崎歴史文化博物館・NCC長崎文化放送

共催：BOAT RACE大村・フラワーギャラリーオランダヤ

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・朝日新聞社・長崎新聞社・西日本新聞社・読売新聞長崎支局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

特別協力：長崎電気軌道（株）

展示点数：約150点

総入場者数：5,829名（1日平均114名）



2. 関連行事

○えびすさんゲストイベント

えびす電車出発式

日時：6月18日（土）

9：00～11：00

場所：浦上車庫↔蛭茶屋

出演：蛭子能収氏

参加者：30名



アーティスト蛭子さんによる作画パフォーマンス

日時：7月15日（金）

開会式後11：00～

会場：3階企画展示室

講師：蛭子能収氏

参加者：80名



えびすさんのギャラリートーク

日時：7月16日（土）

13：30～15：00

会場：3階企画展示室内

講師：蛭子能収氏

参加者：166名



えびすさんと歌おう

日時：8月18日（木）14：00～15：00

会場：1階エントランス

出演：蛭子能収氏・長崎少年少女合唱団

参加者：113名

えびすさんのゆったりトークショー

日時：8月20日（土）13：30～15：00

会場：1階ホール

出演：蛭子能収氏、ミニー吉野氏

参加者：175名

えびすさんと一緒にオリジナル缶バッジやうちわをつくろう

日時：8月27日（土）

会場：JR長崎駅かもめ広場

出演：蛭子能収氏

参加者：116名



○ワークショップ

まんが缶バッジづくり

日時：7月22日（金）・8月13日（土）・8月21日

（日）14：00～16：00

会場：1階エントランス

参加者：[7/22] 84名、[8/13] 45名、[8/21] 82名

汗が吹っ飛ぶうちわをつくろう

日時：8月12日(金)・8月28日(日)

14:00～16:00

会場：1階エントランス

参加者：[8/12] 58名、

[8/28] 12名



○長崎商業高校コラボ作品除幕式

日時：8月6日(土)

会場：3階ロビー

参加者：30名



○展示解説 会期中毎日14:30～
(40分から60分程度)

○エビスクイズラリー 会期中毎日 参加者：578名

3. 展示リスト

	作品名	形状・材質
1	月刊漫画 ガロ No140 1975 4月号	漫画雑誌
2	月刊漫画 ガロ No148 1975 12月号	漫画雑誌
3	月刊漫画 ガロ 1993.4	漫画雑誌
4	月刊漫画 ガロ 2001.2	漫画雑誌
5	蛭子能収コレクション 映画編	漫画単行本
6	蛭子能収コレクション SF&ミステリー編	漫画単行本
7	蛭子能収コレクション 動物編	漫画単行本
8	蛭子能収コレクション ギャンブル編	漫画単行本
9	蛭子能収コレクション 地獄編	漫画単行本
10	蛭子能収コレクション 病気編	漫画単行本
11	蛭子能収コレクション グルメ編	漫画単行本
12	明るい映画館	漫画単行本
13	私立探偵エビスヨシカズ	漫画単行本
14	黒いギャンブラー	漫画単行本
15	俺は大丈夫	漫画単行本
16	これは何だ!!	漫画単行本
17	蛭子能収の人生日記	漫画単行本
18	蛭子漫画	漫画単行本
19	笑う悪魔の黙示録	漫画単行本
20	黒いギャンブラー	漫画単行本
21	地獄に墜ちた教師ども	漫画単行本
22	私はバカになりたい	漫画単行本
23	えびすビンゴ	漫画単行本
24	芸能人对局麻雀SEGASATURN	DVD
25	芸能人对局麻雀PlayStation	DVD
26	えびすパイレーツのうた	DVD
27	諫山節考	DVD
28	いとしのマックス	DVD
29	STOP! AIDS	Tシャツ
30	失言辞典	イラスト(本)
31	競馬裏ちゃんねる	カバーイラスト(本)
32	「お約束」考現学	カバーイラスト(本)
33	ちゃぶニチュード!	カバーイラスト(本)
34	2005年大河ドラマ 義経 第29回「母の遺言」	TV放送台本
35	2010年大河ドラマ 龍馬伝 第26話「薩摩の怪物」	TV放送台本
36	スペシャルドラマ 坂の上の雲 第1回 少年の国	TV放送台本

37	ドラマ福家警部補の挨拶～オッカムの剃刀～ 決定稿	TV放送台本
38	土曜ドラマ 刑事の現場 第1回「苦い逮捕」(連続4回)	TV放送台本
39	土曜ドラマ マチベン ファイナルNo. 3 (連続6回)	TV放送台本
40	連続テレビ小説 どんと晴れ 第2週(第7回～第12回) 「ひとりぼっちの旅立ち」	TV放送台本
41	連続テレビ小説 どんと晴れ 第4週(第19回～第24回) 「親の気持ち」	TV放送台本
42	鶴瓶の家族に乾杯 岐阜県 岐阜市	TVスタジオ台本
43	スペシャルドラマ ラーメン発見伝 決定稿	TV放送台本
44	めぞん一刻2(仮) 準備稿	TV放送台本
45	金曜ナイトドラマ 帰ってきた時効警察 第1話	TV放送台本
46	月曜ゴールデン 西園寺リカの殺人ノート	TV放送台本
47	パナソニックドラマシアター ハンチョウ神南署安積班-SERIES2- 第6話 撮影稿	TV放送台本
48	月曜ゴールデン新春特別企画 内部調査官・水平直の報告(仮題) 決定稿	TV放送台本
49	厄年結婚!(仮) 1 決定稿	TV放送台本
50	花嫁は厄年ッ! 12(最終話) 決定稿	TV放送台本
51	金曜プレステージ おばさんデカ 桜乙女の事件帖 ファイナル(仮題) 決定稿	TV放送台本
52	ガリレオ 第2章 離脱る	TV放送台本
53	ミッドナイト☆ドラマ 超人ウチダ 第5話 決定稿	TV放送台本
54	ドラマW ビート 決定稿	TV放送台本
55	BS朝日オリジナルドラマ ラストメール 第1話	TV放送台本
56	BS朝日オリジナルドラマ ラストメール 第10話	TV放送台本
57	見習い警察犬きな子が行く!(仮) 撮影準備稿	台本
58	マリと子犬の物語 決定稿	台本
59	自虐の詩 仮題	台本
60	エクステ hair extension 撮影稿	台本
61	ツルモク独身寮 決定稿	台本
62	ご存知!ふんどし頭巾	台本
63	新・どくだみ荘	台本
64	ALOT OF PEOPLE ララピポ 決定稿	台本
65	東京タワー～オカンとボクと、時々、オトン～(仮題) 決定稿	台本
66	劇場用映画 ホームレスが中学生 決定稿	台本
67	ソフトボーイ FINAL DRAFT2009#0827	台本
68	A KAZUAKI KIRIYA FILM GOEMON Final 2007.08.16	台本

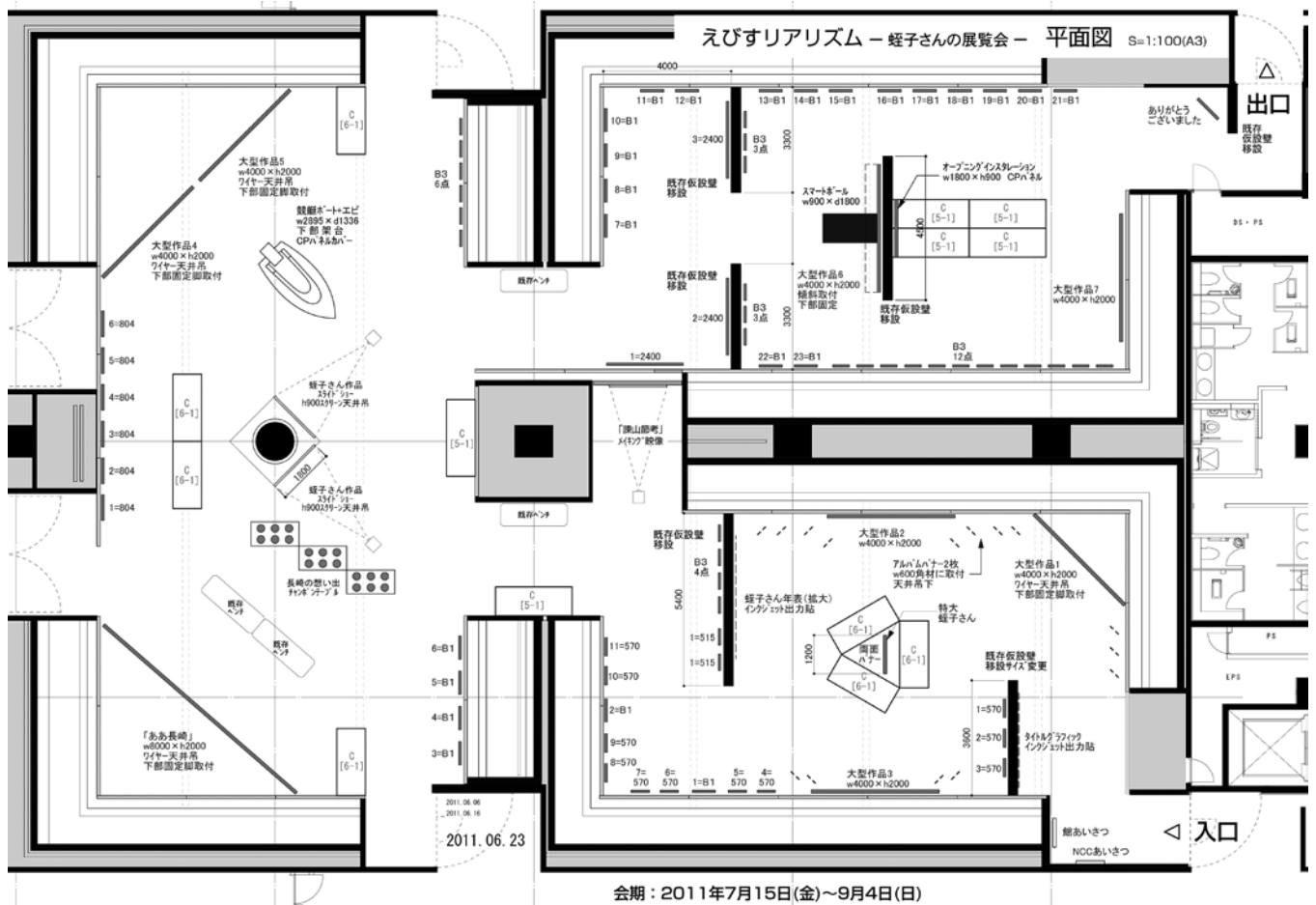
69	SOUL TRAIN ソウルトレイン 決定稿	台本
70	次郎長三国志 決定稿	台本
71	次郎長三国志 撮影稿	台本
72	「飛べる人」	アクリル/ケント紙・木製パネル
73	「汗!!」	アクリル/ケント紙・木製パネル
74	「遊ぼう」	アクリル/ケント紙・木製パネル
75	「ゾー」	アクリル/ケント紙・木製パネル
76	「踊りましょう」	アクリル/ケント紙・木製パネル
77	「珈琲から逃げる馬」	アクリル/ケント紙・木製パネル
78	「綱渡り」	アクリル/ケント紙・木製パネル
79	「ああ長崎…」	アクリル/ケント紙・木製パネル
80	「助けて」	アクリル/イラストボード
81	「怒った」	アクリル/イラストボード
82	「サラリーマン」	アクリル/イラストボード
83	「ストップ」	アクリル/ケント紙・木製パネル
84	「上を見るな」	アクリル/ケント紙・木製パネル
85	「落ちる!!」	アクリル/ケント紙・木製パネル
86	「かくれんぼ」	アクリル/ケント紙・木製パネル
87	「社長」	アクリル/ケント紙・木製パネル
88	「衝突」	アクリル/ケント紙・木製パネル
89	「地獄行き」	アクリル/ケント紙・木製パネル
90	「東京」	アクリル/ケント紙・木製パネル
91	「何だこれ!!」	アクリル/ケント紙・木製パネル
92	「崖に座ってみる」	アクリル/ケント紙・木製パネル
93	「淋しい生活」	アクリル/ケント紙・木製パネル
94	「黒いギャングラー」	アクリル/イラストボード
95	「寝る馬は何を考えているか!!」	アクリル/イラストボード
96	「人間達へのメッセージ」	アクリル/イラストボード
97	「バラバラ事件だ!!」	アクリル/イラストボード
98	「馬には馬の道がある!!」	アクリル/イラストボード
99	「働く人と遊ぶ人」	アクリル/イラストボード
100	「馬主はイライラして!!」	アクリル/イラストボード
101	「狂った社長!!」	アクリル/イラストボード
102	「そして誰もいなくなった!!」	アクリル/イラストボード
103	「ちくしょう」	アクリル/イラストボード
104	「大きい」	アクリル/イラストボード
105	「眠い…」	アクリル/ケント紙・木製パネル
106	「待って!!」	アクリル/ケント紙・木製パネル

107	「転ぶ…」	アクリル/イラストボード
108	「泣く…」	アクリル/イラストボード
109	「ガッカリ…」	アクリル/イラストボード
110	「負けた…」	アクリル/イラストボード
111	「走る…」	アクリル/イラストボード
112	「寝る…」	アクリル/イラストボード
113	「サーフィン」	アクリル/ケント紙・木製パネル
114	「空を歩く少年」	アクリル/ケント紙・木製パネル
115	「街路樹」	アクリル/ケント紙・木製パネル
116	「チャンポンを食べる家族」	アクリル/ケント紙・木製パネル
117	「小さな喧嘩」	アクリル/ケント紙・木製パネル
118	「金を見つけた」	アクリル/ケント紙・木製パネル
119	「登る人」	アクリル/ケント紙・木製パネル
120	「止まれ!!」	アクリル/ケント紙・木製パネル
121	「重い顔」	アクリル/ケント紙・木製パネル
122	「危険な道」	アクリル/ケント紙・木製パネル
123	「くつろぐヌコ」	アクリル/ケント紙・木製パネル
124	「股の下を潜る電車」	アクリル/ケント紙・木製パネル
125	おみくじボール	アクリル/木
126	えびすボート「エビ号」	油性ペンキ/競艇ボート
127	エビオブジェ	スチレン削り出しに塗装
128	ちゃんぽんオブジェ	原画コピー/食品サンプル・ラーメン丼
129	ミニ吉野「肖像画」	カンバス/油彩
130	ドコモ配信 田中の冒険	原画/スライド上映
131	「GOGO長崎新幹線」	ポスター
132	黒いギャングラーNo.1俺の会社は狂ってない!!	原画
133	黒いギャングラーNo.3恐るべき短距離戦	原画
134	黒いギャングラーNo.29こんな馬がいた!!	原画
135	黒いギャングラーNo.30最終レース!!	原画
136	黒いギャングラー最終話それ行け出発!	原画
137	地獄の奥さん	原画
138	地獄の10分戦	原画
139	年賀状 昭和42年(1967)～平成23年(2011)	年賀状
140	蛭子能収・富永佳宏発行 MANGAHON 昭和45年(1970)	自費出版漫画雑誌
141	長崎から上京する旅路 秋吉台バス発着所 昭和45年(1970)	写真
142	長崎から上京する旅路 秋芳洞入口 昭和45年(1970)	写真
143	長崎から上京する旅路 小郡駅 昭和45年(1970)	写真
144	長崎商業高等学校美術部 第5回立体デザイン展 昭和41年(1966)	写真
145	長崎商業高等学校美術部 卒業展 昭和41年(1966)	写真
146	長崎商業高等学校美術部の仲間たちと クリスマス会 昭和39年(1964)頃	写真

147	長崎商業高等学校美術部の仲間たちと成人式 昭和42年 (1967)	写真
148	長崎商業高等学校美術部の恩師・山田正孝先生	写真
149	長崎商業高等学校美術部 第5回立体デザイン展 蛭子能取出品作品 昭和41年 (1969)	アクリル/ケント紙

150	長崎新聞 「シャッター画廊」誕生記事 昭和41年 (1966) 10月16日夕刊	新聞
-----	--	----

5. 展示図面



孫文と梅屋正吉展

1. 展示概要

日中国交正常化40周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立15周年にあたる本年度に、辛亥革命100周年を記念し、革命の中心的指導者「孫文」と、それを物心両面で支え続けた、長崎出身の実業家「梅屋庄吉」との友情や心の交流、生き方を日中両国の貴重な資料も基に再現し紹介した企画展。小坂文乃氏所蔵の梅屋庄吉関係資料の完全初公開の大型展示となった。

開催期間：10月1日(土)～3月25日(日) 171日間
※休館日：10月18日(火)・11月15日(火)・
12月20日(火)・1月17日(火)・
2月21日(火)・3月21日(水)

観覧料：大人800円・小中高生400円

主催：長崎県・長崎市・長崎歴史文化博物館

後援：中国大使館・駐長崎中国総領事館・中国人民対外友好協会・中国日本友好協会・湖北省人民対外友好協会・武漢市人民対外友好協会・江蘇省人民対外友好協会・南京市人民対外友好協会・広東省人民対外友好協会・中山市人民対外友好協会・香港貿易発展局・外務省・辛亥革命百年記念行事日本実行委員会・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・財団法人孫中山記念会・長崎華僑総会・長崎新華僑華人会・長崎県日中親善協議会・「孫文と梅屋庄吉」発信プロジェクト推進協議会・西日本新聞社・読売新聞社長崎支局・NHK長崎放送局・FM長崎・長崎ケーブルメディア・長崎県タクシー協会

特別協力：小坂文乃・上海市人民対外友好協会・株式会社乃村工藝社

展示点数：約300点

総入場者数：36,739名(1日平均214名)

総動員数：57,246名



2. 展示構成

- 1章 日中交流の系譜と長崎
- 2章 運命の出会い
- 3章 宋慶齡・梅屋トク
- 4章 盟友たちの描いた中国
- 5章 受け継がれる交流の架け橋



3. 関連行事

○講演会

「明治の新聞人たち」★長崎学講座連携企画

日時：10月2日(日) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：越中 勇(当館主任研究員)

参加者：47名

「長崎の近代史の魅力 - 日中関係の架け橋 -」

日時：10月22日(土) 14:30～16:00

会場：1階ホール

講師：川島 真氏(東京大学大学院准教授)

参加者：54名

「セピアの記憶

- 古写真にみる異文化コミュニケーション -」

日時：11月26日(土) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：姫野 順一氏(長崎大学大学院教授・附属図書館長)

参加者：51名

「孫文と長崎華僑」

日 時：12月17日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：陳 東華氏（長崎県華僑総会副会長兼事務局長）

参加者：71名

「『内憂』『外患』の嵐の中で

- 孫文と梅屋が活躍した時代 -」

日 時：平成24年1月14日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：趙 軍氏（千葉商科大学教授）

参加者：41名

「曾祖父母、梅屋庄吉・トクの記憶と長崎」

日 時：平成24年2月25日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：小坂 文乃氏（梅屋庄吉曾孫・日比谷松本楼常務取締役企画室長）

参加者：151名

「『孫文・梅屋庄吉と長崎』プロジェクト」

日 時：平成24年3月10日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：藤 泉氏（元長崎県参与）

参加者：72名

○講座

「梅屋庄吉の架けた橋『孫文像』」

日 時：12月4日（日）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：海江田 義広氏（長崎県文化振興課係長 学芸員）

参加者：21名

「長崎資料から見る梅屋庄吉」

日 時：12月23日（金・祝）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：石尾 和貴氏（長崎県文化振興課主事）

参加者：38名

「日中交流と長崎県の媽祖」

日 時：2012年1月21日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：松下 久子氏（長崎県文化振興課主任学芸員）

参加者：37名

「上海・長崎とアジアの近代」 ★長崎学講座連携企画

日 時：平成24年1月28日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：平岡 隆二（当館主任研究員）

参加者：61名

「近代の長崎 - 明治初期における長崎県と港のかかわり」

★長崎学講座連携企画

日 時：平成24年2月4日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：徳永 宏氏（長崎県文化振興課学芸員）

参加者：60名

「江戸時代の華僑ネットワークと海外情報」

日 時：平成24年3月17日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：深瀬 公一郎（当館主任研究員）

参加者：44名

「活弁士が語る梅屋庄吉と孫文」

日 時：平成24年2月11日（土）14：00～15：30

会 場：1階ホール

講 師：麻生八咫氏（活動写真弁士）

参加者：70名

○中国映画上映会

上映作品：「雪花と秘文字の扇」「赤い星の生まれ」「星の音」

日 時：11月1日（火）14：00～18：00・2日（水）13：00～18：00・3日（木）10：00～14：30

会 場：1階ホール

参加費：1,000円（企画展観覧料込み）

参加者：147名（3日間分）



○上映会特別講演会「中国の映画事情」

日 時：11月1日（火）

会 場：1階ホール

ゲスト：耿 忠氏

（日中友好映画祭実行委員会理事長）、

李 纓氏

（日本映画監督協会国際委員会委員）



○長崎音楽祭2011連携企画「夢見て上海、恋して長崎」

日 時：11月23日（水・祝）19：00～

※ 11/23 は梅屋庄吉の
命日

会場：1階エントランス
出演者：高浪慶太郎と
柴田健一アンサンブル、
長崎検番：琴音
参加費：2,000円、当日2,500円
(企画展観覧料込み)
参加者：73名

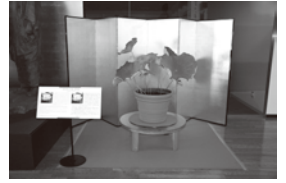


「孫文蓮」披露及びランタン点灯式

孫文の生誕（145周年）祝賀と日中友好の証として孫文ゆかりの孫文蓮を設置し、同じく孫文と梅屋庄吉のランタンを設置。

日時：11月12日（土）
会場：1階エントランス
及び正面玄関

参加者：35名



○梅屋庄吉生誕記念イベント「ふるまい中国茶」

★れきぶんのお正月 2011 連携企画

日時：平成24年1月8日（日）13:30～15:30
会場：1階エントランス
講師：糸永佳代氏
(日本中国茶普及協会)
参加費：無料
来場者：114名



戴敦那画 辛亥革命百年記念人物画展

※ 12月12日 開会式 来場者：91名
展示期間：12月13日（火）～19日（月）
会場：3階ロビー及び通路
主催：上海公共外交協会、
中国人民政治協商会
議上海市委員会文史
資料委員会
展示数：100枚・50点
参加者：1,278名



○篆刻体験教室

日時：12月4日（日）・2012年1月29日（日）
14:00～15:30
会場：1階エントランス
講師：馬場 寛牛氏
(県展審査会員)
参加費：500円
参加者：39名
(内訳：17名／
22名)



ココウォーク出張イベント

「中国の歴史や文化を学ぼう！」
日時：平成24年1月22日（日）13:00～16:00
場所：ココウォーク5Fお祭りイベント広場
内容：博物館職員による、中国伝統の切り絵づくり
や古写真の素材を活かしたぬり絵体験など。
参加者：50名

○その他

「孫文・梅屋庄吉と長崎展」館長サミット

日時：10月1日（土）
会場：出島交流会館



長崎華僑の故郷—金門島—国際ワークショップ

日時：平成24年3月15日（木）13:00～16:30
会場：1階講座室
主催：東アジア軍事最前線の溶解と再生—金門島研究
研究代表者：川島 真氏（東京大学大学院准教授）
協力：長崎歴史文化博物館
※パネラーとして、平岡隆二・深瀬公一郎
参加費：無料
参加者：50名

3. 展示リスト

	資料名	作者（生産地・撮影場所）	年代	所蔵者
第1章 日中交流の系譜と長崎				
1	関帝像	川原慶賀	江戸時代後期	長崎歴史文化博物館
2	関帝倚座像			長崎歴史文化博物館
3	隠元禅師画像	喜多元規筆、蒲庵浄英賛	江戸時代前期	長崎歴史文化博物館
4	木庵禅師画像	喜多道矩	江戸時代前期	長崎歴史文化博物館
5	秋景山水図	江稼圃	嘉慶23年（1818）	長崎歴史文化博物館
6	翡翠桃型蓋物			長崎歴史文化博物館
7	秋景山水図	江芸閣・陸品三賛、木下逸雲筆	天保元年（1830）	長崎歴史文化博物館
8	書扇面	陸三品		長崎歴史文化博物館

9	媽祖像			聖福寺（長崎歴史文化博物館寄託）
10	順風耳			聖福寺（長崎歴史文化博物館寄託）
11	千里眼			聖福寺（長崎歴史文化博物館寄託）
12	松竹梅図	喜多道矩	江戸時代前期	長崎歴史文化博物館
13	麒麟図	沈南蘋	江戸時代前期	長崎歴史文化博物館
14	龍頭飾付月琴			長崎歴史文化博物館
15	陽琴・黒漆青貝細工入			長崎歴史文化博物館
16	布袋渡河図	河村若芝	貞享3年（1690年）	長崎歴史文化博物館
17	唐蘭館絵巻（唐館図）	川原慶賀	江戸時代後期	長崎歴史文化博物館
18	10歳の梅屋庄吉		明治10年（1877）	小坂文乃氏蔵
19	17歳の梅屋庄吉		明治17年（1884）	小坂文乃氏蔵
20	福建会館前での集合写真		1912～1928年？	梁長明氏蔵（陳東華氏写真提供）
21	陳世望肖像写真			陳東華氏蔵
22	崎陽商人名前 明治元改（「外務諸書留」）			長崎歴史文化博物館
23	長崎名商店社寺版画		明治10年代	長崎歴史文化博物館
24	長崎市地番入分割図〔写真パネル〕	生野梅仙	大正8年（1919）	長崎歴史文化博物館
25	改正 長崎港内全図	小野左右輔	明治18年（1885）	長崎歴史文化博物館
26	佐藤帙三郎塾開業願（「家私塾留」）	長崎県学務課	明治6年（1873）	長崎歴史文化博物館
27	榎津小学校生徒の寄付記録（「学務課報告掛事務簿 明治11年」）	長崎県学務課	明治11年（1878）	長崎歴史文化博物館
28	長崎県一円富豪家一覧表	九州名誉発表会	明治33年（1900）	長崎歴史文化博物館
29	護照（パスポート）	在長崎中華民国領事館	1915年	陳東華氏蔵
30	日華連絡開航記念絵葉書 絵葉書・日華連絡船	日華連絡開航記念祝賀協賛会刊		長崎歴史文化博物館
31	護照（パスポート）		1880年	陳東華氏蔵
32	陳世望及び梁肇三肖像写真			梁長明氏蔵
33	陳国樑肖像写真			陳東華氏蔵
34	損官証		1907年	陳東華氏蔵
35	護照（パスポート）	在長崎清国領事館	1905年	陳東華氏蔵
36	中国紅十字總會名誉賛助会員憑照	中国紅十字總會	1913年4月17日	陳東華氏蔵
37	農商部委任状	（中華民国）農商総長袁乃寬	1923年10月20日	陳東華氏蔵
38	国際通信に使われた機器類		19世紀末～	長崎県
第2章 運命の出会い				
39	「賢母」の羽織			小坂文乃氏蔵
40	孫文が梅屋に贈った写真			小坂文乃氏蔵
41	孫文と梅屋夫妻	東京	1914年	小坂文乃氏蔵
42	同仁	孫文		小坂文乃氏蔵
43	積善家	梅屋庄吉	大正10年（1921）	小坂文乃氏蔵
44	富貴在心	梅屋庄吉	昭和2年（1927）	小坂文乃氏蔵
45	永代日記	梅屋庄吉	年代不明	小坂文乃氏蔵
46	当用日記	梅屋庄吉	昭和6年（1931）	小坂文乃氏蔵
47	当用日記	梅屋庄吉	大正11年（1922）	小坂文乃氏蔵
48	当用日記	梅屋庄吉	昭和2年（1927）	小坂文乃氏蔵
49	若き日の孫文（四大寇）	香港	1892年10月15日	香港歴史博物館
50	梅屋と孫文が出会った頃の香港の皇后大道中	香港皇后大道中		香港歴史博物館
51	大井千之・清水栄三郎と梅屋庄吉		明治27年（1894）	小坂文乃氏蔵
52	マニラ時代の梅屋庄吉		明治31年（1898）頃	小坂文乃氏蔵
53	フィリピン独立軍軍服姿の梅屋庄吉		1898年頃	小坂文乃氏蔵
54	香港の梅屋邸での写真		1900年	小坂文乃氏蔵
55	孫文の家族写真	ホノルル	1901年4月	上海孫中山故居記念館
56	試掘願い	梅屋庄吉	明治24年（1891）	小坂文乃氏蔵
57	養女・清子の貰受契約書（梅屋庄吉宛）	浜崎トモ・田中カネ	明治32年（1899）	小坂文乃氏蔵
58	養女・千勢の貰受契約書（梅屋庄吉宛）	川西かな・今西知太郎	明治33年（1900）	小坂文乃氏蔵
59	日本赤十字社書簡・函館慈恵院領収書（梅屋庄吉宛）		明治41～42年（1908-1909）	小坂文乃氏蔵
60	上野動物園からの寄贈礼状		大正6年（1917）	小坂文乃氏蔵

61	梅屋庄吉建立墓碑	香港ハッピーバレー墓地		協力・香港経済貿易代表部
62	梅屋庄吉建立墓碑（香港ハッピーバレー墓地内）			
63	旧劇 太功記 十段目		明治41年（1908）	東京国立近代美術館フィルムセンター
64	日本南極探検		明治45年（1912）	白瀬南極探検隊記念館
65	M パター商会特約館番町演芸館プログラム		明治44年（1911）頃	東京国立近代美術館フィルムセンター
66	バイオスコープ〔撮影機〕	イギリス／ワーウィック社	1900年以降	東京国立近代美術館フィルムセンター
67	M カシーの映画梗概		大正8年（1919）	小坂文乃氏蔵
68	活動写真百科寶典	梅屋庄吉	明治44年（1911）	小坂文乃氏蔵
69	長崎 七月号	長崎通信社発行	大正14年（1925）	長崎歴史文化博物館
70	南極探検隊撮影・船上の集合写真		明治44年（1911）10月	小坂文乃氏蔵
71	日活創立の記念写真		明治44年（1911）	小坂文乃氏蔵
72	M パター商会解散記念写真		大正元年（1912）	小坂文乃氏蔵
73	余誠日記帳	日本製。記入は余誠が武漢で	1906年	辛亥革命武昌起義記念館
74	辛亥革命勃発を報じた新聞記事	東洋日の出新聞	明治44年（1911） 10月14日付	長崎歴史文化博物館
75	辛亥革命の写真（草地で攻撃される革命軍）		1911年	小坂文乃氏蔵
76	辛亥革命の写真（漢口支那市街招商局火災）			小坂文乃氏蔵
77	黄興書、鄭思肖詩文	詩・鄭思肖、書・黄興		辛亥革命武昌起義記念館
78	中立布告	武漢	1911年10月18日	辛亥革命武昌起義記念館
79	辛亥革命の資金援助委任状	鮑洪	黄帝紀元4609年（1911） 10月29日	小坂文乃氏蔵
80	辛亥革命の資金援助委任状	伍廷芳・陳其美	黄帝紀元4609年（1911） 11月11日	小坂文乃氏蔵
81	伍廷芳肖像写真		黄帝紀元4609年（1911）	小坂文乃氏蔵
82	革命軍「軍票」	梅屋庄吉制作	明治44年（1911）	小坂文乃氏蔵
83	清国革命動乱大地図	日本	1911年	辛亥革命武昌起義記念館
84	辛亥革命（年画）	武漢	1913年	辛亥革命武昌起義記念館
85	孫文の香港到着を歓迎する人々		1911年	小坂文乃氏蔵
86	「支那共和国公認期成同盟会」看板		大正元年（1912）頃	小坂文乃氏蔵
87	中華革命党本部の印	東京	1914年	上海宋慶齡故居記念館
88	原宿の孫文邸における志士集会の記念写真		1915年	小坂文乃氏蔵
89	宮崎滔天電報（梅屋庄吉宛）		1916年1月25日付	小坂文乃氏蔵
90	革命軍武器輸入委員委任状	居正	民国5年（1916）	小坂文乃氏蔵
91	革命軍からの武器注文書	居正	民国5年（1916）	小坂文乃氏蔵
92	坂本寿一 飛行ライセンス		1913年	坂本健二氏蔵
93	山東省濰県における革命飛行隊（『八日市と飛行場』所収）		民国5年（1916）	個人蔵
94	坂本寿一遺品プロペラ		20世紀初頭	山口県立山口博物館
95	坂本寿一書簡（梅屋庄吉宛）		大正5年（1916） 5月13日付	小坂文乃氏蔵
96	坂本寿一書簡（梅屋庄吉宛）		大正5年（1916） 5月24日付	小坂文乃氏蔵
97	坂本寿一書簡（梅屋庄吉宛）		大正5年（1916） 8月13日付	小坂文乃氏蔵
98	陣中日誌		大正5年（1916）	藤川知佳子氏蔵
99	飛行服姿の坂本寿一（坂本健二氏蔵）			坂本健二氏蔵
100	八日市飛行場で訓練中の革命飛行隊		1916年	小坂文乃氏蔵
101	山東における翦風号と坂本寿一			坂本健二氏蔵
102	翦風号			個人蔵
103	山東の坂本式複葉機と金子克己		大正5年（1916）	藤川知佳子氏蔵
104	飛行機の前の孫文と宋慶齡		1923年8月9日	上海孫中山故居記念館
105	翦風号（復元模型）	翦風号を甦らせる会制作	現代	個人蔵
106	萩田常三郎 名刺		1915年	滋賀県
107	坂本式トラクター機（絵葉書）		20世紀初頭	坂本健二氏蔵
108	宙返りする翦風号（絵葉書）		20世紀初頭	個人蔵
109	翦風号（八日市飛行場関係資料）			滋賀県
110	辛亥革命アルバム		1911年	小坂文乃氏蔵

111	辛亥革命ドキュメンタリー	M パター商会	1911～12年	辛亥革命武昌起義記念館
112	辛亥革命の写真（黄興と幕僚）			小坂文乃氏蔵
113	辛亥革命の写真（漢口支那市街招商局火災）			小坂文乃氏蔵
114	僑居日本長崎衆商歓迎孫逸仙君（福建会館での記念写真）〔写真パネル〕		大正2年（1913）	長崎歴史文化博物館
115	孫文と梅屋庄吉ら一行	東京浅草勅使河原	大正2年（1913）	小坂文乃氏蔵
116	花屋敷での記念写真	東京浅草勅使河原	大正2年（1913）	小坂文乃氏蔵
117	孫文歓迎会写真（於、鳳鳴館。「倉場富三郎写真帖」）	倉場富三郎	大正2年（1913）	長崎歴史文化博物館
118	僑居日本長崎衆商歓迎孫逸仙君（福建会館での記念写真）		大正2年（1913）	長崎歴史文化博物館
119	孫文書「松風水月」	孫文	大正2年（1913）	長崎歴史文化博物館
120	孫文一行と鈴木天眼を囲んでの記念写真（鈴木天眼宅を訪れた孫文一行）〔写真パネル〕		大正2年（1913）	長崎歴史文化博物館
121	孫文書「精洋亭」			長崎歴史文化博物館
122	鳳鳴館で開かれた官民合同歓迎会の招待状	長崎市長他連名	大正2年（1913） 3月20日	陳東華氏蔵
123	華僑主催歓迎会の収支報告書		1913年	陳東華氏蔵
124	福建会館回覧状		1913年	陳東華氏蔵
125	中華民国駐長崎領事館訓令	駐長崎領事 徐善慶		陳東華氏蔵
126	中華共和促進会領収書		1911年	陳東華氏蔵
127	中華民国上海軍政府発行領収書		1911年	陳東華氏蔵
128	革命軍資金寄付者名簿		1911年	陳東華氏蔵
129	長崎中川郷の桜（1枚）			長崎歴史文化博物館
130	長崎中川郷の桜（1枚）			長崎歴史文化博物館
131	長崎市中川郷カルルス温泉桜花の景（1枚）			長崎歴史文化博物館
132	長崎中川郷カルルス温泉桜花の景（1枚）			長崎歴史文化博物館
133	長崎中川郷カルルス温泉桜花の景（1枚）			長崎歴史文化博物館
134	琵琶（柏文蔚の漢詩裏書き）			長崎歴史文化博物館
135	柏文蔚書幅		大正3年（1914）	稲岡潤氏蔵
136	孫文書「世界大同」	孫文	大正13年（1924） 11月23日	大東敬氏蔵
137	孫文書幅「詩人雅興」			長崎市文化財課
138	孫文使用、大元帥指揮刀	広州	1917年7月	上海孫中山故居記念館
139	孫文着用、中山服			上海孫中山故居記念館
140	大元帥就任時の孫文	広州	1917年9月10日	上海孫中山故居記念館
第3章 宋慶齡・梅屋トク				
141	梅屋庄吉アルバム			小坂文乃氏蔵
142	明治31年（1898）庄吉の母・ノブと			小坂文乃氏蔵
143	明治31年（1900）香港			小坂文乃氏蔵
144	明治32年（1899）香港			小坂文乃氏蔵
145	明治32年（1899）夏、香港。庄吉、養女・梅子と			小坂文乃氏蔵
146	明治35年（1902）香港。梅子の茶道			小坂文乃氏蔵
147	明治43年（1910）36歳			小坂文乃氏蔵
148	明治43年（1910）			小坂文乃氏蔵
149	大正9年（1920）秋			小坂文乃氏蔵
150	昭和5年（1930）上海			小坂文乃氏蔵
151	昭和6年（1931）上海。娘・千世子と			小坂文乃氏蔵
152	宋慶齡	上海	1933年	上海宋慶齡故居記念館
153	毛沢東らと宋慶齡	北京	1956年10月	上海宋慶齡故居記念館
154	宋氏三姉妹アメリカ留学時	アメリカ	1907年～09年頃	上海宋慶齡故居記念館
155	上海での宋家三姉妹	上海	1918年～20年頃	上海宋慶齡故居記念館
156	日本・横浜での宋家写真	横浜	1914年9月20日	上海孫中山故居記念館
157	孫文が宋慶齡に贈った和服（浴衣）	日本製	1915年	中国宋慶齡基金会
158	結婚衣裳		1915年 ※製作は宋慶齡の母の代	中国宋慶齡基金会
159	「百子図」布団カバー	蘇州刺繍	1915年	中国宋慶齡基金会
160	孫中山宋慶齡結婚記念写真	東京	1915年	上海孫中山故居記念館
161	孫文・宋慶齡結婚誓約書	日本・東京	1915年10月26日	中国宋慶齡基金会
162	宋慶齡書簡（梅屋トク宛）		1916年5月20日付	小坂文乃氏蔵
163	宋慶齡書簡（梅屋トク宛）		1916年5月27日付	小坂文乃氏蔵

164	宋慶齡書簡（梅屋トク宛）		1917年2月19日付	小坂文乃氏蔵
165	梅屋邸の応接室			
166	宋慶齡書簡（梅屋庄吉宛）		1917年4月2日付	小坂文乃氏蔵
167	宋子安書簡（梅屋庄吉宛）		民国19年（1930） 11月2日付	小坂文乃氏蔵
168	「孫文之動靜」（外務省の行動観察記録）	外務省	大正4年（1915） 10月31日付	外務省外交史料館
169	読書する宋慶齡		民国10年（1921）	小坂文乃氏蔵
170	読書する宋慶齡			小坂文乃氏蔵
171	上海での孫文と宋慶齡	上海	1920年10月	上海宋慶齡故居記念館
172	倪桂珍（宋慶齡母）、宋子安（同弟）と梅屋（有馬温泉にて）		1930年	小坂文乃氏蔵
173	知られざる友情の軌跡～温故創新～（映像）			小坂文乃氏提供
174	日本南極探検			白瀬南極探検隊記念館
第4章 盟友たちの描いた中国				
175	孫文故居	上海	1918年～	上海孫中山故居記念館
176	中山艦の模型	長崎三菱造船所	1913～38年	武漢中山艦博物館
177	長崎三菱造船所製造標識	長崎三菱造船所	1912年6月	武漢中山艦博物館
178	孫文書「占勝閣」	長崎	1913年	三菱重工長崎造船所
179	三菱長崎造船所・占勝閣前庭での孫文と造船所幹部たち	長崎	1913年3月23日	三菱重工長崎造船所
180	中山艦			武漢中山艦博物館
181	砲艦「永豊」進水祝賀晩餐会案内状	三菱造船所	明治45年（1912）	陳東華氏蔵
182	「永豊」の進水式を伝える記事	長崎日日新聞	明治45年（1912） 6月6日付	長崎歴史文化博物館
183	「永豊」の進水式を伝える記事	東洋日の出新聞	明治45年（1912） 6月6日付	長崎歴史文化博物館
184	「永豊」銘文銀製洋食フォーク		1913～38年	武漢中山艦博物館
185	「永豊」銘文銀製骨柄ナイフ		1913～38年	武漢中山艦博物館
186	真珠小花瓶		1913～38年	武漢中山艦博物館
187	「永豊」銘文瓜椽、球腹、龍柄銅製茶壺		1913～38年	武漢中山艦博物館
188	「永豊」銘文瓜椽龍柄銅製コーヒー壺		1913～38年	武漢中山艦博物館
189	永豊絵模様双龍柄、瓜椽銅製壺		1913～38年	武漢中山艦博物館
190	日本長崎林久一製造甲種舷燈（緑・青）	長崎	1913～38年	武漢中山艦博物館
191	日本長崎林久一製乙種桅燈（白）	長崎	1913～38年	武漢中山艦博物館
192	日本長崎林国太郎製手提燈（白）	長崎	1913～38年	武漢中山艦博物館
193	中山艦の最期／漢口攻略作戦第十五航空隊戦闘概報	海軍	昭和13年（1938）	防衛省防衛研究所
194	「永豊」上の孫文と宋慶齡	広州	1923年8月9日	上海孫中山故居記念館
195	中山艦			武漢中山艦博物館
196	中山艦図面			武漢中山艦博物館
197	孫文使用、椅子	上海	1918年～	上海孫中山故居記念館
198	孫文演説（音声）	上海	1923年	上海孫中山故居記念館
199	黄埔軍官学校開校記念	黄埔	1924年6月16日	上海孫中山故居記念館
200	船上の孫文と宋慶齡	香港	1924年11月4日	上海宋慶齡故居記念館
201	梅屋庄吉・トク夫妻	東京	撮影は1924年7月 孫文へ贈ったのは11月	上海孫中山故居記念館
202	孫文・宋慶齡から送られた最後の写真		大正14年（1925）3月	小坂文乃氏蔵
203	西山廟前での記念撮影		民国18年（1929） 3月10日	小坂文乃氏蔵
204	孫文移柩祭		民国18年（1929）6月	小坂文乃氏蔵
205	別荘での梅屋夫妻		昭和3年（1928）5月	小坂文乃氏蔵
206	孫文使用、毛筆	上海	1918年～	上海孫中山故居記念館
207	孫文電報（梅屋庄吉宛）		大正13年（1924） 12月1日付	小坂文乃氏蔵
208	孫文の診療に使われた血圧計と聴診器	北京	1925年1月	上海孫中山故居記念館
209	萱野長知書簡（梅屋庄吉宛）		民国14年（1925） 3月11日付	小坂文乃氏蔵
210	孫科電報（梅屋庄吉宛）		民国14年（1925） 3月13日	小坂文乃氏蔵
211	孫中山安葬記念章	アメリカ合衆国	1929年	上海宋慶齡故居記念館
212	孫文像（複製）	篠原彫金店製作	1929年	原資料：南京市孫中山記念館

213	孫文歓迎会写真（於、鳳鳴館。「倉場富三郎写真帖」） 〔写真パネル〕	倉場富三郎	大正2年（1913）	長崎歴史文化博物館
214	孫文像と梅屋庄吉		昭和4年（1929）	小坂文乃氏蔵
215	総理銅像揭幕典礼		民国18年（1929） 10月14日	小坂文乃氏蔵
216	孫文像寄贈式で祝辞を述べる梅屋庄吉		民国18年（1929） 10月14日	小坂文乃氏蔵
217	黄埔軍官学校集合写真		民国19年（1930）5月	小坂文乃氏蔵
218	戴季陶書簡（梅屋庄吉宛）		民国17年（1928）か	小坂文乃氏蔵
219	蒋介石書簡（梅屋庄吉宛）		民国18年（1929） 3月1日	小坂文乃氏蔵
220	孫文像除幕式祝詞	梅屋庄吉自筆	昭和4年（1929）	小坂文乃氏蔵
221	大孫文映画作製協会趣意書及革命映画筋書梗概並製作費豫算	梅屋庄吉	昭和5年（1930） 12月1日	小坂文乃氏蔵
222	「大孫文」映画脚本	梅屋庄吉	昭和5年（1930）頃	小坂文乃氏蔵
223	わが影	梅屋庄吉	大正15年（1926）1月	小坂文乃氏蔵
224	宋慶齡書簡（国方春男・千世子宛）		1978年	小坂文乃氏蔵
225	国方千世子夫妻から宋慶齡への手紙	国方千世子夫妻	1978年11月7日	中国宋慶齡基金会
226	国方千世子夫妻から宋慶齡への手紙	国方千世子夫妻	1978年12月1日	中国宋慶齡基金会
227	宋慶齡色紙（国方春男・千世子宛）		1978年	小坂文乃氏蔵
228	孫科色紙（国方先生宛）		年代不明	小坂文乃氏蔵
229	廖承志色紙		1978年	小坂文乃氏蔵
230	香雲紗チャイナドレス	中国広東省	1940年代	上海宋慶齡故居記念館
231	宋慶齡ジム乗用車模型	ソビエト連邦	1960～70年代	上海宋慶齡故居記念館
232	上海宋慶齡故居模型	上海	1949～81年	上海宋慶齡故居記念館
233	陽春白雪	黄興		小坂文乃氏蔵
234	孫文電報（梅屋庄吉宛）		1916年11月1日及び 11日付	小坂文乃氏蔵
235	黄一欧（黄興の子）渡米前の記念撮影（梅屋邸）			小坂文乃氏蔵
236	胡漢民書簡（梅屋庄吉宛）		民国17年（1928） 2月21日付	小坂文乃氏蔵
237	人生感意気（人生意気に感ず）	張継		小坂文乃氏蔵
238	張継書簡（梅屋庄吉宛）		昭和初期頃	小坂文乃氏蔵
239	張継葉書（梅屋庄吉宛）		6月23日付（年代不明）	
240	親切	蒋介石		小坂文乃氏蔵
241	蒋介石書簡（梅屋庄吉宛）		民国17年（1928） 2月1日付	小坂文乃氏蔵
242	蒋介石と梅屋夫妻		昭和2年（1927） 11月3日	小坂文乃氏蔵
243	蒋介石・宋美齡夫妻と梅屋夫妻		民国18年（1929）	小坂文乃氏蔵
244	戴季陶書簡（梅屋庄吉宛）		1916年9月2日付	小坂文乃氏蔵
245	戴季陶書簡（梅屋庄吉宛）		1916年11月20日付	小坂文乃氏蔵
246	戴季陶名刺			小坂文乃氏蔵
247	南京の戴季陶宅での記念撮影		1930年	小坂文乃氏蔵
248	戴季陶が梅屋に贈った写真		1916年	小坂文乃氏蔵
249	宮崎滔天書簡（梅屋庄吉宛）		年代不明	小坂文乃氏蔵
250	宮崎龍介・震介書簡（梅屋庄吉宛）		大正11年（1922）12 月6日付	小坂文乃氏蔵
251	（上段左から）梅屋庄吉、萱野長知（下段）宮崎滔天、 児玉右二		1910年	小坂文乃氏蔵
252	萱野長知書簡（梅屋庄吉宛）		1916年9月6日消印	小坂文乃氏蔵
253	萱野と梅屋		1930年	小坂文乃氏蔵
254	頭山満書			藤川知佳子氏蔵
255	頭山満書簡（梅屋庄吉宛）		年代不明	小坂文乃氏蔵
256	ラス・ビハリ・ボースの日本滞在13年記念撮影		昭和3年（1928）	小坂文乃氏蔵
257	頭山満名刺			小坂文乃氏蔵
258	孫文肖像写真			藤川知佳子氏蔵
259	佐々木照山書簡（梅屋庄吉宛）		年代不明	小坂文乃氏蔵
260	佐々木照山書簡（梅屋庄吉宛）		年代不明	小坂文乃氏蔵
261	平山周書簡（梅屋庄吉宛）		1916年7月3日	小坂文乃氏蔵
262	平山周書簡（梅屋庄吉宛）		年代不明	小坂文乃氏蔵
263	山田良政の供養会写真		大正2年（1913）	小坂文乃氏蔵

264	鈴木天眼・西郷四郎の署名入り記事	東洋日の出新聞	明治44年(1911)11月14日	長崎歴史文化博物館
265	孫文写真(「犬養先生恵存」)			犬養木堂記念館
266	孫文書間(犬養毅宛)		明治32年(1899)	岡山県立記録資料館
267	孫文書間(犬養毅宛)		明治35年(1902)	岡山県立記録資料館
268	孫文書間(犬養毅宛)			
269	孫文書間(犬養毅宛)			
270	古島一雄葉書(梅屋庄吉宛)		昭和3年(1928)か	小坂文乃氏蔵
271	犬養毅葉書(梅屋庄吉宛)		年代不明	小坂文乃氏蔵
272	犬養毅書簡(梅屋庄吉宛)		年代不明	小坂文乃氏蔵
273	手袋(犬養毅遺品)			犬養木堂記念館
274	袴(犬養毅遺品)			犬養木堂記念館
275	木堂先生肖像画(木堂先生賛)			犬養木堂記念館
276	チョッキ(犬養毅遺品)			犬養木堂記念館
277	木堂翁肖像画(古島一雄翁賛)			
278	腹巻(犬養毅遺品)			
279	犬養毅演説「新内閣の責務」(音声)		昭和7年(1932)1月30日	犬養木堂記念館
280	革命志士寄書衝立	陳其美・戴季陶・蒋介石ほか	大正～昭和初期	小坂文乃氏蔵
281	別荘来訪者の芳名録		20世紀初頭	小坂文乃氏蔵
282	千葉県岬町の別荘			小坂文乃氏蔵
283	孫文の胸像	牧田祥哉	昭和3年(1928)頃	小坂文乃氏蔵
284	総理奉安実録		民国18年(1929)	小坂文乃氏蔵
285	哀思録			長崎歴史文化博物館
286	追悼孫中山先生歌(歌詞カード)			陳東華氏蔵
第5章 受け継がれる交流の架け橋				
287	国民負傷兵士医院職員と宋慶齡、上海南洋廣義肇学童子軍団員と宋慶齡	上海	1932年	上海孫中山故居記念館
288	毛沢東らと宋慶齡・毛沢東と宋慶齡	北京 上海	1956年10月1日 1961年5月11日	上海宋慶齡故居記念館
289	再会を果たした宋慶齡と国方千世子夫妻	北京	1978年10月22日	小坂文乃氏蔵
290	日中国交正常化		1972年	長崎県
291	上海定期航空路開設	長崎・上海	1979年	長崎県
292	長崎県と福建省が友好県省締結	長崎・福建	1982年	長崎県
293	中華人民共和国駐長崎総領事館の開設	長崎・上海	1985年	長崎県
294	長崎県上海事務所の開設	長崎・上海	1991年	長崎県
295	長崎県・上海市友好交流関係樹立	長崎・上海	1996年	長崎県
296	上海市から孫文像を贈られる	長崎・上海	2001年	長崎県
297	広がりつつある経済活動	長崎・中国	現在	長崎県
298	松本楼を訪れた胡錦濤中国国家主席	東京	2008年5月6日	小坂文乃氏蔵
299	上海万国博覧会での「孫文と梅屋庄吉」展	上海	2010年8月24～29日	
300	中国政府から長崎へ孫文と梅屋夫妻像の寄贈・長崎県から上海市へ梅屋庄吉像の贈呈	長崎・上海	現在	長崎県
301	上海航路の開設	長崎・上海	現在	長崎県、長崎歴史文化博物館

大河ドラマ 50 作記念企画展 長崎奉行所●大河ドラマ館

1, 展示概要

NHK大河ドラマが2011年「江」で50作目を迎えることから、NHKが保管する貴重なアーカイブス映像をもとに、大河ドラマの魅力に迫った企画展。1963年の第1作「花の生涯」から「江」まで、テレビドラマの歴史と共に歩んできた道のりをたどる内容となった。

開催期間：2月11日(金祝)～10月30日(日) 254日間
※休館日：3月15日(火)・4月19日(火)・
5月17日(火)・6月21日(火)・
7月19日(火)・9月6日(火)・
9月20日(火)・10月18日(火)

観覧料：大人 500円・小中高生 250円

主催：長崎歴史文化博物館・NHK長崎放送局・
長崎新聞社

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長
崎市教育委員会・長崎ケーブルメディア・
エフエム長崎

企画協力：NHKエンタープライズ・NHKプロモ
ーション

総入場者数：65,366名(1日平均258名)



2, 展示構成

- ウェルカムシアター
- 大河ドラマの歩み
- 大河ドラマの黎明期
- 戦国大河の武将ゾーン

- 大河の姫たちゾーン
- 大河ドラマの人物変身ゾーン
- 幕末の大河ゾーン
- お白洲劇場「忠臣蔵」



3, 関連行事

本山早苗氏所蔵の雛飾り

内容：桃の節句にちなみ「大河の姫たちゾーン」
の床の間において実施。

展示期間：3月1日(火)～4月18日(月)

企画展連携企画 第3回れきぶんワークショップ
「大河ドラマと地域観光への活用」

日時：7月17日(日) 10:30～12:00

会場：1階講座室及び展示会場

講師：一瀬勇士(当館研究員)

参加者：5名

池辺晋一郎トーク&コンサート ★長崎音楽祭2011 連携企画

日時：10月17日(月・祝) 19:00～21:00

会場：1階エントランス

出演：池辺晋一郎氏(作曲家)・後藤美樹氏(ピアノ)・
OMURA 室内合奏団[藤木修爾(ヴァイオリン)、
中西弾(ヴァイオリン)、長嶋拓生(ヴィオラ)、下田
直子(チェロ)、亀子政孝(コントラバス)、濱砂由
美子(フルート) 西川千穂(客演・オーボエ)]

参加者：180名

4, 奉行所展示室 関連展示

■第1期「江の時代と長崎」(前期)

2011年大河ドラマ「江」の舞台、戦国時代から江
戸時代初期の武家の世界に注目した展示。

期間：2月11日(金・祝)～4月18日(月)

[展示構成]

- 1, 戦国大名と信長・秀吉
- 2, 徳川將軍の誕生
- 3, 武家の世界

■第1期「江の時代と長崎」(後期)

期間：4月20日(水)～5月16日(月)

端午の節句に合わせ、武家の世界で広まっていっ
た「尚武の節句」に注目した展示。

[展示構成]

- 1, 戦国大名と信長・秀吉
- 2, 端午の節句

■第2期『黄金の日日』の世界

長崎とゆかりが深い作品、1978年大河ドラマ「黄金の日日」にちなみ、海外貿易に注目した展示。

期間：5月18日（水）～9月5日（月）

[展示構成]

- 1, 広がる世界
- 2, 朱印船貿易と日本人町

■第3期「大河の舞台・幕末長崎」

多くの作品の舞台となった幕末長崎に注目した展示。とくに当館所蔵の古写真を特別公開。

期間：9月7日（水）～10月30日（日）

[展示内容]

- 1, 長崎開港

2, 長崎に引き寄せられた人びと

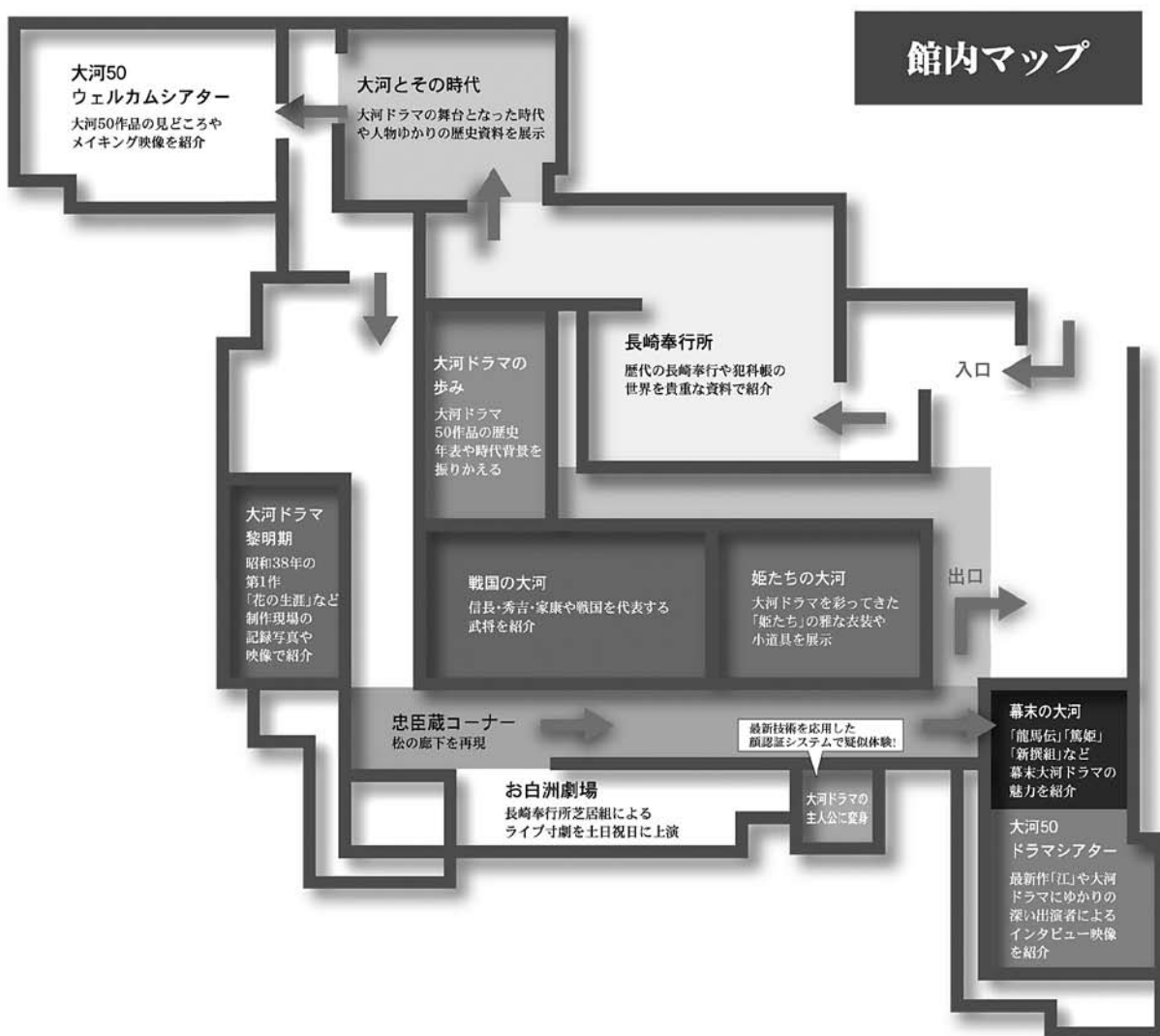


5, 展示リスト（関連展示）

資料名	作者	年代	資料番号
第1期 江の時代と長崎（前期）			
1 切支丹来朝記		明和8年（1771）	県図 11 736
2 豊臣秀吉朱印状		天正16年（1588）7月	県図 青方 14 127 78
3 Atlas Japannensis（日本遣使紀行）	モンタヌス著・オーギルビー英訳	寛文10年（1670）	県図 2 29
4 長谷川権六書状（大坂の陣報告）		元和元年（1615）5月6日	県図 13 9-6
5 徳川家系図		年代不詳	県図 青方 13 43
6 徳川秀忠領知朱印状 写		元和3年（1617）9月	県図 13 1254-1
7 徳川家斉領知目録 写		天明8年（1788）3月5日	県図 13 1267
8 将軍代替誓詞 写		天明7年（1787）11月21日	県図 13 1256-1
9 安禅寺葵紋入蛙股		制作年代不詳	市博 木（日本）44
10 東照宮様御条目		明和7年（1770）筆写	県図 渡辺 14 27
11 紀州葵紋源氏絵入羽子板		制作年代不詳	市博 節句 3
12 平戸・三川内焼 白磁透彫菊葵文紋章入香炉		19世紀前半	県美博DハA 0989
13 軍行之図		江戸時代	県美博Fイ 0173
14 兵学正宗甲冑伝聞書	神山規貞著・源定一筆写	文化12年（1815）	県図 福田 16 24
第1期 江の時代と長崎（後期）			
15 武将図	石崎融思筆	天保13年（1842）	県美博A1イ 0183
16 楠公父子図	広渡心海筆	江戸時代前期	県美博A1イ 0164
17 高木家使用 萌葱糸威百間筋兜及び面頬		年代不詳	市博 軍事 141
18 絵本太閤記 下巻	岡田玉山著	明治19年（1886）	県図 藤 12 8
19 五月節句用刀		年代不詳	市博 節句 15
20 黒漆金蒔絵五節句椀		年代未詳	市博 漆（日本）22-1
第2期 『黄金の日日』の世界			
21 アジア図	G.Mercator（メルカトル）作	1587年	県美博Fイ 0073
22 日本図	J.Jansson（ヤンソン）作	1636年	県美博DハA 0072
23 茶屋四郎次郎交趾国貿易図		年代不詳	県図 3 78-2
24 東洋南洋航海古図	廬高朗作	年代未詳	県図 3 62
25 南蛮写緑袖壺		江戸時代前期	県美博DハA 0091
26 島津義久琉球渡海朱印状（複製）	原資料：坊津・輝津館寄託	天正12年（1584）11月9日	市博歴史 複製 4
27 徳川家康東埔臺灣航朱印状（模本）		慶長12年（1607）10月6日	県図 13 127-2 1
28 安南国渡航免許状		永祿6年（寛永元、1624）5月23日	市博 貿易 31
29 安南国金札写		1688年	県図 17 115-1

30	御朱印船旗印	文科大学史料編纂掛写	大正5年(1916)写	県図3 15-1
31	山田長政伝記校本		明治22年(1889)2月21日写	県図13 707-2
32	呂宋国漂流記	大槻清崇筆	弘化2年(1845)4月	県図13 710
第3期 大河の舞台・幕末長崎				
33	北亜米利加人物ペルリ像		江戸時代後期	県美博A 3口 0398
34	異国船長州砲撃之図		年代未詳	県図3 104-2
35	崎陽大浦真景図(複製)	岡月洲	江戸時代後期	市博 複製 19
36	勝海舟書簡 小曾根乾堂宛		年代未詳	市博 書(日本) 675
37	木戸孝允書簡(来島良蔵宛)		年代未詳	市博 書(日本) 749
38	外国船乗組の無免許者上陸不許可の通牒		慶応4年(1868)5月14日	県図14 414 541
39	西郷真吉・山縣狂介外遊旅費通牒		明治2年(1869)3月	県図14 414 583
40	諸家外国船買入御届并船目録綴込		慶応3年(1867)7月朔日	県図B) 14 35-4
41	薩州より送越候無人島漂流日本人一件		嘉永4年(1851)	県図B) 14 106-3
42	勸業課農務係事務簿 製茶ノ部		明治16年(1883)9月1日	県図17 224-2 2
43	海外行御印章名前留		明治元年(1868)	県図14 90-6
44	坂本龍馬肖像写真		慶応4年(1868)頃	
45	海援隊士肖像写真		慶応4年(1868)頃	
46	長州五傑写真		年代未詳	県図3 159-2
47	グラバー写真帳 東京時代の人物			県図18 91-1

6. 展示図面



2 常設展

常設展示は、歴史文化展示、美術展示、工芸展示、奉行所復元展示で構成されている。2ヶ月ごとに展示替えを行い、季節やテーマに沿った資料展示をおこなった。歴史文化展示室は、平成24年4月1日リニューアルオープンのため、11月24日（木）より3月31日（土）まで閉室した。

歴史文化展示室

1. 展示構成

- 1 大航海時代・・・長崎の海外交流の原点、開港までの動きを実物展示と情報端末で紹介。
- 2 朝鮮との交流・・・朝鮮通信使、日朝外交に活躍した雨森芳洲などを通して、日本と朝鮮半島の交流を紹介。
- 3 長崎貿易・・・唐船・オランダ船で運ばれた貿易品を、再現展示とともに紹介。
- 4 中国との交流・・・航海の守護神であった媽祖像とともに、唐人屋敷や伝来した中国文化を紹介。
- 5 貿易都市長崎・・・八十ヶ町からなる長崎の町を、自治や祭り、まちの情景、成り立ちなどに注目し紹介。
- 6 美術展示・・・ヨーロッパや中国の影響を受けた、長崎ならではの絵画や書籍を紹介。
- 7 工芸展示・・・長崎の陶磁器・漆器・青貝細工・ガラス・べっ甲細工・金工など、豊富な実物資料を紹介。
- 8 町屋・・・四季折々に演出された町屋の中で、町人の生活文化を体験。

- 9 長崎くんち・・・長崎の町を象徴する「くんち」の歴史を紹介。
- 10 オランダとの交流・・・出島商館長や商館医らの功績を紹介し、蘭学発祥の地である長崎でのオランダの姿を紹介。
- 11 長崎警備・・・異国船に対する防衛拠点でもあった長崎の状況と、その重要性を紹介。
- 12 長崎遊学・・・平賀源内や勝海舟など、近代日本の礎となった遊学者の情報と関連資料・史跡を紹介。
- 13 日本の近代化と長崎・・・幕末の外交の舞台となり、日本の近代化の先駆けとなった長崎の様子を紹介。

2. 主な展示資料

- 「南蛮人来朝之図」
- 「寛永長崎港図」
- 「狂言袴茶碗」
- 「唐館図絵巻 石崎融思筆」
- 「唐通事所用帽子・胸当」
- 「上野彦馬使用 写真機」



美術展示室

長崎絵画のプロフェッショナル集団・ 唐絵目利の世界（後編）

【展示概要】

江戸時代舶来した中国絵画の鑑定や評価を行った長崎の地役人・唐絵目利の作品と活動を紹介する2回目。

江戸時代後期に活躍した石崎融思や渡辺鶴洲の作

品を中心に、多くが御用絵師を兼ね写実的な画風を特徴としたその画業を紹介。

開催期間：4月20日（水）～6月20日（月）

総入場者数：28,273名

	資料名	作者名	年代	資料番号
1	和蘭船唐船図	石崎融思	江戸時代後期	市博 絵（長崎）301
2	唐船入津丸荷役之図	石崎融思	文化元年（1804）	県美博 A1 イ 0111
3	双鶏図	石崎融思	天保12年（1841）	市博 絵（長崎）275
4	梅花書屋図	石崎融思	弘化元年（1844）	県美博 A1 イ 0071
5	納涼図	石崎融思	天保13年（1842）	県美博 A1 イ 0203
6	山水図	石崎融思	江戸時代後期	市博 絵（長崎）300
7	崎陽十二景	石崎融思	江戸時代後期	市博 絵（長崎）9
8	寄書画帖	石崎融思	文政7年（1824）	市博 絵（長崎）326

9	長崎諸役人増減書	—	寛延3年(1750)	県図 14 3-3 1
10	長崎地役人分限帳	—	文政3年(1820)	県図 渡辺 14-315
11	長崎地役人分限帳	—	文政11年(1828)頃	市博文書 310-81
12	長崎地役人分限帳	—	江戸時代後期	県図 14 48-2
13	山陰澗壑図	石崎融思	江戸時代	県美博 A1 イ 0106
14	三顧礼図	石崎融思	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 430
15	花鳥図	石崎融思	文政2年(1819)	県美博 A1 イ 0032
16	柿色鳩図	石崎融思	江戸時代後期	県美博 A1 イ 0050
17	倣沈銓花鳥図屏風	石崎元章	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0096
18	虎図	渡辺秀詮	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 270
19	長崎芸妓図	荒木君瞻	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 49
20	観瀑図	荒木千洲	安政2年(1855)	県美博 A1 ロ 0095
21	蓬莱山図	荒木千洲	慶應4年(1868)	県美博 A1 イ 0157
22	羅漢図	渡辺鶴洲	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 436
23	鍾馗之図	渡辺鶴洲	江戸時代後期	県美博 A1 イ 0011
24	松に象図	渡辺鶴洲	文化10年(1813)	市博 絵(長崎) 269
25	双鶴図	渡辺鶴洲	文政6年(1823)	県美博 A1 イ 0025
26	福祿寿図	渡辺鶴洲	江戸時代後期	県美博 A1 イ 0204
27	覆瓶画箋	渡辺鶴洲	文政13年(1830)	県美博 A1 イ 0157
28	観音菩薩像	荒木千洲	江戸時代後期	市博 絵(長崎) 131
29	広渡家由緒書	広渡敬蔵(桂洲)	江戸時代後期、嘉永元年(1848)頃	県図 古賀 13-217
30	粉本	—	江戸時代	県美博 F ロ 0025

唐様の書

【展示概要】

黄檗僧の影響を受け、個性を表現する書風として
全国の文化人たちに広がった「唐様の書」を紹介。

開催期間：6月22日(水)～7月18日(月)

総入場者数：3,463

	資料名	作者名	年代	資料番号
1	隠元禅師画像	喜多道矩筆	江戸時代前期	市博 画像(黄檗) 11
2	墨蹟「偈」	隠元	江戸時代前期	県美博 C イ 0105
3	醒語云々	即非	江戸時代前期	県美博 C イ 0116
4	獨立禅師画像	喜多元規	江戸時代前期	市博 画像(黄檗) 13
5	書幅	独立	江戸時代前期	市博 書(黄檗) 3
6	一行書「白雲抱幽石」	趙陶斎	江戸時代後期	県美博 C イ 0071
7	一行書「夕梵雨中燈」	趙陶斎	江戸時代後期	市博 書(長崎) 67
8	書卷(前赤壁賦)	林道榮	江戸時代前期	市博 書(長崎) 278
9	行書「騰蛟超鳳」	林道榮	江戸時代前期	県美博 C イ 0021
10	書跡屏風	高玄岱	江戸時代前期	市博 書(長崎) 255-1.2
11	柳吐千岐葉云々	北島雪山	江戸時代前期	県美博 C イ 0098
12	司馬温公家訓	北島雪山	江戸時代前期	県美博 C イ 0023
13	書卷(独樂園記)	北島雪山	江戸時代前期	市博 書(長崎) 42

夏休み特集展示「れきぶん動物園へ行こう！」

【展示概要】

夏休みの家族向けとして、「動物」をテーマに美術・
工芸・絵画・文書資料などにいきいきと描かれた動物
約30点を紹介。

開催期間：7月20日(水)～9月19日(月)61日間

協力：長崎バイオパーク

総入場者数：8,776名



【関連事業】

動物たちとふれあえる！バイオパーク出張動物園

日時：7月30日(土)～7月31日(日)10:00～16:00

場所：屋外イベント広場

参加者：523名(7/30)・634名(7/31)



バイオパークの飼育員さんによる特別展示解説

日 時：7月30日（土）～7月31日（日）

① 11：30～ ② 14：00～ ※各回約 15 分

参加者：[7/30] 27 名・[7/31] 25 名

	作品名	作者名 / 産地	制作年代	資料番号
1	河童図屏風 水虎晩婦之図	芥川龍之介	大正 11 年	市博 絵 (日本) 8
2	象図	文錦堂版	文化 10 年	県美博 A3 ハ 0100
3	白磁象形置物	平戸・三川内焼	19 世紀後半	県美博 D ハ a1010
4	駱駝図		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0081
5	柳陰洗馬図		1804 年 (中国・嘉慶 9 年)	県美博 A1 イ 0176
6	白磁馬猿形置物	平戸・三川内焼	大正時代	県美博 D ハ a0520
7	猿之図	森祖仙	1814 年頃 (文化 11 年)	県美博 A1 イ 0080
8	白磁牛置物	平戸・三川内焼	明治時代	県美博 D ハ a0603
9	職人尽くし 田おこし	川原慶賀	江戸後期	県美博 A2 ハ 0071
10	朧夜狸図	小波魚青		市博 絵 (長崎) 382
11	日之出に山羊図	片山揚谷	江戸中期	県美博 A1 イ 0089
12	白磁犬置物	平戸・三川内焼	大正時代	県美博 D ハ a0527
13	百鳥図巻	広渡湖秀	江戸中期	県美博 A1 イ 0049
14	鳥獸図巻	広渡湖秀	江戸中期	県美博 A1 イ 0076
15	海棠綬帯鳥図	鶴亭浄光	1770 年 (明和 7 年)	市博 絵 (長崎) 190
16	百花百鳥図		江戸後期	県美博 A1 イ 0014
17	鳥類図 鴨図	川原慶賀	江戸後期	県美博 A2 ハ 0059
19	蒼樹鷹鷄図	宋紫岡	江戸後期	県美博 A1 イ 0015
20	火喰鳥	文錦堂版	江戸後期	県美博 A3 ハ 0025
21	紅毛渡り名鳥	歌川国員	江戸後期	県美博 A3 ロ 0357
22	染付獅子形置物	平戸・三川内焼	明治時代	県美博 D ハ a0702
23	染付色絵麒麟図水指	平戸・三川内焼	19 世紀後半	県美博 D ハ a0261
24	染付鶴龍図琵琶形皿		1814 - 65 年頃 (文化 11 年 - 慶応元年頃)	県美博 D ハ a0363
25	龍図	片山揚谷	江戸中期	市博 絵 (長崎) 489
26	白磁猿形釣金	平戸・三川内焼	19 世紀後半	県美博 D ハ a1008
27	栗鼠図	宋紫岡	江戸後期	県美博 A1 イ 0057
28	水辺遊禽図		1755 年 (宝暦 5 年)	県美博 A1 イ 0124
31	山嵐図	秋岡筆	1838 (天保 9 年) 頃	市博 絵 (長崎) 160
32	べっ甲工芸品 (エリマキトカゲ)			長崎商工部管理品
33	べっ甲工芸品 2 (ベガサス)			長崎商工部管理品
32	べっ甲工芸品 3 (トラ)			長崎商工部管理品
33	べっ甲工芸品 3 (キジ)			長崎商工部管理品

くunch三七七年展

【展示概要】

寛永 11 年 (1634) にはじまった長崎の秋の大祭・くunchで、実際に使用されていた豪華絢爛な傘鉾垂や衣裳、今年の踊町である紺屋町・出島町・樺島町などに関する資料を紹介。

開催期間：9月21日（水）～10月17日（月）

総入場者数：7,741 名



	作品名	作者名	年代	資料番号
1	磨屋町傘鉾垂		大正～昭和時代初期	市博 くunch 15-1
2	出島町神事奉納踊阿蘭陀船長崎入津行列絵巻	甲斐宗平	昭和 36 年 (1961) 頃	市博 くunch 5
3	磨屋町傘鉾飾 (部分)			市博 くunch 15-2
4	本籠町傘鉾垂 (部分)		文化年間 (1804 ~ 1818)	市博 くunch 19
5	蛇踊囃方	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0021
6	唐人蛇踊		江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0022
7	長崎祭礼紺屋町引物図	林基春	明治 30 年 (1897)	市博 版 (長崎) 32
8	本大工町傘鉾垂		大正時代頃	市博 くunch 16
9	寛文長崎図屏風 (左隻)		寛文 13 年 (1673) 頃	市博 絵 (長崎) 29

10	長崎図屏風（複製）		寛文年間頃	市博 複製 56
11	諏訪神事御供道行之図		享保年間（1716～1735）頃	県美博 A 1 イ 156
12	金糸龍刺繍くんち衣裳			市博 くんち 32
13	刺繍入獅子舞唐子衣裳			市博 くんち 23
14	刺繍入獅子舞唐子衣裳			市博 くんち 24
15	刺繍入獅子舞唐子衣裳			市博 くんち 25
16	榎津町傘鉾飾鯛（部分）			市博 くんち 17
17	みゆきの先とも		明治 14 年（1881）	市博 くんち 3
18	NIPPON	シーボルト		県書 2 183 5
19	写真絵葉書		明治 41 年（1908）～44 年（1911）	新収蔵資料
20	乾式ガラス原板		明治 34 年（1901）	新収蔵資料

版画の美

【展示概要】

江戸時代後期の長崎で制作され、異国情緒溢れる雰囲気をたたえたもの、地図や開国前後のニュース性をもつものまで幅広い種類がある長崎版画を中心に、キリスト教布教のためのド・ロ版画、長崎版画

同様に異国をモチーフとした横浜絵などを紹介。

開催期間：10月19日（水）～11月23日（水）

総入場者数：11,322名

	作品名	作者名	年代	資料番号
1	大清人之図	竹寿軒版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0069
2	阿蘭陀人食事之図	竹寿軒版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0068
3	三ヶ国人物之図	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0098
4	オランダジン	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0029
5	阿蘭陀人読書図	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0028
6	阿蘭陀人図	版元不詳	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0034
7	紅毛人膏薬煉之図	版元不詳	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0079
8	オランダ人	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0033
9	オロシャ人之図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0032
10	雪中志学	版元不詳	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0023
11	清人翫蘭図	牛深屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0083
12	長崎土産	磯野文齋、大和屋版	弘化 4 年（1847）	県書 13 214-1 2
13	慶賀写真草	川原慶賀、須原屋茂兵衛刊	天保 7 年（1836）	県書 15 107-1 ～ 2
14	草木花實寫真圖譜	川原慶賀 田口盧谷 前川善兵衛刊	出版年不詳	市博 絵（長崎）154
15	紅毛人饗宴図（下絵）	九橋	文政 8 年（1825）	市博 版（長崎）86
16	阿蘭陀船図	縄屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0017
17	阿蘭陀船図	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0092
18	阿蘭陀船入津之図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0073
19	唐船図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0075
20	阿蘭陀人巡見之図	文錦堂版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0082
21	オランダ人遠眼鏡	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0046
22	阿蘭陀人順見之図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0055
23	阿蘭陀婦人の図	大和屋版	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0043
24	大浦聖教版画 無原罪の聖母とキリスト	作者不詳	明治時代	市博 版（長崎）2
25	大浦聖教版画 聖なる心	作者不詳	明治時代	市博 版（長崎）6
26	大浦聖教版画 キリストとヨゼフ	作者不詳	明治時代	市博 版（長崎）8
27	大浦聖教版画 善人の臨終	作者不詳	明治時代	市博 版（長崎）5
28	大浦聖教版画 悪人の臨終	作者不詳	明治時代	市博 版（長崎）4
29	長崎八景	大和屋	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0066
30	長崎八景	大和屋	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0066
31	長崎八景	大和屋	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0066
32	神奈川横浜新開港図	五雲亭貞秀	万延元年（1860）	県美博 A3 ロ 0113
33	五ヶ国異人酒宴之図	歌川芳員	文久元年（1861）	県美博 A3 ロ 0159
34	外国人どんたく遊らん行歩乃図	歌川芳員	文久元年（1861）	県美博 A3 ロ 0161
35	亜墨利加賑之図	二代歌川広重	文久元年（1861）	県美博 A3 ロ 0253
36	江戸橋夕暮富士	小林清親	明治 10 年（1877）	県美博 A3 ロ 0330
37	勸業博覧会瓦斯館之図	小林清親	明治 10 年（1877）	県美博 A3 ロ 0331
38	内国勸業博覧会美術館之図	三代歌川広重	明治 10 年（1877）	県美博 A3 ロ 0299
39	第二回勸業博覧会内美術館噴水	小林清親	明治 14 年（1881）	県美博 A3 ロ 0333
40	上野公園於開設第三回内国勸業博覧会之略図	三代歌川広重	明治 23 年（1890）	県美博 A3 ロ 0307
41	※参考資料 長崎八景 版木 複製版	不詳	制作年代不詳	市博 木（日本）26

奉行所展示室

当時の絵図などを基に復元された長崎奉行所立山役所の建物とともに、奉行所の役割と機能、部屋の用途などを模型と映像を用いて解説し、関連資料や出土品とあわせて紹介。

1. 展示構成

長崎奉行所立山役所のあらまし・・・長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品を通して紹介。

長崎奉行所職務・・・行政・司法・外交・貿易・軍事全般と、キリシタンや密貿易の取り締まり等、多岐にわたる職責を担った長崎奉行の職務内容を紹介。



犯科帳の世界・・・長崎奉行所の判決記録集「犯科帳」の中から、密貿易やくんちなどの行事に際して起こった事件を、わかりやすく紹介。

歴代長崎奉行・・・127代を数える歴代長崎奉行の業績を、長崎の歴史への足跡とともに紹介。

キリシタン関連資料展示・・・長崎奉行の職務の一つ、キリシタン取締りについて、踏絵など長崎奉行所宗門蔵に収められていた品々を中心に紹介。



長崎奉行所立山役所〈再現〉・・・復元された奉行所の建物を、「大改め」再現展示とともに紹介。

2. 主な展示資料

〈館蔵資料〉

	資料名	年代	資料番号	備考
1	Fascicvlvs e Iapponicis Floribvs (カルデイム 日本殉教精華) A.F.Cardim (カルデイム) 著	1646年	県図2 329	
2	異宗一件書類 長崎奉行所公事掛	慶応3年(1867)	県図B) 11 23-1	国重要文化財「長崎奉行所文書」
3	異宗一件 岡部駿河守(長崎奉行)	万延元年(1860) 9月	県図B) 11 24-1	国重要文化財「長崎奉行所文書」
4	異宗徒信仰之もの改心証文 長崎奉行所	慶応3年(1867) 9月	県図B) 11 25-2 2	国重要文化財「長崎奉行所文書」
5	異宗信仰之者人別改帳 聖徳寺	明治元年(1868)	県図B) 11 51	国重要文化財「長崎奉行所文書」
6	誓文之事 勝五郎	天明3年(1783) 11月25日	県図B) 11 171-1 72	国重要文化財「長崎奉行所文書」
7	浦上村家野郷利助人形被取揚候一件	寛政7年(1795) 2月8日	県図B) 11 171-1 117	国重要文化財「長崎奉行所文書」
8	NIPPON (日本) Ph.Fr.von・Siebold (シーボルト) 著	1832年-1882年	県図2 183	
9	Les Mattyrs du Japon (日本の殉教者たち) Jacques Callot (ジャック カロ) 著	1628年	県美博 F イ 0153	
10	桶屋町中家持借屋宗旨改踏絵帳 桶屋町乙名藤清左衛門著	寛保3年(1743) 正月	県図 藤ト 11 1-1 1	
11	きりしたんころび書物之事 正保2年 西勝寺原蔵の写し		県図 11 113-2	
12	キリシタン制札 奉行発令	正徳元年 1711	市博歴史 法制 2	
13	キリシタン制札 太政官発令	慶応4年 1868	市博歴史 法制 1	

〈東京国立博物館所蔵資料〉

	資料名	個数	資料番号	備考
1	キリスト像	1個	C-589	国重要文化財
2	聖母像	1個	C-590	国重要文化財
3	小天使像	2個	C-592	国重要文化財
4	マリア観音像	1個	C-601	国重要文化財
5	マリア観音像	1個	C-606	国重要文化財
6	マリア観音像	1個	C-613	国重要文化財
7	マリア観音像	1個	C-621	国重要文化財
8	マリア観音像	1個	C-628	国重要文化財
9	マリア観音像	1個	C-634	国重要文化財
10	観音菩薩坐像	1個	C-638	国重要文化財
11	観音菩薩坐像	1個	C-642	国重要文化財
12	観音菩薩坐像	1個	C-654	国重要文化財
13	観音菩薩坐像	1個	C-655	国重要文化財

14	観音菩薩坐像	1 個	C-656	国重要文化財
15	観音菩薩坐像	1 個	C-657	国重要文化財
16	観音菩薩坐像	1 個	C-668	国重要文化財
17	キリスト像	1 個	C-685	国重要文化財
18	聖母子像 (更新)	1 面	C-699	国重要文化財
19	三聖人像 (模写)	1 面	C-692	国重要文化財
20	聖女像	1 面	C-694	国重要文化財
21	聖母子像	1 枚	P-2908-47	国重要文化財
22	銅牌 (無原罪の聖母像)	1 個	C-706	国重要文化財
23	鉛牌 (無原罪の聖母像)	1 個	C-709	国重要文化財
24	銅牌 (ピエタ)	1 個	C-710	国重要文化財
25	無原罪の聖母	1 枚	C-712	国重要文化財
26	キリスト像 (エッケ・ホモ)	1 枚	C-727	国重要文化財
27	聖母子像 (ロザリオの聖母)	1 枚	C-721	国重要文化財
28	キリスト像 (ピエタ)	1 枚	C-726	国重要文化財
29	ロザリオ	1 連	C-746	国重要文化財
30	ロザリオ	1 連	C-749	国重要文化財
31	ロザリオ	1 連	C-765	国重要文化財
32	ロザリオ	1 連	C-773	国重要文化財
33	ロザリオ	1 連	C-776	国重要文化財
34	ロザリオ	1 連	C-800	国重要文化財
35	ロザリオ	1 連	C-819	国重要文化財
36	ロザリオ	1 連	C-820	国重要文化財
37	ロザリオ	1 連	C-826	国重要文化財
38	ロザリオ	1 連	C-827	国重要文化財
39	ロザリオ残決	1 連	C-854	国重要文化財
40	十字架	1 個 (27 個の内)	C-857	国重要文化財
41	十字架	1 個 (9 個の内)	C-859	国重要文化財
42	十字架	1 個 (3 個の内)	C-879	国重要文化財
43	十字架	1 個 (5 個の内)	C-892	国重要文化財
44	十字架	1 個 (5 個の内)	C-894	国重要文化財
45	十字架	1 個 (3 個の内)	C-895	国重要文化財
46	十字架	1 個 (6 個の内)	C-896	国重要文化財
47	十字架	1 個 (9 個の内)	C-898	国重要文化財
48	十字架	1 個	C-906	国重要文化財
49	十字架	1 個 (9 個の内)	C-910	国重要文化財
50	十字架	1 個 (9 個の内)	C-911	国重要文化財
51	十字架	1 個	C-912	国重要文化財
52	メダイ	1 個 (11 個の内)	C-917	国重要文化財
53	メダイ	1 個 (14 個の内)	C-921	国重要文化財
54	メダイ	1 個 (8 個の内)	C-924	国重要文化財
55	メダイ	1 個 (2 個の内)	C-925	国重要文化財
56	メダイ	1 個	C-926	国重要文化財
57	メダイ	1 個	C-939	国重要文化財
58	メダイ	1 個 (7 個の内)	C-959	国重要文化財
59	メダイ	1 個	C-962	国重要文化財
60	メダイ	1 個	C-964	国重要文化財
61	メダイ	1 個	C-985	国重要文化財
62	守裂 図版 no462	1 点	C-1001	国重要文化財
63	守裂 図版 no467	1 点	C-1001	国重要文化財
64	守裂 図版 no468	1 点	C-1001	国重要文化財
65	守裂 図版 no469	1 点	C-1001	国重要文化財
66	キリスト像 (エッケ・ホモ)	1 枚	C-1006	国重要文化財
67	キリスト像 (十字架上のキリスト)	1 枚	C-1010	国重要文化財
68	メダイ	1 個 (2 個の内)	C-1040	
69	メダイ	1 個	C-1061	
70	メダイ	1 個	C-1063	
71	ロザリオ	1 連	C-1069	国重要文化財
72	守裂 図版 no490	1 点	C-1084	国重要文化財
73	守裂 図版 no492	1 点	C-1084	国重要文化財
74	守裂 図版 no494	1 点	C-1084	国重要文化財
75	守裂 図版 no508	1 点	C-1084	国重要文化財
76	守裂 図版 no509	1 点	C-1084	国重要文化財
77	守裂 図版 no511	1 点	C-1084	国重要文化財
78	聖母子像	1 個	C-1112	国重要文化財

3 歴史文化展示室リニューアル

1) リニューアル工事期間

11月24日(木)より平成24年3月31日(土)まで歴史文化展示室を閉鎖し、リニューアル工事を行った。

2) リニューアルのポイント

1, 幕末・維新时期を充実

激動の幕末・維新时期、最新の西洋技術と軍艦・武器等を求めて長崎には、坂本龍馬ら多くの志士達が集まり、帰郷後日本の近代化に大きく貢献した。彼らが生き活躍した時代をテーマに、新たな長崎の魅力として幕末・維新时期の展示を大幅に充実。



2, 長崎交流史列伝(ミニシアター)の新設

長崎の近世海外交流史における多くの事柄の中から、来館者に特に伝えたい「西洋との出会い、長崎貿易、中国との交流、オランダとの交流、日本の近代化」という五テーマについて、人物にスポットを当てた交流史列伝というミニシアターを新設。150インチ大型マルチスクリーンにより、CGや荘厳な唐寺の映像など、登場人物ゆかりの地を舞台に展開。



3, 実物資料展示に重点

博物館の誇る近世海外交流史に関する国内有数の実物資料を、できるだけ多くご覧いただくために、大型ケースの新設と小型ケースの大型化を各コーナーでおこなった。ケースの増設に伴い、年間通して多彩なテーマ展示が可能となり、平成24年度から各コーナーでテーマ展示を開催予定。

4, 読みやすい解説パネル

「文字が多い、小さい、暗くて読みづらい」という、来館者のストレスを軽減することに正面から取り組み、ポイントをついた必要最小限の文字数、大きく読みやすい文字種、低照度な展示室でも判読しやすい白い背景色を今回採用。観光客や子どもたちには分かりやすく、県民・市民にはより深く情報を伝えるため、大項目・中項目・小項目・こどもパネルの4段階構成。

5, 詳しい情報は検索端末(タブレット)から

絵巻・屏風の全体・細部や各コーナーの詳しい内容などの情報を、最新のタブレット端末にデータ化し、観覧者の関心に応じて「広く・深く」を引き出す形式を採用。また各コーナーの目玉資料は、日中英韓の四ヶ国語に対応。

6, 体験コーナーの質・量とも大幅拡充

難しい解説となりがちな博物館展示において、「覗いて、触れて、匂いをかいで、組み立てて、聴いて」といった五感を使った体験参加アイテムや、こども解説も各コーナーに新設し、子供から大人まで楽しく長崎の歴史と文化に出会える展示室。「動作」も歴史展示のひとつとして楽しむことができる。



3) 各コーナーの概要

これまでの展示室では、自由動線を採用していたが、リニューアルにあたって展示ストーリーを明確化し、一本動線を採用。

1, 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～

「南蛮屏風」の世界を、拡大された展示ケースで、長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限をテーマに紹介。南蛮美術や朱印船貿易家たちの遺品、島原・天草一揆の舞台原城からの出土品などが目玉資料。16世紀後半が対象。



2, 朝鮮との交流～朝鮮通信使と対馬～

対馬藩を介して展開された日本と朝鮮との外交・貿易を紹介。朝鮮通信使絵巻を映像や情報端末で読み解き、大行列で構成された一行や、華やかな服装で連なる使節の人々は、日本と朝鮮との友好関係を象徴している。17世紀前半～19世紀が対象。



3, 長崎貿易～唐船・オランダ船と行き交う商品～

世界中の貿易品が集まった長崎の姿を紹介。体験コーナーでは、輸入品を鑑定する「目利き」となって、「触る」「嗅ぐ」など五感を通じて江戸時代の長崎貿

易を理解できる。オランダ船・中国船・蒸気船など長崎に来港した国際色豊かな船の模型もみどころ。17世紀中頃が対象。



4. 中国との交流～唐寺と唐人屋敷～

唐寺や唐人屋敷でおこなわれた中国との文化交流を紹介。黄檗僧や来舶清人たちの影響を受けた書画の名品が目玉資料。龍踊など現在の長崎にも受け継がれている中国文化の源流も探ることができる。17世紀後半が対象。



5. 長崎の暮らし～長崎の賑わいと町の仕組み～

「寛文長崎図屏風」「長崎惣町絵図」「長崎くんち」を中心に、長崎の町を紹介。「寛文長崎図屏風」などに描かれた町の情報を読み解くと、生き生きとした人々の生活や町の特徴が明らかになる。18世紀が対象。



6. 長崎の美術・工芸～交流が生んだ異国趣味～

流行の発信地長崎、あふれる異国趣味をテーマに、長崎の美術工芸の逸品を紹介。情報端末で名品を

360°回転などで見せるなど、所蔵品の魅力を余すことなく見ることができる。美術展示室では年間7本の企画展を実施。



7. オランダとの交流～出島と蘭学～

長崎出島を窓口として行われた海外との豊かな交流、多方面への影響をテーマに紹介。中央に360°から観覧できるケースを配置、壁面ケースも拡大し、川原慶賀「人の一生」やシーボルト手術道具など、長崎に残された貴重な資料を見ることができる。19世紀が対象。



8. 近代化の魁・長崎～長崎発、西洋の知と技～

近代技術の移入、近代日本の魁をテーマに、海外の窓口として最新の学問や技術、情報が集まった幕末・明治の長崎を紹介。写真師上野彦馬の上野撮影局の再現展示や活版印刷の植字、国際通信のモルス符号発信などを入口として、当時の雰囲気を楽しむことができる。19世紀中頃が対象。



4) 展示室配置図



5

調査研究事業

1 長崎学調査研究プロジェクト

平成23年8月より、長崎学研究の充実と長崎県における中核博物館としての役割をより発展させるため、当館研究員を核に県内外の研究者等の協力を得て長崎学調査研究プロジェクトを発足させた。

1) 目的

「博物館で研究し、博物館で活かす」ためのプロジェクトで、その成果は企画展の創造や展示工夫のあり方、各種学校を含めた地域社会との連携など、変化する社会のニーズに対応するため現実に効果を挙げるための体制作りを活かす。

- 長崎の歴史・文化の研究と普及、地域の活性化に資する長崎学の調査研究の拠点化
- 従来の長崎学研究体制の強化、体系化した組織づくりを目指し、「ミュージアム県長崎」の中核博物館としての機能充実
- 有期（前期・後期、各3年間）で3テーマを設定し、具体的な研究活動を展開
- 「進化する博物館」として、プロジェクト研究の発展的成果を創出
- 研究環境を充実し、研究者にとって魅力ある研究体制づくりの構築

2) プロジェクト構想

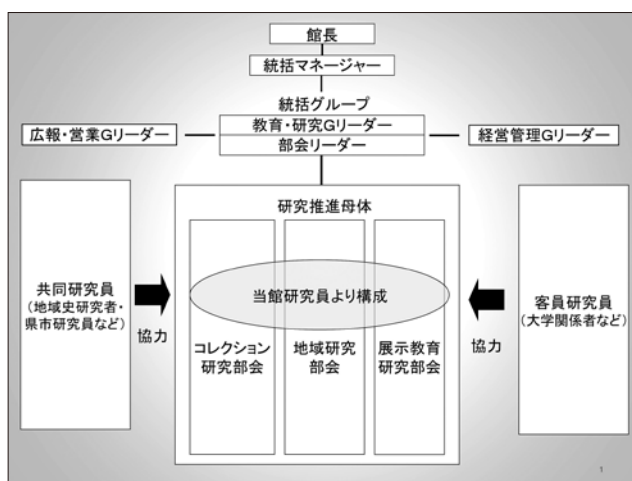
[長崎学の理念]

近世長崎における海外交流の歴史は、古代から中世にかけて県下全域で展開されてきた海外交流の歴史が現長崎市で集大成されたものと位置づける。この前提の下、研究対象エリアを、現在の長崎市を軸にした県下全域と東アジア世界、さらにはオランダを中心とするヨーロッパ世界とする。

また近世長崎は、江戸・京都・大坂の3都市に次ぐ発展をみせた海港都市としての性格を持ち、長崎で花開いた特異な文化が日本国内に向けて発信されていたことから、近世都市としての性格とその延長にある近代長崎の魅力、さらにそこで育まれた豊かな文化史の研究も長崎学研究の基本柱として拠点化を図る。とくに館蔵品約4万8千点に及ぶコレクション研究により、新たな長崎学の充実を図る。

3) 調査研究推進体制

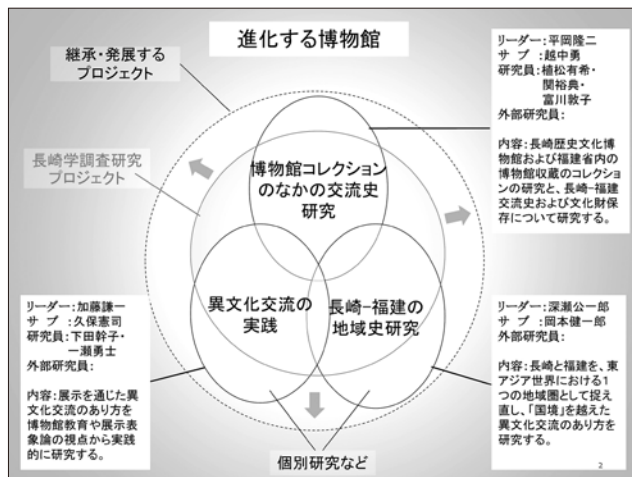
長崎学研究の具体的な取り組みを、コレクション研究・地域研究・展示教育研究の3テーマに集約。



4) 前期プロジェクト概要

「長崎県と東アジア世界（福建省）」

日中国交正常化40周年および長崎県-福建省友好都市30周年を2012年にひかえ、また2010年福建省博物院と本館との友好館協定締結を受け、福建省との交流史を軸に東アジア世界と長崎県全域との交流史を研究テーマに設定。研究成果は2010年度に交流提携を結んだ福建省福建博物院と連携して2012年度開催予定の「福建博物院展」（仮称）で発表。



ア) コレクション研究部会

[研究テーマ]

- 当館収蔵コレクションのうち、特に中国との交流にまつわる作品・資料の調査・研究。コレクションの体系的な整理・修復・保存・公開にまつわる研究、福建博物院を中心とする館外コレクションの調査・研究も含む。
- 福建博物院における保存・修復事業に関する情報を収集。同分野に関する今後の交流の可能性について検討。

[組織]

リーダー：平岡隆二

サブ：越中勇

研究員：植松有希・関裕典・富川敦子

客員研究員：錦織亮介（元北九州市立大学教授。黄檗文化）

共同研究員：若木太一（長崎大学名誉教授。長崎学・近世文学）、織田毅（長崎中国交流史協会会員）、石尾和貴（長崎県文化振興課主事）、徳永宏（長崎県文化振興課学芸員）

[期待される成果]

- 当館収蔵コレクションのデータベース充実
- 研究紀要等の媒体を通じた研究成果発表

イ) 地域研究部会

[研究テーマ]

- 長崎と福建を、東アジア世界における一つの地域圏として捉え直し、「国境」を越えた異文化交流のあり方を研究。
 - ・各地域博物館収蔵資料および中国関係史蹟の調査
 - ・中国（福建省）との交流について、長崎県内各地域の特性を歴史的に総合
 - ・「福建博物院展」の展示資料調査
 - ・長崎歴史文化博物館収蔵資料との関連調査（⇔コレクション研究）
 - ・「郷土史クラブ」との連携（⇔展示教育研究）
- ◆調査対象
 - ・長崎県内の博物館施設・中国関係史蹟
 - ・古文書、古地図、貿易陶磁、渡来仏、絵画、墓碑、碑文等

[組織]

リーダー：深瀬公一郎

サブ：岡本健一郎

客員研究員：藤田明良（天理大学教授。中世・近世東アジア史）

共同研究員：久家孝史（松浦史料博物館学芸員）、塚原博（小値賀町立歴史民俗資料館）、川口洋平（長崎県世界遺産登

録推進室）、松下久子（長崎県文化振興課主任学芸員）

[期待される成果]

- 長崎県内の中国関係資料について統合的な資料調査報告書を作成
- 唐寺所蔵の文化財を記録化
- 調査資料については、「福建展」をはじめ当館展示で一般公開
- 「福建展」の図録などの出版事業を通じて調査結果を一般公開
- 長崎県内博物館との連携強化
- 日中交渉史・中国文化についての新たな歴史的魅力の発見と長崎県・長崎市の観光事業への寄与

ウ) 展示教育研究部会

[研究テーマ]

- 中国（福建省）との歴史的・文化的交流の様相を博物館という場を通じて人々に紹介する異文化理解（自文化理解）教育プログラムの開発と実践に関わる研究。
- 地域博物館の活性化のための地域社会との連携組織「郷土史クラブ」の育成・支援モデルの構築とその活動成果の波及と定着に関する実践研究。
- 博物館教育に関する実践的研究を通じた、福建博物院と当館との相互交流。

[組織]

リーダー：加藤謙一

サブ：久保憲司

研究員：下田幹子・一瀬勇士

研究プロジェクト協力者：太田歩（国立歴史民俗博物館 専門職員）

共同研究員：加藤尊城（長崎市立深堀小学校教諭）、梅林一城（長崎市立畝刈小学校主幹教諭）、山下和秀（大村市教育委員会）、松川憲毅（大村市教育委員会）、松見裕二（一支国博物館学芸員）、山口保彦（長崎県文化振興課課長補佐）

[期待される成果]

- 歴史系博物館を場として、海外交流史を基盤とした異文化理解教育プログラムの実践を自文化理解につなげるノウハウの蓄積と共有。
- 地域社会（学校）との連携を通じた博物館活性化および次世代支援者層の育成モデルを提示。

5) 実施状況

■第1回長崎学調査研究プロジェクト全体会議

日時：8月27日（土）13：30～17：00

全体会：13：30～14：30〔於：ホール〕

部会：14：40～17：00〔於：会議室〕

■中間報告 長崎学調査研究プロジェクトフォーラム 「長崎と福建省（東アジア世界）の交流～博物館で 研究し、博物館で活かす～」

日時：平成24年3月3日（土）10：30～17：00

内容：第1部 研究成果報告 10：40～14：40

- 1 「長崎出土の福建陶磁—考古学からみた長崎と福建」長崎県世界遺産登録推進室・川口洋平氏
- 2 「中国水中考古学 20年の精華」福建博物院考古研究所・王芳氏
- 3 「長崎唐通事の肖像画」北九州市立大学名誉教授・錦織亮介氏
- 4 「『華夷変態』における鄭成功と鄭彩に関する考証と解釈」福建博物院対外交流部・蘭恵英氏
- 5 「展示を通じた研究成果の還元—国立歴史民俗博物館の実線から」国立歴史民俗博物館・太田歩氏

第2部 パネルディスカッション

15：10～16：50

テーマ1 「長崎と東アジア世界（福建省）の交流—人・物・文化—」

テーマ2 「中国福建博物院展に向けて」

日本とくに長崎県内に搬入された貿易陶磁器と中国水中考古学の成果物との関連、唐通事の肖像画から見える「長崎のお絵像」と「中国民間肖像画」「黄檗画像」の三者の類似性についてなど、今後の研究に大いに期待できる成果を得た。

参加者：115名



■各部会の活動状況

[コレクション研究部会]

第1回部会 8月27日（土）15：00～17：00

・今後の活動について

第1回調査 11月20日（土）・21日（日）

参加者：平岡、越中、植松、富川、関、若木、錦織、織田

調査テーマ：「お絵像」

11月20日 報告：錦織亮介「長崎唐通事の肖像画（お絵像）」

館藏品調査

11月21日 館藏品調査

第2回調査 平成24年1月7日（土）、8日（日）

場所：長崎歴史文化博物館、春徳寺

調査テーマ：長崎系の書跡

参加者：平岡、越中、植松、富川、関、若木、錦織

報告：若木太一「長崎系の書跡」

内容：1月7日 報告、館藏品調査

1月8日 館藏品調査、春徳寺調査

[地域研究部会]

第1回部会 8月27日（土）15：00～17：00

・福建博物院展の展示候補資料・展示趣旨・展示ストーリーの検討

・今後の部会調査テーマの検討

・平成23年度中間報告シンポジウムの内容検討

[展示教育研究部会]

第1回部会 8月27日（土）15：00～17：00

参加者11名

・展示教育部会の趣旨説明

・大村市の郷土史クラブの事例報告

・今後のスケジュールの検討

第2回部会 12月10日（土）13：30～17：00

参加者10名

・今後の活動について

・報告

1, 総合的な学習カリキュラムについて（深堀小学校 加藤）

2, 長崎県教育委員会による「長崎学」振興事業について（長崎県文化振興課 山口）

3, 異文化を展示するために—展示開発の方法から考える—（国立歴史民族博物館 太田）

4, 家庭とつながり地域の歴史・文化にふれる～れきぶんおやこクラブ～（長崎歴史文化博物館 加藤）

福建省への調査

調査内容	日程	調査先	調査者
予備的資料調査	8月29日～9月5日	福建博物院	深瀬公一郎（地）、加藤謙一（展）
国際交流展示に向けた打ち合わせ	8月29日～9月2日	福建博物院、福建省文物局	野間誠二（当館統括マネージャー）
資料選定および状態確認作業	11月28日～12月5日	福建博物院	深瀬公一郎（地）、加藤謙一（展）
国際交流展示に向けた最終的な協力要請	11月28日～12月2日	福建博物院、福建省外事弁公室、福建省文物局	大堀哲（当館館長）

長崎県内の調査

資料調査	8月18日	大村市立史料館	深瀬公一郎（地）、岡本健一郎（地）
	10月3日	波佐見町教育委員会	大石一久、深瀬公一郎（地）
	10月17日～19日	対馬歴史民俗資料館	岡本健一郎（地）、下田幹子（展）
	12月5日～12月7日	一支国博物館	岡本健一郎（地）、一瀬勇士（展）
	1月21日～1月23日	松浦史料博物館	深瀬公一郎（地）、久保憲司（展）
	2月22日～2月24日	小値賀町立歴史民俗資料館	下田幹子（展）
	3月17日～3月18日	松浦史料博物館	大石一久
	3月28日	南島原市教育委員会	加藤謙一（展）

※（地）は地域研究部会、（展）は展示教育研究部会



1) 個別調査・研究

「寛文長崎図屏風」「石崎融思筆 唐蘭館絵巻」「長崎奉行所絵図」などの高精細画像を撮影し、屏風・絵巻・絵図に描かれている長崎の町や貿易の様子、奉行所関係施設について調査研究を進めている。これまで十分検討することができなかった細部まで詳細な分析が可能となり、新たな知見が期待できる。

2) 調査・研究成果の公表

『研究紀要』第6号

資料紹介 梅ヶ谷津借楽園所蔵 伝木下逸雲「描繪四季耕作図小袖」 植松 有希

研修報告 多文化国家の博物館政策—シンガポールの国立博物館における取組み—

竹内 有里

論文 垣内・潜伏キリシタン長墓墓碑群

大石 一久

「測量秘言」の写本について 平岡 隆二

唐人屋敷の維持管理と長崎の大工職人

深瀬 公一郎

対馬藩における長崎屋敷移転と御用商人

岡本 健一郎

長崎唐通事の肖像画 錦織 亮介

(元北九州市立大学教授)

3) 館外活動

大石一久(当館研究グループリーダー)

○委員

- ・大村市文化財審議委員
- ・大村市史編纂・編集委員
- ・佐賀県鹿島市文化財審議委員
- ・大分県臼杵市内キリシタン遺跡調査指導委員

○執筆

『日本キリシタン墓碑総覧』南島原市世界遺産室、平成24年3月

「日野江城跡階段遺構出土の転用石塔について」『日野江城跡 総集編 I 南島原市文化財調査報告集第6集』2011年3月

○講師

- ・CEMCA主催講演会「世界諸国の死に関する儀式・行為・心象・言葉」(於:メキシコ国立人類学博物館)「16世紀日本へのキリスト教伝播とその影響—墓制の相違と現代日本における死生観の変化—」
- ・高知大学主催平戸研究大会「平戸の中世・石造物」
- ・壱岐市主催講演会「壱岐の中世石造物—とくに石造弥勒如来座像について—」

- ・高知大学主催西海研究大会「肥前を中心とした中世・石造物の概要と特質—西海のブランド商品と海上交流」

- ・比治山大学研修講座「キリシタン禁制と長崎奉行」

越中勇

○委員

- ・長崎市歴史民俗資料館運営委員

平岡隆二

○学会発表

- ・「16世紀日本におけるイエズス会科学」、科学史学会創立70周年記念京都シンポジウム2011「東西科学文化交流史研究の新展開」(日本科学史学会京都支部・京都大学人文科学研究所主催)、於京都大学文学部、2011年12月4日

○執筆

- ・「出島商館長デュルコーブ墓碑について」『日本キリシタン墓碑総覧』南島原市世界遺産室、平成23年3月

- ・「大円分度」の研究:佐賀とエジンバラに現存する北条流測量器具『財団法人鍋島報効会研究助成研究報告書』第5号、平成23年10月

- ・『新長崎市史 近世編』2012年3月(分担執筆)

○講師

- ・長崎歴史文化観光検定1級受験対策講座
- ・「孫文と梅屋庄吉の関わり」、放送大学長崎学習センター文化講演会、於放送大学長崎学習センター、2012年2月18日
- ・「九大の理学資料:桑木文庫」、九州大学百周年記念事業特別講座「九大100年 お宝大集合〜仙厓さんからおカイコさんも全学から発掘」(九大人文科学研究院・朝日カルチャーセンター主催)、於九州大学21世紀交流プラザI、2011年7月9日

深瀬公一郎

○執筆

- ・『新長崎市史 近世編』2012年3月(分担執筆)

○講師

- ・長崎歴史文化観光検定1級受験対策講座
- ・長崎市中央公民館 秋の講座「長崎よろず学〜長崎犯科帳〜」

岡本健一郎

○学会発表

- ・「御城米輸送と沿岸防備」第37回交通史研究会大会、2011年5月14日、学習院大学

○執筆

・『新長崎市史 近世編』2012年3月(分担執筆)

○講師

- ・長崎歴史文化観光検定2級・3級受験対策講座
- ・第19期長崎県すこやか長寿大学校・長崎校(専門課程)「江戸時代の長崎と異国船」
- ・長崎市中央公民館 秋の講座「長崎よろず学～長崎犯科帳～」
- ・長崎県ミュージアム連携促進事業実務者研修「歴史資料の調査方法と台帳づくりについて」

○研修参加

・平成23年度歴史民俗資料館等専門職員研修会(文化庁)

植松有希

○研究発表

・「小西家所蔵・木下逸雲関係資料について」
第75回近世美術研究会、2012年1月28日、福岡市美術館

○執筆

・『新長崎市史 近世編』2012年3月(分担執筆)

○外部資金による調査研究

・平成23年度笹川科学研究助成 学術研究部門「近世長崎の文人社会の研究～南画家・木下逸雲関連資料を中心とする～」

○講師

- ・第19期長崎県すこやか長寿大学校・長崎校(専門課程)「長崎の美術工芸の魅力」
- ・高浜市やきものの里かわら美術館企画展『長崎歴史文化博物館収蔵品展』講演会「海外交流が生み出した、長崎の美術工芸の魅力」

竹内有理

○学会発表

・「長崎歴史文化博物館における地域連携・教育事業の成長プロセスのモデル化」
日本ミュージアム・マネジメント学会第16回大会、2011年6月5日、九州産業大学

○執筆

・「館種を越えた博物館連携の試み～夏休み企画『れきぶん動物園に行こう』の事例を通して～」『日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要』第16号、2012年3月

○研修参加

・文部科学省学芸員等在外派遣研修 シンガポール・アジア文明博物館 10月19日～11月14日

加藤謙一

○学会発表

・「長崎歴史文化博物館における地域連携・教育事業の成長プロセスのモデル化」
日本ミュージアム・マネジメント学会第16回大会、2011年6月5日、九州産業大学

○外部研究員

・国立民族学博物館共同研究員

下田幹子

○研究協力

・科学研究費補助金基盤研究「ユーラシアの近代と新しい世界史叙述」(東京大学東洋文化研究所)

○外部資金による調査研究

・平成23年度笹川科学研究助成 実践研究部門「海外交流史展示を用いた異文化理解教育ツールとプログラムの開発・試行—地域の歴史系博物館における「国際化時代」の教育普及事業—」

○研修参加

・平成23年度ミュージアム・エデュケーター研修(文化庁)

一瀬勇士

○執筆

・「館種を越えた博物館連携の試み～夏休み企画『れきぶん動物園に行こう』の事例を通して～」『日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要』第16号、2012年3月

3 史料翻刻事業

「長崎歴史文化博物館資料集一 福济寺関係資料」

- 内容 「福济寺 山号寺号庵号諸伽藍并代々住持唐僧来朝年数」
「分紫山福济寺并未庵境内控」
「三大寺誌」
「本寺請唐僧一件」



4

資料修理修復事業

平成 23 年度に外部委託で修復した資料は 6 点。常設展示や企画展示で展観予定の作品や早期修復が望ましい資料の修復を行い、刀剣類の定期的な研磨を外部委託した。

資料番号	作品名	頁数	作者	現状	修復内容
県美博 A2 イ 83	桃園	1 幅	江越繡浦	本紙中央に深い折れ。糞の箇所 に欠失が多数見られ、補修跡がある が色調が合っていない。肌裏紙の 接着力が弱く、絵絹の剥離が進行 中。虫糞らしきものの付着。掛緒 が切れている。絵具は安定。	表具は解体せず旧総裏を除去し、新規に宇陀紙 と古糊を打ち替える。絵具部分は 3～5% の膠 水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。 旧補彩箇所の色調の調整を行う。軸首は再使用。 太巻芯、桐箱の新調。
県図書 3 1-1 1	長崎市内 小曾根地域地割図 東山手居留地図	1 幅	—	本紙は安定しているが表具の傷み がかなり進んでいる。表具の剥が れ、虫損甚だしい。常設近代化コ ーナーで展示しているので早期の 修復必要。	絵図の装丁形式の変更をできるだけしないよう な応急的修理。上下軸を外し、表具は解体せず 糊離れの糊差し、新規に総裏打ち。絵具部分は 3～5% の膠水溶液で剥落止め。降り伏せを入 れる。元の紙箱を再利用。
市博 絵 (長崎) 192	花鳥図	1 幅	石崎元徳・ 石崎融思	全体に横折れ多数。汚損あり。天 地の裂が脆弱化。今後の傷みの進 行も予想される。	本紙の亀裂と横折れを無くすために、旧裏打紙の 除去、新しい美濃紙にて肌裏打ち。似た補修絹 を調整し欠失箇所・本紙四方の補絹。絵具部分 は 3～5% の膠水溶液で剥落止め。降り伏せを 入れる。表具形式は元裂を再使用、天地の無地 裂は再使用。太巻芯、箱新調。
市博 書 (中国) 90	書額・精洋亭	1 面	孫文	経年による本紙全体の傷み、破れ が甚だしい。額装も全体が破損。 10 月 1 日から開催の「孫文展」出 品なので早期の修復必要。	本紙裏打紙の除去を行い断裂の原因を除去、新 しい和紙で裏打ちを数回。本紙の料絹が広い面 で欠損している箇所と四方を似寄の補修絹によ り補修。大縁の金箔は再使用。額下地は新調。 裏棧を新調し補強。
市博 絵 (長崎) 38	蘭人鷹狩図	1 面	荒木如元	経年による本紙全体の汚れ・傷み・ 浮きが甚だしい。他に擦れ傷、剥 落、画布の変形。	作品分離、支持体の布の繕い、絵具層全体の亀 裂の接着、変形を平らにする、埃汚れ除去、剥 落部処置、新調パネルに作品を固定、既存額の 新調。
市博 絵 (長崎) 4	油彩紅毛風景図額	1 面	原南嶺齋	経年による本紙全体の汚れ・傷み・ 浮きが甚だしい。他に擦れ傷、剥 落、画布の変形。特に、水平方向 に生じた大きな変形、虫損の被害 が甚だしい。	作品分離、支持体の変形を平らにする、絵具層 全体の亀裂の接着、欠失部分の補填、埃汚れの 除去、剥落部の処置、作品周縁に布を貼り足し 木枠に張る、額装は再利用。
県美博 D イ 1,10,11,16, 18～20,23	刀	8	—		研磨
刀剣 1～10	刀剣	10	—		研磨

平成 23 年度に修復した古文書資料は 131 点。

- ・長崎県資料 53 点
- ・長崎市資料 78 点

〈長崎県資料〉

修理内容については、虫損がひどいものについては
裏打ち、軽微なものについては部分修理を実施し、
できる限り資料の原型維持に努めた。

	資料名	資料番号	丁数	修復内容
1	郷土歴史人物事典・長崎	13 2320	245 丁	コピーなど利用による背と表紙のはずれ。刊本
2	長崎事典・風俗文化編	13 2559 1	584 丁	コピーなど利用による背と表紙のはずれ。刊本
3	鷺洲詩稿 1	12 1432	28 丁	虫喰いがひどい表紙は裏打ち。本紙は虫喰い穴 の繕い修理
4	高波記 寛政四年四月朔日	13 78-1 1	21 丁	焼けて真ん中が切れている。濡れてカビとシミ。 裏打ち
5	十八公略傳	13 86-3 1	267 丁	綴じ糸切れ、部分的な虫喰いは繕い修理
6	治験録 明治 15 年 (安永家旧蔵資料)	15K 1406	222 丁	部分修理。挟み込みの劣化した丁のみ裏打ち処置
7	薬品通帳 明治 36 年～明治 37 年 (安永家旧蔵資料)	15K 1407	10 丁	水濡れによる劣化、汚損、虫喰い。裏打ち処置
8	諸記 明治 36 年～明治 37 年 (安永家旧蔵資料)	15K 1409	8 丁	水濡れによる劣化、汚損、裏打ち処置
9	論語 (安永家旧蔵資料)	12K 2593	30 丁	水濡れによる劣化、汚損、洗浄後表紙のみ裏打 ち処置
10	論語 卷之六 朱喜集註 (安永家旧蔵資料)	12K 2594	30 丁	水濡れによる劣化、汚損、洗浄後表紙のみ裏打 ち処置
11	日本風俗図絵 一 (安永家旧蔵資料)	18K 1608 1	109 丁	保存帙の部分修理、本紙は風通しのみ
12	日本風俗図絵 二 (安永家旧蔵資料)	18K 1608 2	105 丁	保存帙の部分修理、本紙は風通しのみ
13	日本風俗図絵 三 (安永家旧蔵資料)	18K 1608 3	98 丁	保存帙の部分修理、本紙は風通しのみ
14	中学漢文読本 (安永家旧蔵資料)	11K 3240	60 丁	水損によるシミ、表紙の劣化。裏打ち処置
15	古文真宝 (安永家旧蔵資料)	12K 2596	129 丁	水損により、全丁が折りが切れている。
16	実験 日本修身書 卷一 (安永家旧蔵資料)	11K 3238	21 丁	水損によるシミ、表紙の劣化。裏打ち処置

17	修正 新体読本 卷七 (安永家旧蔵資料)	11K 3239	46 丁	水損によるシミ、表紙の劣化。裏打ち処置
18	さなだ記 二/真田三代実記 (安永家旧蔵資料)	12K 2592	70 丁	水損によるシミ、汚れ
19	MEDICAL SCIENCES (安永家旧蔵資料)	2K 803	洋書	表紙が布で洋書。陰干し後、刷毛で埃と汚れをはらった
20	松平石見守様御家中	藤ト 13 28	1 通	折りたたんだまま濡れており、劣化している為裏打ち処置
21	八幡町川嶋与衛門類族図/ころび宗類族図	福田テ 11 178	1 通	シバン虫の食痕がひどいので裏打ち処置
22	ながさき	渡辺へ 12 191	104 丁	原稿用紙にインクペン書き。酸性劣化の為裏打ち処置
23	年行司部屋行事並諸取扱留	渡辺へ 14-345	91 丁	虫喰いがひどい丁のみ裏打ち処置あとは穴の繕い修理
24	[船荷取引御用留]	渡辺へ 17 128 1	248 丁	湿害により、劣化著しいので裏打ち処置
25	交隣提醒 信使停止覚書 全	13K 5811	48 丁	表紙芯紙に情報あり裏打ち。本紙は部分修理
26	長崎御番船積	17K 2592	38 丁	表紙芯紙に情報あり裏打ち。本紙は部分修理
27	新畑覚 延享二年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2601	1 通	汚れシミあり虫喰いもあるので裏打ち処置
28	売渡申証文之事 天明二年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2602-1	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
29	手形之事 寛政二年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2602-2	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
30	差出証文之事 寛政四年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2602-3	1 通	包み紙は虫喰いが多いため裏打ち処置本紙は繕い修理
31	借用申証文之事 文政三年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2602-4	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
32	覚 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2602-5	1 通	全体にシワと汚れがひどいので水張り後繕い修理
33	覚 天明二年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2603	1 通	包み紙は虫喰いが多いため裏打ち処置本紙は繕い修理
34	証文之事 天明二年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2604	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
35	証文之事 天明八年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2605	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
36	借用申銭之事 天明九年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2606-1	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
37	[請取覚] (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2606-2	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
38	借用申銭之事 寛政元年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2607	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
39	借用申銭証文之事 寛政五年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2608	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
40	証文之事 寛政五年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2609	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
41	差出し申証文之事 寛政九年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2610	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
42	預り申銭証文之事 寛政十年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2611	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
43	借用申証文之事 寛政年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2612	1 通	虫喰いが文字にかかっているため裏打ち処置
44	覚 寛政十三年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2613	1 通	虫喰いが文字にかかっているため裏打ち処置
45	借用申銭証文之事 寛政年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2614	1 通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
46	永代売渡申証文之事 文化二年 (野母崎樺島肥前屋文書)	17K 2615	1 通	包み紙が劣化と虫喰いの為裏打ち処置本紙は繕い修理
47	大浦天主堂関係綴り・昭和 26 年 2 月分	16 316 9	簿冊	水濡れによる劣化とカビ。表紙を作成し取り替えた
48	誌林良材 乾之中	16-318	簿冊	水濡れによる劣化とカビ。表紙を作成し取り替えた
49	松平主殿頭様忠刻公御旅行中二而御病氣御届御逝去一件	近世青方家文書		湿害により虫喰いで板状固着。剥離後裏打ち処置
50	鼎左秘録	中西家旧蔵資料		水害被災資料で汚損、虫喰、劣化。洗浄後裏打ち処置
51	誌林良材 乾之中	中西家旧蔵資料	27 丁	水害被災資料で汚損、虫喰、劣化。洗浄後裏打ち処置
52	岩戸新伝流火術書 下巻	中西家旧蔵資料	6 丁	水害被災資料で汚損、虫喰、劣化。洗浄後裏打ち処置
53	志豆乃石屋	中西家旧蔵資料	63 丁	水害被災資料で汚損、虫喰、劣化。洗浄後裏打ち処置

〈長崎市資料〉

	資料名	資料番号	丁数	修復内容
1	泰西輿地図説 (泰西図説)	290-10-5	33 丁	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
2	采覧異言 自卷一至卷五	290-15	109 丁	虫喰い甚大のため裏打ち処置、表紙はクリーニングのみ
3	和蘭砲術書和解 [稿本] 卷之一	390-23-1	69 丁	虫喰い甚大のため裏打ち処置、表紙はクリーニングのみ
4	和蘭砲術書和解 [稿本] 二 卷之二～四	390-23-2	96 丁	虫喰い甚大のため裏打ち処置、表紙はクリーニングのみ
5	日月圭和解	440-4	31 丁	虫喰い甚大のため裏打ち処置、表紙はクリーニングのみ
6	和蘭陀永続曆和解	440-5	85 丁	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、表紙はクリーニングのみ
7	平天儀用法 全	440-7	31 丁	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、表紙はクリーニングのみ
8	太陽距離曆解 全	440-8	60 丁	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、表紙はクリーニングのみ

9	太陽窮理了解説 和解草稿 上	440-11-1	81丁	虫喰い甚大のため裏打ち処置、表紙はクリーニングのみ
10	太陽窮理了解説 和解草稿 下	440-11-2	84丁	虫喰い甚大のため裏打ち処置、表紙はクリーニングのみ
11	火浣布略説	580-1	1冊	虫喰いと汚れがひどいのでシミ取り後裏打ち処置
12	[冠者大明神神道裁許状]	聖堂 170-2	2通	虫喰いが多いので裏打ち処置。2通に切り離して保存
13	[清朝史] (断簡) (聖堂文庫)	聖堂 230-2	23丁	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
14	乍恐奉願口上書 [御役御免並跡役相統願]	聖堂 280-2	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
15	[由緒書] (断簡) (聖堂文庫)	聖堂 280-8	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
16	手頭 [地下役人養子縁組みに関する件] (聖堂文庫)	聖堂 320-26	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
17	手頭 [御用書籍取調方に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 370-5-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目に糊差し
18	[書物改見習] 起請文前書 (聖堂文庫)	聖堂 370-9-1	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
19	誓詞起請文控 天保九年 (聖堂文庫)	聖堂 370-9-2	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
20	口上覚 [書物改に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 370-21-1	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
21	口上覚 (聖堂文庫)	聖堂 370-21-5	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目に糊差し
22	口上覚 [書物改に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 370-21-6	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
23	口上覚 [書物改に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 370-21-8	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
24	口上覚 [書物改に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 370-21-9	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
25	口上覚 [書物改に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 370-21-10	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
26	別段売書物大意書 戊七番同八番亥壹番唐船持渡	聖堂 370-28	8丁	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剝がして再修理
27	覚 [禁書に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 370-38-1	1通	継ぎ目の糊浮き、虫喰いが多いので裏打ち処置
28	口上覚 [書物改大意] (聖堂文庫)	聖堂 370-49-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
29	口上之覚 向井雅次郎 (聖堂文庫)	聖堂 370-49-2	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
30	口上之覚 向井元仲 (聖堂文庫)	聖堂 370-49-3	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
31	口上覚 [書物改不行届の件] (聖堂文庫)	聖堂 370-118	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
32	[起倒流] 誓詞 (聖堂文庫)	聖堂 390 - 2	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理。継ぎ目に糊差し
33	書付 [度量衡に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 420-1	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
34	書付 [北極に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 440-2	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
35	口上之覚 向井元仲 (聖堂文庫)	聖堂 490-6-1	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
36	手頭 [聖堂大破に付修復一件] (聖堂文庫)	聖堂 520-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
37	天井絵控 (聖堂文庫)	聖堂 520-2	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
38	御書付 [聖堂修復拝借銀に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 520-4-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
39	書簡 [唐船寄進銀の件] (聖堂文庫)	聖堂 520-4-3	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
40	[寺院山門図面] (聖堂文庫)	聖堂 520-5-1	1通	虫喰いと汚れ著しいので裏打ち処置
41	[聖堂重修練札草稿] 文化5戊辰年 (聖堂文庫)	聖堂 520-6	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
42	覚 [新道開願] 享保六年 (聖堂文庫)	聖堂 520-8	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
43	御書付 [御用船一艘舫の間の通船を制限する件] (聖堂文庫)	聖堂 560-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
44	御触 [明礬の売買に関する件] (聖堂文庫)	聖堂 570-1	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
45	書簡 (著) 葉山貞吉元春 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
46	書簡 (聖堂文庫)	聖堂 680-2-2	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
47	書簡 (著) 城戸為右衛門 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-3	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
48	書簡 (著) 塚田伝次右衛門 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-5-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
49	書簡 (著) 塚田傳次左衛門 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-5-2	1通	本紙、懸紙共に虫喰い。本紙は穴の繕い、懸紙のみ裏打ち処置
50	書簡 (著) 内田百助 (向井紫暎 [兼啓] 宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-6	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
51	書簡 (聖堂文庫)	聖堂 680-7-1	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
52	書簡 (聖堂文庫)	聖堂 680-7-2	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
53	書簡 (著) 渥見次右衛門 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-8-2	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
54	書簡 (向井雅御伯父宛) (聖堂文庫) 正月十七日	聖堂 680-8-4	1通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
55	書簡 (著) 竹院 (向井紫暎宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-8-5	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
56	書簡 (著) 柏原馬之丞 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 680-8-7	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理、継ぎ目に糊差し
57	聖堂大成殿棟札控 (聖堂文庫)	聖堂 710-1-3	1通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理

58	長崎御役所印鑑	聖堂 720-1-1	1 通	虫喰いがあるので虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
59	長崎御役所印鑑	聖堂 720-1-2	1 通	虫喰いがあるので虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
60	中御門殿御印鑑	聖堂 720-1-3	1 通	虫喰いがひどく紙が劣化しているので裏打ち修理
61	書簡 (著) 光教院 (雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-1-15	1 通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
62	書簡 (著) 光教院 (雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-1-16	1 通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
63	書簡 (著) 指田貢 (向井外記、向井鷹之助宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-9	1 通	継ぎ目の糊浮き、虫喰いが多いので裏打ち処置
64	書簡 (著) 葉山夢亭 (紫溟宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-28-2	1 通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
65	書簡 (著) 竹院 (紫溟宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-29-2	1 通	虫喰い穴は喰裂き紙にて繕い修理
66	書簡 (著) 観道 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-32	1 通	継ぎ目の糊浮き、虫喰いが多いので裏打ち処置
67	書簡 (著) 向井孫次郎 (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-76	1 通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
68	書簡 断簡 (著) 向井■■■ (向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-85	1 通	継ぎ目の糊浮き、虫喰いが多いので裏打ち処置
69	書簡 (著) 定時 (林右衛門他宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-108	1 通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
70	書簡 (著) 豊後杵築武左衛門 (向井宛) (聖堂文庫)	聖堂 910-116	1 通	継ぎ目の糊浮き、虫喰いが多いので裏打ち処置
71	書簡 (断簡) (聖堂文庫)	聖堂 910-119	1 通	虫喰いが多く文字が欠落するので裏打ち処置
72	蘭亭詩稿 (聖堂文庫)	聖堂 930-14	44 丁	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剥がして再修理
73	草稿乙 辛亥年 (聖堂文庫)	聖堂 930-26	21 丁	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剥がして再修理
74	柳文和解 (聖堂文庫)	聖堂 930-30	5 丁	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剥がして再修理
75	桃花扇 雲亭山人編 (聖堂文庫)	聖堂 930-31	5 丁	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剥がして再修理
76	説鈴控 廿八番船持用之内 (聖堂文庫)	聖堂 930-34	11 丁	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剥がして再修理
77	東遊詩草 (聖堂文庫)	聖堂 930-38	1 冊	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剥がして再修理
78	[詩集] 兼題 櫻花認雪 (聖堂文庫)	聖堂 930-39	6 丁	酸性紙厚紙の表紙カバーが酸性劣化。本紙も剥がして再修理

5 資料の管理

1) 収蔵資料

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
 - (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
 - (3) 長崎奉行所に関する資料
 - (4) 長崎文化に関する資料
- (「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
 - (2) 長崎奉行所に関する資料
 - (3) 長崎の美術工芸資料
 - (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
- (「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数 約 48,000 点

旧市立博物館、旧県立美術博物館、県立長崎図書館の郷土資料、約 48,000 点を移管。

- 旧県立美術博物館所蔵 約 2,000 点
(美術工芸 1,830 点 歴史 178 点)
- 旧長崎市立博物館所蔵 約 16,000 点
(歴史 10,300 点 近代美術 4,500 点 近現代 1,200 点)

県立長崎図書館所蔵 約 30,000 点(文書・図書)
指定文化財

- 国指定重要文化財
 - 安政二年「日蘭条約書」
 - 紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風
 - 長崎奉行所関係資料 1,242 点
- 長崎県指定文化財
 - 刀・対州住長幸
 - 刀・肥前国忠吉
 - 青方文書
 - 永島キク刀自絵像
- 国認定旧重要美術品
 - 紙本著色瀉血手術図
 - 紙本著色南蛮人来朝図之屏風
 - 紙本著色唐蘭館の図 2 巻



2) 新収蔵資料

購入資料

番号	分類	資料名	作者・産地	製作年代
1	近代歴史資料	ゲベール銃 Gewehr Gun	オランダ製	
2	近代歴史資料	ゲベール銃 (カラバイン)	オランダ製	
3	近代歴史資料	ヤーゲル銃 Jagdgewehr Rifle	オランダ製	
4	近代歴史資料	エンフィールド銃 Enfield Rifle	イギリス製	
5	近代歴史資料	エンフィールド銃 (三つバンド)	イギリス製	
6	近代歴史資料	スナイドル銃 Snider Rifle	イギリス製	
7	近代歴史資料	スタール銃 Starr Percussion Carbine	アメリカ製	
8	近代歴史資料	スミス & ウェッソン リボルバー	アメリカ製	
9	近世歴史資料	鉄砲道具一式	日本製	幕末
10	陶磁器	染付肥前長崎大浦風景図皿	有田	19世紀後半
11	漆器	長崎青貝細工ライティングボックス	京都	18世紀末～19世紀前
12	漆器	南蛮漆器 草花紋螺鈿小洋櫃	日本製	16世紀後半
13	絵画	長崎製鉄所風景図	長崎の絵師か	1857～1861年
14	絵画	長崎東山手風景図	長崎の絵師か	1857～1861年

寄贈資料

番号	分類	資料名	作者・産地	製作年代
15	絵画	梅図	王克三	元治元年 (1864)
16	絵画	竹図	鉄翁	江戸後期
17	絵画	竹石図	三浦梧門	万延元年 (1860)
18	絵画	老漁師図	月僊	江戸後期
19	絵画	山水図	箕田韭白	現代
20	図書	長崎派名画選	恩賜京都博物館	昭和14年8月25日
21	書	七言詩	頼山陽	江戸後期
22	書	舟中雑詩	田能村竹田	江戸後期
23	書	七言詩、福島氏宛	黄輿	20世紀前期

3) 資料及び画像の貸出管理

○資料貸出件数

18件 (215点)

連番	貸出期間	展覧会名 (開催期間)	会場名	資料名	作家名・著者名	資料番号
1	4月5日～6月20日	「没後15年 遠藤周作展—21世紀の生命のために—」(4月23日～6月5日)	神奈川近代文学館	きりしたんころび書物之事 写		県図 11 113-2
2	4月20日～6月30日	平成23年度第1回企画展「長崎ゆかりの文学展」(4月20日～6月30日)	長崎県立長崎図書館	吉井勇直筆書簡 昭和13年12月25日	吉井勇	県図 渡辺へ 17 330
				吉井勇直筆書簡 昭和13年12月23日	吉井勇	県図 渡辺へ 17 424
				吉井勇直筆書簡 昭和21年1月31日	吉井勇	県図 渡辺へ 17 427
				吉井勇直筆書簡 昭和22年6月17日	吉井勇	県図 渡辺へ 17 425
				吉井勇直筆書簡 昭和27年5月13日	吉井勇	県図 渡辺へ 17 426
				北原白秋先生歌碑建設会より		県図 渡辺へ 17 481
				ぎゃ・ど・ぺかどる 上巻 日本古典全集		県図 11 55-2 1
				ぎゃ・ど・ぺかどる 下巻 日本古典全集		県図 渡辺 11 233-2
				日本書翰		県図 11 101-2
				えすばにや、ぼるつがる記及び初期日本吉利支丹宗門に関する雑		県図 13 702
				仇情 吉井歌集		県図 渡辺へ 12 177
3	6月25日～9月15日	「長崎の工芸2」べっ甲細工(6月25日～9月15日)	長崎県美術館	山口重春筆絵像	山口重春/筆	県図 3 217-2
				置物「人力車」		県美博 D チ 0001
				薄瑞型花器		県美博 D チ 0003
				テーブル用菊花文煙草箱		県美博 D チ 0004
				蒔絵組小箆笥		県美博 D ホ 0025
				真村蘆江 崎陽画人伝 南蘋派@10	渡辺庫輔/撰	県図 渡辺へ 18 130
				金蒔絵櫛 (鼈甲台)		市博 珊・鼈 10
				金蒔絵櫛 (鼈甲台)		市博 珊・鼈 11
				金蒔絵櫛 (鼈甲台)		市博 珊・鼈 12
				金蒔絵櫛 (鼈甲台)		市博 珊・鼈 13
				金蒔絵櫛 (鼈甲台)		市博 珊・鼈 15
				鼈甲櫛		市博 珊・鼈 18

				龜甲櫛		市博 珊・龜 19
				龜甲簪		市博 珊・龜 26
				珊瑚玉龜甲簪		市博 珊・龜 27
				龜甲笄		市博 珊・龜 3
				龜甲前挿		市博 珊・龜 30
				龜甲前挿		市博 珊・龜 32
				龜甲簪		市博 珊・龜 34
				蒔絵笄（龜甲台）		市博 珊・龜 39
				蒔絵笄（龜甲台）		市博 珊・龜 5
				金蒔絵櫛		市博 珊・龜 7
				金蒔絵櫛		市博 珊・龜 8
4	7月14日 ～9月25日	特別企画展「古地図 に記された壱岐展」 ～伊能忠敬の第8次 測量から200周年～ (7月14日～9月25 日)	杵岐市立一支国博物 館	万国地図A（万国人物之図）		県美博 A3ハ 0059
				日本図	ティセラ	県美博 F イ 0072
				日本図		県美博 F イ 0101
				日本図		県美博 F イ 0107
				日本図		県美博 F イ 0110
				日本図		県美博 F イ 0111
				日本図		県美博 F イ 0119
				〔日本図〕		市博 図 127
5	7月19日 ～10月12日	企画展「彌太郎と長 崎」(7月30日～9 月26日)	安芸市歴史民俗資料 館	高知藩夕顔船出港之節英蒸気ナルト船へ 衝突破損出来候ニ付償金申立候一件		県図 14 282-4
				第五課事務簿 廢坑ノ部 明治二十七年	第五課	県図 17 259-1
				共同運輸会社株券要用書附 明治16年 8月	共同運輸会 社支店／著	県図 高見ソ 17 15
				絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（四）	佐藤弘聞堂 (長崎) 刊	市博 絵葉書（長崎） 188
				絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（一）	佐藤弘聞堂 (長崎) 刊	市博 絵葉書（長崎） 346
				絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（二）	佐藤弘聞堂 (長崎) 刊	市博 絵葉書（長崎） 347
				絵葉書・三菱長崎造船所ノ盛観（三）	佐藤弘聞堂 (長崎) 刊	市博 絵葉書（長崎） 348
				絵葉書・三菱長崎造船所		市博 絵葉書（長崎） 354
				絵葉書・三菱長崎造船所造機工場		市博 絵葉書（長崎） 442
				絵葉書・三菱造船株式会社長崎造船所		市博 絵葉書（長崎） 444
6	7月28日 ～10月14日	高浜市やきものの里 かわら美術館特別展 「長崎歴史文化博物 館展」(8月6日～9 月25日)	高浜市やきものの里 かわら美術館	蘭船図		県美博 A2ハ 0029
				ギヤマン酒瓶		市博 ガラス 52
				犯科帳		県書B) 14 1-1 36、43
				亀山焼桐二鳳凰染付大鉢		市博 陶（長崎） 44 45
				出世鯉香炉		市博 金工（日本） 28
				他、全117点		
7	9月1日 ～11月20日	福岡市博物館特別企 画展「日本とクジラ」 (9月1日～11月20 日)	福岡市博物館	第二課事務簿 漁業ノ部 明治24年5月 ～7月、9～10月	長崎県第二課 (水産)／編	県図 17 122-2 2,4
				第五課事務簿 漁業ノ部 明治30年1月 ～5月	長崎県第五課 (水産)／編	県図 17 124-5 1
				第五課事務簿 漁業ノ部 明治32年4月	長崎県第五課 (水産)／編	県図 17 124-7 2
				五島に於ける鯨捕沿革図説 天保2年卯 仲冬／1～3	田宮運善／ 著	県図 17 60-2 1～3
				染付鯨の潮吹図大鉢		県美博 D ハ a0155
				染付鯨の潮吹図深鉢		県美博 D ハ a0159
				鯨魚鑑笑録		県美博 F イ 0035
				鯨の汐吹絵巻	甲斐宗平	市博 くんち 6
8	9月22日 ～11月10日	シーボルト記念館第 24回特別展「シー ボルトとオランダ貿 易展」(9月23日～ 11月6日)	シーボルト記念館	文化年渡り 紅毛渡来反物見本帳 参		市博 貿易 12
				戌阿蘭陀船本方品代切手本帳（嘉永3年）		市博 貿易 7
				寅阿蘭陀船本方品代切手本帳（嘉永7年）		市博 貿易 13
				卯阿蘭陀船本方品代切手本帳（安政2年）		市博 貿易 14
9	9月27日 ～12月28日	企画展「たたら製鉄 と近代の幕開け」(10 月8日～12月18日)	島根県立古代出雲歴 史博物館	反射炉見取図		県図ハ 16 100
				高島秋帆画像（模写）	木下逸雲	市博 画像 16
				フェートン号図（崎陽録）		市博 軍事 1
				高島秋帆書報国芹誠文字入鉄瓶		市博 金工（日本） 5

10	9月30日 ～12月23日	企画展「幕末期海軍の提督たち～中牟田倉之助と高杉晋作、榎本武揚～」(10月8日～12月18日)	佐野常民記念館	海軍歴史 3/巻6～巻8	勝海舟/著	県図 16 107-1 3
				海軍歴史 4/巻9～巻10	勝海舟/著	県図 16 107-1 4
11	10月4日 ～12月3日	佐賀大学・小城市交流事業特別展「小城の医学と地域医療」(10月15日～11月27日)	小城市歴史資料館	植林家系圖及累世履歴	(植林家)	市博文書 281-7
				柴田花守画像	浦川菊市	市博 画像 7
				吉雄耕牛画像	精白堂耕秀	市博 画像 (長崎) 1
12	10月11日 ～12月20日	平成23年度秋季特別展覧会「大妙見祭展 華ひらく祭礼風流」(10月11日～12月20日)	八代市立博物館未来の森ミュージアム	諏訪神事御供町道行之図		県美博 A1 イ 0156
				本籠町傘鉋垂		市博 くんち 19
				刺繍入獅子舞唐子衣裳		市博 くんち 23
				刺繍入獅子舞唐子衣裳		市博 くんち 24
13	10月14日 ～12月9日	サントリー美術館開館50周年記念・神戸市立博物館開館30周年記念「南蛮美術の光と影《泰西王侯騎馬図屏風の謎》」(10月26日～12月4日)	サントリー美術館	国重要文化財 泰西王侯図屏風		
				弾琴図		
				螺鈿蒔絵花樹鳥文聖龕		
14	10月18日 ～12月20日	長崎市歴史民俗資料館「長崎華僑資料展」(10月20日～12月18日)	長崎市歴史民俗資料館	泰益号文書 乙卯各日総部元冊		市博 A4-28 44
				他、泰益号文書 19点		
15	11月8日 ～21日	文化財ふれあい巡回展「伊王島と長崎の台場」(11月8日～17日)	ヴィラオリンピック伊王島	[石火矢図説]		県図セ 16 27
16	12月5日 ～平成24年1月31日	文化財ふれあい巡回展「長崎と中国の交流」三和地区(12月7日～12月15日) 野母崎地区(平成24年1月6日～1月17日)	長崎市健康づくりセンター 野母崎文化センター	大清人・朝鮮人・琉球人・阿蘭陀人・魯西亜人図	長崎美術同好会	市博 版 (長崎) 56-10
				唐人蛇躍図	長崎美術同好会	市博 版 (長崎) 56-3
				長崎年曆両面観		市博 版 (長崎) 83
				長崎八景 (立山秋月)		市博 版 (長崎) 88-1
				長崎八景 (神崎帰帆)		市博 版 (長崎) 88-2
				長崎八景 (笠頭夜雨)		市博 版 (長崎) 88-5
				翡翠桃形蓋物		市博 石 (外国) 3
				信牌包紙		市博 複製 7
				信牌		市博 複製 8
17	12月1日 ～11日	長崎県美術館主催「長崎活版巡礼展」(12月10日～25日)	長崎県美術館	崎陽雑報		県図 19 92-11
				長崎新聞		市博文書 050-5
				崎陽新塾余談 初編一		市博文書 370-9-1
18	平成24年2月3日 ～3月下旬	平成23年度特別展「武雄の時代 西洋砲術導入の軌跡」(平成24年2月11日～3月20日)	武雄市図書館・歴史資料館	Bijzonderheden over Japan 1 (テイチング日本図説)		県図 2 15-2 1
				大木藤十郎使用 陣笠		県美博 F イ 0019
				萩野新流白砲		県美博 F イ 0023
				ギヤマン瓶 (硝子栓付)		市博 ガラス 40
				武雄行日記 未8月4日		県図渡辺へ 13 78
				長崎港俯瞰細密画	浦川菊市	市博 絵 61
				フェートン号図 (崎陽録)		市博 軍事 1
				フェートン号図 (レプリカ)		
				高島秋帆大砲雛形		市博 軍事 31
				阿蘭陀使節船巡見船内之図		
				阿蘭陀渡ランドセル		市博 軍事 7
				高島秋帆書報国芹誠文字入鉄瓶		市博 金工 (日本) 5
				高島秋帆絵象		市博 画像 14
				長崎図屏風 (レプリカ)		複製 56
				蘭船図		

○画像貸出件数

414件 (博物館関係機関 39件、マスコミ 61件、研究関係 77件、出版社関係 71件、教育関係 112件、その他 54件)

6

長崎学・生涯学習支援事業

1 事業概要

本事業は、長崎県の歴史と文化について理解を深める長崎学とともに、県民・市民に生涯を通じて博物館を利用してもらうため、子どもから高齢者まで、成長段階に応じた様々な生涯学習プログラムを提供

することを目的としている。一般向け事業として7講座、学校向け、子供向け事業として4講座を実施した。

2 一般向け事業

ア) れきぶん長崎学講座

長崎県の歴史と文化について理解を深めてもらうことを目的に、館内外の講師による講座と史跡めぐり

を行った。今年度のテーマは「近代長崎の歴史と文化」、「長崎の戦国時代」をテーマとして実施した。

近代長崎の歴史と文化

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	4月9日(土) 14:00～15:30	ホール	長崎ゆかりの近代画家たち	植松有希(当館研究員)	40名
第2回	6月11日(土) 14:00～15:30	ホール	日本写真史における長崎 ※	天野圭悟氏(初期写真研究家)	63名
第3回	8月6日(土) 14:00～15:30	ホール	外国人旅行者と長崎の焼き物	松下久子氏(長崎県文化振興課)	51名
第4回	10月2日(日) 14:00～15:30	ホール	明治の新聞人たち ※	越中勇(当館主任研究員)	47名
第5回	12月3日(土) 14:00～15:30	ホール	近代キリスト教墓地に見られる西欧の影響	大石一久(当館研究グループリーダー)	52名
第6回	1月28日(土) 14:00～15:30	ホール	上海・長崎とアジアの近代 ※	平岡隆二(当館主任研究員)	61名
第7回	2月4日(土) 14:00～15:30	ホール	近代の長崎 ※	徳永宏氏(長崎県文化振興課)	60名

※企画展連携講座

長崎の戦国時代

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	5月29日(日) 14:00～15:30	ホール	平戸オランダ商館について	前田秀人氏(平戸市教育委員会文化遺産課)	72名
第2回	7月10日(日) 14:00～15:30	ホール	戦国時代の大村	大野安生氏(大村市教育委員会文化振興課)	64名
第3回	10月16日(日) 9:00～18:00	大村	大村史跡めぐり	大野安生氏(大村市教育委員会文化振興課)	41名
第4回	11月27日(日) 8:00～18:00	平戸	平戸史跡めぐり	久家孝史氏(松浦史料博物館研究管理主任学芸員)	41名
第5回	12月11日(日) 14:00～15:30	ホール	戦国時代の「海賊」	深瀬公一郎(当館主任研究員)	45名

イ) エキスパート講座

常設展示に関連した古文書等の原典資料を通して、長崎学講座より専門的に掘り下げた内容について

様々な形で当館研究員が解説した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	5月7日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎遊学者 菅井 梅関について	越中勇(当館主任研究員)	7名
第2回	6月12日(日) 10:30～12:00	講座室	出島：東西文化の交流と融合	平岡隆二(当館主任研究員)	9名

第3回	7月9日(土) 10:30～12:00	講座室	御廻米船と沿岸警備	岡本健一郎(当館研究員)	9名
第4回	8月6日(土) 10:30～12:00	講座室	「寛文長崎図屏風」を読み解く	深瀬公一郎(当館主任研究員)	19名
第5回	9月24日(土) 10:30～12:00	講座室	謎多き長崎画壇の王道・唐絵目利	植松有希(当館研究員)	12名
第6回	11月12日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎遊学者 東 東洋について	越中勇(当館主任研究員)	13名
第7回	12月10日(土) 10:30～12:00	講座室	諸藩の長崎屋敷について	岡本健一郎(当館研究員)	21名
第8回	1月14日(土) 10:30～12:00	講座室	唐人屋敷の暮らし	深瀬公一郎(当館主任研究員)	17名
第9回	2月11日(土) 10:30～12:00	講座室	京都で活躍した長崎の絵師たち 鶴亭と勝野范古	植松有希(当館研究員)	6名
第10回	3月10日(土) 10:30～12:00	講座室	蔵書印から見た当館コレクション	平岡隆二(当館主任研究員)	8名

ウ) れきぶんワークショップ

博物館の仕事や長崎の歴史文化に関する様々なテーマで実演や体験を交えたワークショップ形式の講座。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	5月15日(日) 10:30～12:00	講座室	コレクション秘話	竹内有理(当館教育グループリーダー)	9名
第2回	6月19日(土) 10:30～12:00	講座室	れきぶんの古写真コレクション探索	加藤謙一(当館主任研究員)	11名
第3回	7月17日(日) 10:30～12:00	講座室	大河ドラマと地域観光への活用 ※	一瀬勇士(当館研究員)	5名
第4回	12月18日(日) 10:30～12:00	講座室	和本の綴じ方を見てみよう	久保憲司(当館研究員)	9名
第5回	2月19日(日) 10:30～12:00	講座室	金唐革風コースターづくり	下田幹子(当館研究員)	6名

※企画展連携講座

エ) れきぶん文化財セミナー

館内外の講師が博資料の保存修復等について講座を行った。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	10月29日(土) 14:00～15:30	講座室	考古資料を残す・探る	片多雅樹氏(長崎県埋蔵文化財センター)	12名
第2回	10月30日(日) 10:30～12:00	講座室	保存のための環境づくり - 資料を守るために -	関裕典(当館研究員)	14名
第3回	11月26日(土) 10:30～12:00	講座室	記録紙など、保護のための保存袋づくり	富川敦子(当館研究員)	14名

オ) これから始める古文書講座

歴史研究の基盤となる古文書に親しみを持ってもらうとともに、その解読方法を習得を目的とした。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	4月17日(日) 14:00～16:00	講座室	犯科帳を読む1	深瀬公一郎(当館主任研究員)	38名
第2回	5月15日(日) 14:00～16:00	講座室	犯科帳を読む2	深瀬公一郎(当館主任研究員)	36名
第3回	6月19日(日) 14:00～16:00	講座室	犯科帳を読む3	深瀬公一郎(当館主任研究員)	30名
第4回	7月17日(日) 14:00～16:00	講座室	武家の世界1	岡本健一郎(当館研究員)	33名
第5回	9月18日(日) 14:00～16:00	講座室	武家の世界2	岡本健一郎(当館研究員)	34名
第6回	10月30日(日) 14:00～16:00	講座室	武家の世界3	岡本健一郎(当館研究員)	34名
第7回	11月20日(日) 14:00～16:00	講座室	オランダに関する記録を読む(I)	平岡隆二(当館主任研究員)	25名
第8回	12月18日(日) 14:00～16:00	講座室	オランダに関する記録を読む(II)	平岡隆二(当館主任研究員)	32名
第9回	1月15日(日) 14:00～16:00	講座室	オランダに関する記録を読む(III)	平岡隆二(当館主任研究員)	30名

佐世保

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	8月28日(日) 13:00～16:00	佐世保市立中部地区公民館講座室	長崎奉行と平戸藩主	岡本健一郎・深瀬公一郎(当館研究員)	19名

カ) 大堀哲館長ミュージアムトーク

一般を対象に歴史や博物館について語る大堀館長による講座。

テーマ:「江戸時代をたんけんする」

会場:ホール

	日時	テーマ	参加者
第1回	7月23日(土) 11:00～12:00	鎖国と長崎	64名
第2回	12月3日(土) 11:00～12:00	朝鮮通信使の位置づけ	48名
第3回	2月25日(土) 11:00～12:00	幕末長崎における情報展開～徳川時代の外交から～	50名

キ) 市川森一名誉館長奉行所トーク

一般を対象に長崎の歴史や文化について、対談形式で語る市川名誉館長による講座。

会場:ホール

時間:12:45～13:50

	日時	テーマ	ゲスト	参加者
第1回	4月17日(日)	長崎からみた「孫文と梅屋庄吉」	本馬貞夫氏(長崎県参与)	79名
第2回	6月26日(日)	テレビと長崎	合田敏行氏(NHK長崎放送局 局長)	48名
第3回	8月28日(日)	長崎が舞台となった本を語る	楽右衛門氏(季刊誌「楽～長崎の本棚コーナー～」主幹)	81名
第4回	10月23日(日)	長崎のキリシタン文化	高見三明氏(カトリック長崎大司教区 大司教)	64名
第5回	12月25日(日)	ランタンフェスティバルの裏話	林敏幸氏(長崎ランタンフェスティバル実行委員会 幹事長)	死去のため未開催
第6回	2月26日(日)	音楽ノスキマから覗くナガサキ	高浪慶太郎氏(音楽プロデューサー)	

ク) 古文書修復技術講習会

古文書の保存・修復に対する理解を深めてもらうとともに、その技術の習得を目的とした。

	日時	テーマ	ゲスト	参加者	参加者	
第1回	7月25日(月)・26日(火) 10:00～17:00	講座室・修復室	製本、中性紙の箱作りなど	富川敦子(当館研究員)	10名	9名
第2回	9月5日(月)・6日(火) 10:00～17:00	講座室・修復室	襖から剥がした資料の裏打ちなど	富川敦子(当館研究員)	9名	8名

3 学校向け事業

ア) 趣旨と成果

学校行事で来館する際の教育プログラム、教員養成課程で博物館の利用方法を学ぶ学生向けプログラム、教員を対象とした博物館利用を実践的に検討する協力校・パートナーズプログラムのように、博物館と学校が関わり得る場面や段階に応じた連携・協働事業をおこなった。

イ) 協力校・パートナーズプログラム

学校の教員との連携事業として2008年度に発足。2ヶ月に一度の頻度で研修会を開催し、当館を利用した授業の実践に関する情報交換会を行っている。授業実践はホームページにて公開している。参加者:協力校1校(長崎市立桜町小学校)、小学校16名、中学校1名、高校8名、その他1名

	実施日	参加者数	内容
説明会	5月14日(土)	17名	趣旨説明と昨年の活動報告、今年度の活動計画に関する意見交換
第1回研修会	6月25日(土)	11名	実践事例に関する情報交換、ボランティアとの意見交換
第2回研修会	8月24日(土)	10名	常設展示室リニューアルに伴う子ども向け解説パネルの検討
第3回研修会	10月15日(土)	15名	実践事例に関する情報交換、子ども向け解説パネルの原稿チェック
第4回研修会	11月23日(水・祝)	14名	実践事例に関する情報交換会、子ども向け解説パネルの原稿チェック、「学校向けプログラムの改定」
第5回研修会	1月21日(土)	9名	実践事例に関する情報交換、「学校向けプログラム」の改訂、リニューアル現場の視察
年度報告会	2月25日(土)	18名	実践報告、リニューアルに関する概要説明

ウ) 夏期教員研修ワークショップ

「学びのレシピの作り方」

県内の小学校・中学校・高等学校の教員を対象にしたワークショップを実施。当館を利用した先進的な実践事例を紹介するとともに、校種別にグループに分かれて当館を利用した授業プラン作りと発表をおこなった。

日時: 8月3日(水) 10:00～16:30

参加者: 12名(小学校5名、中学校5名、高等学校2名)

エ) 遠隔授業

当館の展示資料を通して、長崎の歴史や文化への興味関心を高めてもらうことを目的に離島など遠隔地の学校と博物館とをテレビ会議システムを用いてつないでおこなう授業。2010年度より北松浦郡小値賀町を会場に実施。

・小値賀町立小値賀小学校6年 14名

日時: 6月23日(木) 10:45～12:25

テーマ: 「江戸時代の長崎を知ろう」

講師: 博物館側 加藤謙一(教育グループ主任研究員)、

小値賀側 酒井俊宏先生(小値賀小学校)、
下田幹子(教育グループ研究員)

・小値賀町立小値賀中学校1年 16名

日時: 平成24年2月23日(木) 10:30～12:20

テーマ: 「南蛮貿易から鎖国まで」

講師: 博物館側 加藤謙一(教育グループ主任研究員)、

小値賀側 江川大樹先生(小値賀中学校)、
下田幹子(教育グループ研究員)

オ) 出張授業

研究員が当館の見学にとまなう事前事後学習に役立つような学習機会の提供を目的に、先生方との打ち合わせに基づき決定したテーマに引き付けて授業をおこなった。また当館への来館が困難な学校に対する教育普及活動の一環として実施している。

4月18日(月) 西海市立瀬戸小学校6年

10:55～12:00 29名

6月29日(水) 佐世保市立宇久中学校

10:40～11:30 1～2年 25名

テーマ: 上野彦馬の写真術

★移動博物館と併せて実施

7月7日(木) 聖和女子学院中学校

11:30～12:40 1年 25名、2年 28名

テーマ: 絵巻から読み解く出島の暮らし

12月21日(水) 長崎市立日見小学校 6年 88名

テーマ: 絵巻から読み解く出島の暮らし、総合学習・質問タイム

平成24年1月24日(火) 活水高等学校

9:00～12:00 3年 28名

テーマ: 長崎版画体験

カ) 各種研修

長崎市立西坂小学校・長崎中学校合同研究会

8月19日(金)

長崎市私立幼稚園協会 主任研修会

8月25日(木) 10:05～11:45 参加者 35名

キ) 学校向け見学対応

各種学校の来館

幼稚園・保育園 12件(うち県内12件)

小学校 580件(うち県内151件)

中学校 487件(うち県内42件)

高等学校 218件(うち県内21件)

大学 9件(うち県内5件)

特別支援学校 10件(うち県内5件)

学童保育 15件(うち県内15件)

なお、小学校・中学校・高校とも遊学券利用も含む。(中学校は職場体験も含む)

学校向け見学対応(来館時の対応のみ)

幼稚園対応のプログラムとしては安野光雅展関連事業として幼稚園・保育園向けプログラムがあげられる。また11月から3月開催の「孫文・梅屋庄吉と長崎」展では県内の学校を対象に観覧支援バス事業を行ったため、中学・高等学校の利用率が昨年度よりも増加傾向にある。

幼稚園・保育園 4件(うち県内4件)

小学校 61件(うち県内40件)

中学校 30件(うち県内25件)

高校 11件(うち県内11件)

大学 3件(うち県内1件)

ク) 学校向けボランティア養成講座

ボランティアを対象に、学校の博物館の見学目的や子どもたちの学習レベルに応じた案内ポイントやコミュニケーション・スキルの習得を目指すことを目的に5回連続講座を実施。養成講座終了後は月1回、ボランティアと職員で意見交換会を継続的に実施している。

	日時	会場	研修内容
第1回	3月12日(日) 10:00～13:00	ホール	ガイダンス
第2回	4月21日(木) 15:00～16:30	ホール	展示室見学の現場を知る

第3回	5月18日(水) 15:00～16:30	ホール	学習事例と利用事例を知る
第4回	6月25日(土) 15:00～16:00	ホール	教師の視点からみた博物館学習
第5回	7月20日(水) 15:00～16:00	ホール	来館者研究の現在、他館事例の紹介

4 子供向け事業

ア) 趣旨と成果

利用者の成長に応じて教育プログラムを各種の教育事業を展開している。今年度はこどもクラブの次段階として、長崎の歴史を学ぶ「おやこクラブ」の整備をおこなった。

イ) れきぶんこどもクラブ

小学1年生から中学3年生を対象に、企画展見学や作品の制作を通して、博物館の展示や長崎の歴史や文化にふれる機会を提供している。20名の固定メンバーを募集し、前期・後期でそれぞれ7回連続講座として実施した。参加費3,000円(全7回)。

時 間：14:00～16:00

[前期]

	開催日	テーマ	講師	参加者数
第1回	4月23日(土)	あんみつをシル!ミル!エガク!★安野光雅展連携企画	当館研究員	23名
第2回	5月21日(土)	和紙のひみつ(紙すき)	石田孝氏	18名
第3回	6月4日(土)	こねこね粘土の音色	近藤浩一氏	18名
第4回	6月18日(土)	手作りカメラでめざせ写真師!★長崎寫眞傳來展連携企画	当館研究員	20名
第5回	7月2日(土)	和紙で作品づくり	石田孝氏	20名
第6回	7月23日(土)	まんがにふれる ★えびすリアリズム展連携企画	富永佳宏氏	21名
第7回	8月6日(土)	展覧会づくり	当館研究員	19名

[後期]

第1回	10月22日(土)	巻物づくり	当館研究員	24名
第2回	11月5日(土)	ねんどで器づくり	長崎陶芸復興塾	23名
第3回	11月19日(土)	ガラスにえがこう(ガラス絵)	濱井隆氏	22名
第4回	12月3日(土)	きらきら小箱(青貝)	当館研究員	22名
第5回	12月17日(土)	器に絵付け	長崎陶芸復興塾	24名
第6回	1月22日(日)	墨で南画	田中正博氏(長崎青房会長)	20名
第7回	2月4日(土)	展覧会づくり	当館研究員	21名

ウ) おはなし会とものづくり

幼児から小学生を対象に伝統的な季節の行事に合わせて実施。ボランティアが行事に関連した絵本や紙芝居の読み聞かせとものづくりをおこなった。参加費無料。

時 間：10:30～11:30

伝統行事	開催日	テーマ	参加者数
端午の節句	5月3日(火祝)	兜・鯉のぼりづくり	15名
七夕	7月2日(土)	七夕かざりづくり	9名
くんち	10月1日(土)	くんち手ぬぐいづくり	34名
正月	12月10日(土)	れきぶんお正月かるたづくり	25名
節分	1月28日(土)	鬼のお面づくり	12名
ひなまつり	2月25日(土)	折雛づくり	20名

エ) れきぶん親子クラブ

小学校高学年以上の親子を対象に、長崎の歴史や文化を親子で楽しく学べる連続講座として今年度より新規に開始した。今年度は「長崎に残る中国文化のヒミツ」をテーマに、博物館の展示見学、体験、史跡めぐりなどを組み合わせて6回連続講座として固定メンバーで実施した。参加費1人300円(全6回)。

時 間：10:00～12:00

	開催日	テーマ	参加者数
第1回	4月24日(日)	長崎ならではの！中国のお寺	7名
第2回	5月22日(日)	中国のお寺を見にいこう(町めぐり)	7名
第3回	5月29日(日)	ちょっと拝見！唐人屋敷のくらし	7名
第4回	6月5日(日)	流行の最先端「月琴」に挑戦！ 講師：長崎明清楽保存会長 山野誠之氏	7名
第5回	6月26日(日)	唐人屋敷を見に行こう(町めぐり)	7名
第6回	7月10日(日)	中国茶とお菓子でふりかえり	7名

オ) ミニワークショップ 町屋でみてみよう！やってみよう！

歴史文化展示ゾーンの「町屋」の中で、体験資料を用いて、江戸時代の長崎の歴史や文化に触れるさまざまなワークショップを実施した。これは資料と体験結ぶことで資料への多様なアプローチ方法を提案するとともに、展示資料への興味関心を高めることも目的としている。参加自由。

時 間：14：00～14：30

開催日	テーマ	参加者数
4月10日(日)	貿易品ってどんなにおい？	15名
4月24日(日)	「刀」の謎にせまる	10名
5月15日(日)	「媽祖さま」ってどんな神さま？	11名
5月29日(日)	巻物まきまき	8名
6月12日(日)	動物パズル	45名
6月26日(日)	べっ甲細工のつくり方	20名
7月10日(日)	秤ではかる	5名
7月24日(日)	芥川龍之介と河童 ★れきぶんの夏休み2011 連携企画	45名

5 レファレンス事業

ア) ながさきミュージアムネットワークシステム

館内だけでなくインターネットを利用した、収蔵資料情報・収蔵図書情報・展覧会情報・講座等イベント情報・県内史跡情報の提供を行う。収蔵資料情報については、資料情報とともに画像情報を登録し、外部からの画像の貸出に対応している。

また、館内端末からもデータベースにアクセス可能とし、資料閲覧室に設置されている端末から展示室内に設置してある各種データベースへの参照も可能である。

イ) レファレンスルーム・長崎学相談コーナー

企画展・常設展の展示内容についてだけでなく、長崎学に関する専門的な情報を提供。収蔵されている図書資料については、長崎県立長崎図書館郷土課より移管された資料と、長崎市立博物館より移管された古文書資料となっており、一般の利用者への公開もおこなっている。また、一部貴重資料(重要文化財・器物資料等)についても、事前申請制度による特別閲覧を実施することにより、利用者が可能な限り実物資料に触れる機会を設けている。

【レファレンスルーム利用者状況】

・総利用者数 1,724名(143.7名/月)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
119	151	153	149	165	197	113	151	120	108	153	145	1,724

(内訳)

会社員	教員(小)	教員(中)	教員(高)	教員(大)	教員(不明)	学生(小)	学生(中)	学生(高)	学生(大・院)	学生(不明)	その他	不明
280	3	4	20	215	24	1	0	10	148	5	835	137

・複写利用 556件 ・写真撮影 273件 ・特別閲覧 86件

6

博物館実習

ア) 実習期間

平成 23 年 9 月 16 日 (金) ~ 9 月 26 日 (月)

イ) 実習受講者

総数 13 名

- ・ 徳島大学人間文化学科国際文化コース 3 年 1 名 (女子 1 名)
- ・ 福岡大学人文学部歴史学科 4 年 1 名 (女子 1 名)
- ・ 宮崎大学教育文化学部人間社会課程社会システムコース 4 年 1 名 (女子 1 名)
- ・ 宮崎大学教育文化学部人間社会課程言語文化コース 4 年 1 名 (男子 1 名)
- ・ 長崎総合科学大学人間環境学部環境文化学科 4 年 3 名 (女子 2 名・男子 1 名)
- ・ 九州産業大学芸術学部美術学科 4 年 1 名 (女子 1 名)
- ・ 長崎県立大学国際情報学部国際交流学科 4 年 1 名 (女子 1 名)
- ・ 活水女子大学文学部現代日本文化学科 4 年 2 名 (女子 2 名)
- ・ 活水女子大学音楽学部応用音楽学科 4 年 2 名 (女子 2 名)

ウ) 実習日程

	午前	午後
9 月 16 日 (金)	10:00 ~ オリエンテーション、館長あいさつ 11:00 ~ 施設・バックヤード見学	13:00 ~ 博物館の運営状況について (竹内) 14:00 ~ 展示室見学
9 月 17 日 (土)		13:00 ~ 来館者調査について (竹内) 14:00 ~ 広報営業活動について (木原・広報営業 G) 15:00 ~ イベント準備
9 月 18 日 (日)	10:00 ~ 教育活動について (加藤・下田)	13:00 ~ 企画展について (竹内) 15:00 ~ 来館者調査、接客サービス (竹内)
9 月 19 日 (月)	10:00 ~ 地域連携について (一瀬)	13:00 ~ 来館者調査、展示準備作業
9 月 20 日 (火)	10:00 ~ 展示作業	13:00 ~ 展示作業
9 月 21 日 (水)		休 み
9 月 22 日 (木)	10:00 ~ 資料の保存管理について (関)	13:00 ~ 資料の保存管理実習 (関)
9 月 23 日 (金)	10:00 ~ 収藏品データベースについて (関)	13:00 ~ 資料撮影、収藏品データベース (関・植松)
9 月 24 日 (土)	10:00 ~ 資料の取り扱い (越中)	13:00 ~ 資料の調査 (植松) 17:00 ~ イベントの準備
9 月 25 日 (日)	10:00 ~ 古文書資料の修復 (富川)	13:00 ~ 古文書資料の修復 (富川)
9 月 26 日 (月)	10:00 ~ 課題説明 10:30 ~ ボランティア説明会	13:00 ~ グループ討議 16:00 ~ グループ発表

7

伝統工芸体験工房

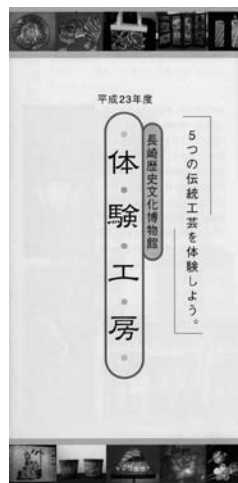
ア) 「長崎銀細工研究」塾

イ) 「長崎陶芸復興」塾

ウ) 「長崎刺繍再発見」塾

エ) 「長崎の染」塾

オ) 「長崎やけんステンドグラス」塾



7

地域連携事業

1 事業概要

地域活性化への貢献を図るため、移動博物館や季節ごとなどに行う様々な事業、ボランティア活動を展開した。イベント実施にあたっては、地域住民との連携に重点を置き、博物館をより多くの方に利用していただける企画を進めている。

さらに、博物館の活動を、地域の方とともに理解し拡げていくことを目的として行うボランティア活動では、本年度から保存環境ボランティアを導入し、文化財保存活動への意識向上を図った。

2 移動博物館

博物館を訪れることが難しい学校や施設を対象に実施した。会場が空き教室や体育館を使用するため、収蔵資料の複製品やパネル、映像等を学校に持ち込み、展示準備・実施・撤収をほぼ1日でおこなった。

6月29日（水）佐世保市立宇久中学校

9：00～16：00 60名

9月6日（木）長与町立長与南小学校

9：35～15：00 300名

11月13日（日）長崎県立小浜高等学校

11：00～14：00 200名

12月16日（金）特別養護老人ホームくじゃくの家（東彼杵郡東彼杵町）

11：00～15：30 100名

3月9日（金）五島市立本山小学校

10：20～13：30 180名

3 イベント実施

〈ゴールデンウィークイベント〉

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
折り紙でつくる鯉のぼり・兜	5月3日（火祝） 10：30～11：30	2階イベントの間	当館研究員・当館ボランティア	無料	15名
長崎式の鯉のぼり展示	4月20日（水） ～5月16日（月）	屋外イベント広場	なし	無料	—

〈夏休みイベント〉

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
伝統工芸体験「染め」①	7月18日（月祝） ① 10：00～ ② 11：30～ ③ 15：00	体験工房	長崎の染め塾	600円	71名
伝統工芸体験「染め」②	8月21日（日） ① 10：00～ ② 11：30～ ③ 15：00	体験工房	長崎の染め塾	600円	66名
伝統工芸体験「べっ甲」①	7月21日（木） ① 10：00～ ② 11：00～ ③ 13：00～ ④ 14：00～ ⑤ 15：00～	体験工房	川政べっ甲	500円	27名
伝統工芸体験「べっ甲」②	7月22日（金） ① 10：00～ ② 11：00～ ③ 13：00～ ④ 14：00～ ⑤ 15：00～	体験工房	川政べっ甲	500円	29名

伝統工芸体験「べっ甲」③	8月5日(金) ① 10:00～ ② 11:00～ ③ 13:00～ ④ 14:00～ ⑤ 15:00～	体験工房	川政べっ甲	500円	25名
伝統工芸体験「長崎銀細工」①	7月24日(日) ① 10:30～ ② 14:00～	体験工房	長崎銀細工研究塾	1,000円	7名
伝統工芸体験「長崎銀細工」②	7月31日(日) ① 10:30～ ② 14:00～	体験工房	長崎銀細工研究塾	1,000円	2名
伝統工芸体験「陶芸(現川焼)」①	7月25日(月) ① 10:30～ ② 13:30～	体験工房	長崎陶芸復興塾	500円	37名
伝統工芸体験「陶芸(現川焼)」②	7月26日(火) ① 10:30～ ② 13:30～	体験工房	長崎陶芸復興塾	500円	40名
伝統工芸体験「陶芸(現川焼)」③	7月28日(木) ① 10:30～ ② 13:30～	体験工房	長崎陶芸復興塾	500円	40名
伝統工芸体験「長崎刺繍」①	7月29日(金) ① 10:00～ ② 13:30～	2階イベントの間	長崎刺繍再発見塾	800円(1,000円)	19名
伝統工芸体験「長崎刺繍」②	8月19日(金) ① 10:00～ ② 13:30～	2階イベントの間	長崎刺繍再発見塾	800円(1,000円)	14名
伝統工芸体験「佐世保独楽の絵付け」①	8月3日(水) ① 11:00～ ② 13:00～ ③ 14:00～ ④ 15:00～	体験工房	山本貞右衛門氏(佐世保独楽三代目)	700円	39名
伝統工芸体験「佐世保独楽の絵付け」②	8月17日(水) ① 11:00～ ② 13:00～ ③ 14:00～ ④ 15:00～	体験工房	山本貞右衛門氏(佐世保独楽三代目)	700円	37名
伝統工芸体験「ステンドグラス」	8月11日(木)～13日(土) ① 11:00～ ② 13:30～ ③ 15:00～	体験工房	長崎やけんステンドグラス塾	400円～	50名
芥川龍之介と河童 ★町屋ワークショップ連携企画	7月24日(日) 14:00～15:30	常設展示室 町屋	当館研究員・当館ボランティア	常設展観覧料が必要(県内小中学生無料)	45名
夏休み折り紙体験教室①	7月27日(水) 14:00～15:00	2階イベントの間	当館研究員・当館ボランティア	無料	54名
夏休み折り紙体験教室②	8月10日(水) 14:00～15:00	2階イベントの間	当館研究員・当館ボランティア	無料	17名
れきぶんナイトミュージアム	7月30日(土) 19:00～21:00	バックヤード ほか	当館研究員	親子ペア 1,000円	44名
親子でエンジョイ!サマーコンサート	7月31日(日) 14:00～15:00	1階エントランス	〈出演〉 親子で聴く音楽会「レガリーノ」 岩永ゆり(ヴァイオリン)、平戸健吉(ギター)、立石佐保美(アイリッシュホイッスル)	無料	150名
切り絵体験	8月2日(火) 14:00～15:30	1階講座室	当館研究員	無料	19名
長崎伝統工芸まつり	8月7日(日) 10:00～16:00	1階エントランス			370名
長崎奉行所・夏祭り	8月7日(日) 17:00～17:00	屋外イベント 広場			711名
夏休みこどものへや	8月13日(土)～15(月) 10:00～17:00	1階エントランス	当館研究員・当館ボランティア	無料	324名
長崎版画体験 - 唐船の版画に挑戦! -	8月15日(日) 14:00～15:30	1階講座室	当館研究員	300円	20名
「牛乳パックカメラで写真を撮ろう!」①	8月22日(月) 14:00～16:00	1階講座室	当館研究員	300円	19名
「牛乳パックカメラで写真を撮ろう!」②	8月23日(火) 14:00～16:00	1階講座室	当館研究員	300円	18名
ちぎり絵アート	8月25日(木) 14:00～16:00	1階講座室	当館研究員	100円	25名

〈正月イベント〉れきぶんのお正月2012

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
新春書初め	1月2日(月) 13:30～15:30	1階エントランス	高田梨詠氏	無料	65名
剣道演武大会	1月3日(火) 10:00～12:00	屋外イベント広場	(財)長崎県剣道連盟長崎市剣道協会		350名
初舞会	1月3日(火) ① 11:30～ ② 13:30～	1階エントランス	宝生流五雲会	無料	85名
こどものへや～お正月編～	1月7日(土) 10:00～15:00	1階エントランス	当館研究員・当館ボランティア	無料	39名
ふるまい中国茶	1月8日(日) 13:30～15:30	1階エントランス	糸永佳代氏(日本中国茶普及協会)	無料	114名

新春初弾～琴とフルートの調べ～	1月9日(月) ①11:30～ ②13:30～	1階エントランス	岸川玲子氏(hミュージック)ほか	無料	85名
-----------------	-------------------------------	----------	------------------	----	-----

〈その他季節イベント〉

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
樺島町くち公開練習	9月4日(日) 12:30～13:00	屋外イベント広場	樺島町	無料	353名
東古川町・紺屋町くち公開練習	9月25日(日) 12:00～13:00	1階エントランス	東古川町、紺屋町	無料	215名
博物館で七夕かざり	6月27日(月)～ 7月7日(木)	1階エントランス	なし	無料	310名
クリスマスステンドグラスづくり	12月11日(日)	体験工房			3名
こどものへや～クリスマス編～	12月23日(金祝) 10:00～15:00	1階エントランス	当館研究員・当館ボランティア	無料	39名
奉行所節分 豆まき	2月3日(金) 16:30～17:15	奉行所展示室 (書院・式台)		無料	65名

〈エコイベント〉環境学習会「エコまなぼ!」

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
第6回 回して体感エネルギー	4月29日(金祝) 13:00～16:00	1階エントランス	長崎県地球温暖化防止活動推進センター	無料	35名
第7回 遊んで学ぼう!環境ゲーム	7月30日(土) 13:00～16:00	1階エントランス	長崎県地球温暖化防止活動推進センター	無料	89名
第8回 環境ゲームで“省エネ”実践	11月20日(日) 13:00～16:00	1階エントランス	長崎県地球温暖化防止活動推進センター	無料	26
第9回 廃ろうそくでキャンドルづくり	12月23日(金祝) 13:00～16:00	1階エントランス	長崎県地球温暖化防止活動推進センター	無料	53名
第10回 江戸エコ学習会	2月4日(土) 13:00～16:00	1階エントランス	長崎県地球温暖化防止活動推進センター、当館研究員	無料	55名

〈館外PRイベント〉

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
館外PR活動 「オリジナル缶バッチづくりとうちわづくり」★蛭子さんの展覧会関連企画	8月27日(土) 13:00～15:00	JR長崎駅かもめ広場	広報・営業担当職員	無料	116名
ココウォーク出張イベント 「缶バッチづくり」★安野光雅展関連企画	4月9日(土) 13:00～16:00	ココウォーク5F お祭りイベント広場	当館研究員	無料	172名
ココウォーク出張イベント 「缶バッチづくり」	7月18日(月祝) 13:00～16:00	ココウォーク5F お祭りイベント広場	当館研究員	無料	292名
ココウォーク出張イベント 「ハッピー!お祝いカードづくり」	12月17日(土) 13:00～16:00	ココウォーク5F お祭りイベント広場	当館研究員	無料	82名
ココウォーク出張イベント 「中国の歴史や文化を学ぼう!」★孫文・梅屋庄吉と長崎展関連企画	1月22日(日) 13:00～16:00	ココウォーク5F お祭りイベント広場	当館研究員	無料	50名

〈長崎奉行所・新内寄席〉

テーマ	日時	場所	出演	参加料	参加者数
第10回 新内寄席〈独演会〉	6月18日(土) 14:00～15:30	1階ホール	新内枝幸太夫(新内弥栄派家元)	1,000円	60名
第11回 新内寄席	10月10日(月祝) 14:00～15:30	1階ホール	新内枝幸太夫(新内弥栄派家元)、村山由紀子(長崎枝幸会)	1,000円	70名
第12回 新春新内寄席	1月8日(日) 13:30～16:30	1階ホール	(出演) 新内枝幸太夫(新内弥栄派家元)、小泉ミサ子(弾き語り)、若杉明充(唄)、新内倅(語り)、新内幸路(語り) 新内幸園(語り) 以上、長崎枝幸会	1,000円	85名

〈新内枝幸太夫出稽古〉

日時	場所	参加者	日時	場所	参加者
4月14日(木)～16日(土)	町屋	223名	12月5日(月)～7日(水)	イベントの間	400名
8月11日(木)～13日(土)	町屋	352名	2月6日(月)～8日(水)	イベントの間	497名
11月10日(木)～12日(土)	町屋	1,470名	3月5日(月)～7日(水)	イベントの間	295名

〈れきぶんミュージアムコンサート〉

テーマ	日時	場所	出演	参加料	参加者数
第1回 れきぶんミュージアムコンサート ★安野光雅展連携企画	4月30日(土) 16:30～17:15	1階エントランス	OMURA 室内合奏団アンサンブル 永留結花(フルート)、松浦知佳(ヴァイオリン)、池田祐希(ファゴット)、田辺清士(チェロ)	無料	82名
第2回 れきぶんミュージアムコンサート	7月16日(土) 16:30～17:15	1階エントランス	OMURA 室内合奏団アンサンブル 菅家恭子(第1ヴァイオリン)、太田さあり(第2ヴァイオリン)、川口千穂(ヴィオラ)、光田聰子(チェロ)	無料	60名
開館6周年記念 第3回 れきぶんミュージアムコンサート ★ながさき音楽祭2011 連携企画	11月3日(木祝) 16:30～17:15	1階エントランス	齊藤享(ヴァイオリン)、太田さあり(ヴァイオリン)、池田文子(ヴィオラ)、光田聰子(チェロ) 以上、OMURA 室内合奏団 高橋智子(ソプラノ)、田中絵里(メゾソプラノ)、山口亜依子(ピアノ)、松田洋子(ピアノ)、岩佐美佳(ピアノ)、以上、長崎県新演奏家協会	無料	137名
第4回 れきぶんミュージアムコンサート (クリスマスコンサート)	12月24日(土) 16:30～17:15	1階エントランス	長崎県新演奏家協会 垣内永圭(ソプラノ)、森山達郎(テノール)、大塚裕子(ピアノ)	無料	54名
第5回 れきぶんミュージアムコンサート	3月24日(土) 16:30～17:15	1階エントランス	長崎県新演奏家協会 長島由紀子(ソプラノ)、江口友規子(ピアノ)	無料	64名

〈ながさき音楽祭2011〉

テーマ	日時	場所	出演	参加料	参加者数
ながさき音楽祭2011 長崎奉行所 お月見コンサート 「月の宴・和の心」	9月17日(土) 19:00～21:00	1階エントランス	神崎ひで弥(地唄舞)、神崎貴孝(地唄舞)、富田清邦(地唄演奏)、嬉野紀孝(龍笛)、三輪浩孝(鳳笙)、野澤佳穂子(箏篋)、伊達木百合子(花芸安達流)、朝長朱美(花芸安達流)	2,500円 (当日 3,000円)	175名
古楽コンサート 南蛮の風	9月24日(土) 19:00～21:00	3階エントランス	トーク/大石一久(当館研究グループリーダー) 大坪由香(リコーダー)、井上周子(リユート・ヴァージナル)、片田江智子(バロックヴァイオリン)、木島千夏(ソプラノ)	2,000円 (当日 2,500円)	80名
池辺晋一郎トーク&コンサート ★長崎奉行所・大河ドラマ館連携企画	10月17日(月) 19:00～	1階エントランス	池辺晋一郎(作曲家)、後藤美樹(ピアノ)、藤木修爾(ヴァイオリン)、中西弾(ヴァイオリン)、長嶋拓生(ヴィオラ)、下田直子(チェロ)、亀子政孝(コントラバス)、濱砂由美子(フルート)、西川千穂(オーボエ)以上、OMURA 室内合奏団	1,500円 (当日 2,000円)	180名
夢見て上海 恋して長崎 ★孫文・梅屋正吉と長崎展連携企画	11月23日(水祝) 19:00～	1階エントランス	高波慶太郎(音楽プロデューサー)、柴田健一(トロンボーン)、琴音(長崎検番・月琴)、市場美奈(歌・フルート)、河合由美子(パーカッション)、尾口陽軌(ギター)、田川遊人(ベース)、松本絢子(ピアノ)、森次浪(ドラム)	2,000円 (当日 2,500円)	73名

〈その他コンサート〉

テーマ	日時	場所	出演	参加料	参加者数
ジュニアオーケストラながさきコンサート	7月3日(日) 14:00～14:30	1階エントランス		無料	75名
イタリアの音楽とファッション	11月19日(土) 17:00～	1階エントランス	船橋芳信(パターナー・活水大学非常勤講師)、船橋すみこ(ソプラノ)、長嶋拓生(ヴィオラ)、寺谷陽子(ピアノ)	無料	145名
クリスマスコンサート ピアノとフルートの調べ	12月25日(日) 11:30～12:30	1階エントランス	杉澤葉子(ピアノ)、杉澤玲子(フルート)	無料	77名
ジュニアオーケストラ演奏会	3月4日(日) 14:00～	1階エントランス		無料	70名

〈伝統芸能〉

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
第6回 特別公演 諏訪の杜 奉行所お白洲蠟燭能	9月23日(金祝) 18:30～20:00	奉行所展示室 お白洲	〈出演〉 河村栄重(神歌)、観世喜正(仕舞 諏訪)、森本哲郎、坂苗融、野村万禄(能 高砂)	6,000円 (当日7,000円)	251名

表千家同門会長崎支部「市民茶会」	11月6日(日)終日	1階エントランス	表千家同門会長崎支部	1,325名
裏千家淡交会青年部長崎支部「チャリティー茶会」	11月13日(日)終日	1階エントランス	裏千家淡交会青年部長崎支部	570名

〈その他〉

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
ALternative Nagasaki - もう一つの長崎 -	6月11日(土)～7月8日(金)	3階企画展示室	主催：Nagasaki Assistant Language Teachers (ALTs) 協力：長崎歴史文化博物館	無料	3,318名
英国王立写真協会第9回日本支部写真展「Feel British イギリスっばいってどんなこと？」	6月11日(土)～7月8日(金)	3階企画展示室	英国王立写真協会日本支部	無料	3,318名
第41回2011ながさき陶磁展	10月25日(火)～31日(月)	1階エントランス	長崎県窯業センター	無料	1,833名
願いをかなえるクリスマスツリー	11月26日(土)～12月25日(日)	1階エントランス		無料	4,849名
brew Design Exhibition	12月11日(日)～30(金)	2階常設展示室前		無料	4,343名
新発見 長崎の文化遺産パネル展	3月1日(木)～14日(水)	2階常設展示室前		無料	2,402名
あの日を私たちは忘れない - 東日本大震災報道写真展	3月8日(木)～20日(火)	1階エントランス		無料	5,001名

4 ボランティア活動

ア) 平成23年度登録者数

	登録者数	男女内訳	平均年齢	居住地
展示案内	108名	男56名 女52名	65.0歳	長崎市内93名 長崎市外15
業務支援	24名	男1名 女23名	61.3歳	長崎市内21名 長崎市外3
寸劇	17名	男7名 女10名	57.0歳	長崎市内14名 長崎市外3

イ) 活動内容

① 展示案内ボランティア

2階常設展示室内で来館者への展示解説(定点)や誘導等。歴史文化展示ゾーンリニューアル工事中は、奉行所ゾーンのみでの活動。

長崎・寫眞傳來展での活動

[ガイドグループ]

事前申込と当日申込の団体への常設展示室内通しての展示案内。

[外国語グループ]

外国人来館者への展示案内・誘導。

英語グループは工芸資料の解説、展示機器の解説等を作成。2ヶ月に1回程度の割合で勉強会を開催(リニューアル工事中はなし)。

※平成24年度より展示案内ボランティアすべてがガイドグループの活動も行う。

② 業務支援ボランティア

発送作業、ボランティア通信「風説書」16号、17号、18号、19号発行、新聞の切抜き、図書整理、教育普及活動の運営等。

[保存環境グループ]

文化財を皆で守り、伝えていくため博物館での文化財保存活動の一部を県民・市民と共に行うことを目的とする。

I P M (Integrated Pest Management 総合的有害生物管理)の考えに基づき露出展示のメンテナンス、展示室内環境モニタリング(目視点検)等を行う。研修後7名が登録。

※保存環境ボランティアは業務支援ボランティアの位置付けとし、10月より活動を開始。

③ 寸劇ボランティア

「長崎奉行所 大河ドラマ館」の開館中は、大河ドラマをテーマにした寸劇を開催。

[平成23年度の演目]

「忠臣蔵-桜の別れ-」(4月～10月)

「帰ってきたジョン万次郎」(11月～3月)

④ 長崎奉行所・夏祭り実行委員会

活動期間:2011年6月3日(金)～8月31日(水)
夏祭り実行委員会による企画会議(計5回)を通じて、具体的な運営方針決定や当日の開催に向けた準備などを行った。5名が実行委員会に参加。

ウ) ボランティア募集・研修

・展示案内・業務支援の新規募集はなく、保存環境ボランティアを募集・研修を実施。

①研修内容

[学校向けガイドボランティア研修内容]

	日時	内容	講師	参加者数
第2回	4/21 (木) 15:00～16:30	展示室見学の現場を知る	当館研究員	34名
第3回	5/18 (水) 15:00～16:30	学習内容と利用事例を知る	当館研究員	35名
第4回	6/25 (土) 15:00～16:30	教師の視点からみた博物館学習	当館研究員	28名
第5回	7/20 (水) 15:00～16:30	来館者研究の現在、他館事例の紹介	当館研究員	26名

[保存環境ボランティア研修内容]

	日時	内容	講師	参加者数
第1回	8/16 (火) 10:30～12:00	博物館と資料保存	当館研究員	15名
第2回	8/30 (火) 11:00～12:00	古文書における害虫被害	当館研究員	12名
第3回	9/13 (火) 11:00～12:00	環境モニタリングと機器の取り扱い	当館研究員	12名
第4回	9/20 (火) 11:00～12:00	ワークショップ(展示室内)	当館研究員	13名

[常設展示リニューアル研修内容]

	日時	内容	講師	参加者数
第1回	3/13 (火) 10:00～12:00 3/17 (土) 16:00～18:00	長崎奉行所について	当館研究員	113名
第2回	3/13 (火) 13:00～15:00 3/17 (土) 10:00～12:00	歴史文化展示について1	当館研究員	105名
第3回	3/16 (金) 10:00～12:00 3/18 (日) 13:00～15:00	子供向け展示・情報端末について	当館研究員	101名
第4回	3/31 (土) 14:00～15:00 3/31 (土) 16:00～17:00	歴史文化展示について2	当館研究員	104名

(1) スキルアップ研修(計5回)

	日時	内容	講師	参加者数
	4/21 (木) 17:00～18:00	安野光雅の世界展内覧会	当館研究員	35名
	6/15 (水) 17:00～18:00	長崎・寫真傳來展内覧会	当館研究員	15名
	7/16 (土) 17:30～18:30	えびすリアリズム展内覧会	当館研究員	12名
	10/12 (水) 17:00～18:00	孫文・梅屋庄吉と長崎展内覧会	当館研究員	50名
	11/28 (月) 15:00～16:30	長崎奉行所について	当館研究員	45名

(2) 他博物館等視察・交流

10月 松浦史料博物館、平戸オランダ商館、平戸城見学

(3) 活動報告会・交流会、その他

	日時	内容	参加者数
	8/31 (水) 15:00～16:00	学校ボランティア情報交換会	19名
	9/26 (月) 10:30～12:00	リニューアル・孫文展・長崎学研究プロジェクト説明会	56名
	9/27 (火) 17:00～18:30	リニューアル・孫文展・長崎学研究プロジェクト説明会	32名
	9/28 (水)・10/26 (水)・11/30 (水)・ 12/21 (水)・2/29 (水) 15:00～16:00	学校ボランティア情報交換会	41名
	3/6 (火) 17:00～20:00	活動報告会・交流会	67名

8

広報マーケティング

1 広報ツール

発行媒体

- ・来館者用パンフレット（緑パンフ）50,000部
- ・年間スケジュール 10,000部
- ・「れきぶんNEWS」

掲載雑誌

「フェイスすごろく」「ながさきPRESS」「新美術新聞」・「西日本新聞エリアニュース パッション」・「ホットペーパー」

県広報誌

「県民だより（情報ひろば）」・「メルマガ長崎県」

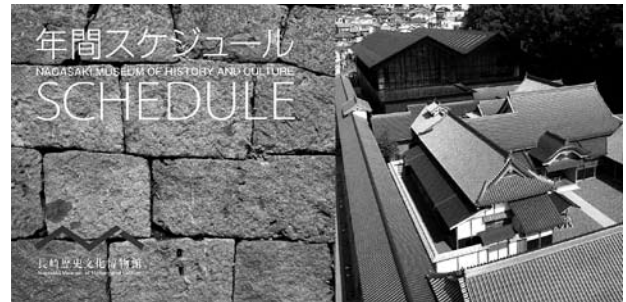
WEB サイト

イベントバンク 登録

交通媒体ほか

長崎県営バス・長崎バス車内・長崎電気軌道中吊り・コンビニ・長崎空港到着ロビー内でのポスター掲出 DM

長崎市内を中心として県内公共・民間施設、全国博物館・美術館、県内学校、保育所・幼稚園、市内ホテル、マスコミ、企業、長崎、市近郊店舗など



2 交通広告

- ・長崎県営バス
- ・長崎自動車（平成23年4月1日～平成24年3月31日）
- ・長崎電気軌道（企画展毎に随時）

3 メールマガジンの発信

4月8日配信開始、月2回発行。Vol. 1～24の配信。

4 企画展ホームページの作成

企画展毎の特設ページを作成



5 営業・広報活動

[営業・広報目的]

- ①観光客・修学旅行を中心とする誘致活動
- ②長崎市内各地・イベントでの広報

[主な活動]

4月22日～24日	帆船まつりにてPRブース
5月17日～5月20日	長崎県観光連盟修学旅行誘致活動
5月21日・22日	浜の町にてチラシ配布
6月18日	えびす展電車出発式
6月30日～7月1日	長崎県観光連盟下期観光情報説明会（対馬市）
7月23日・24日	JR長崎駅かもめ広場にてチラシ配布
8月26日・27日	福岡にてAGTセールス並びに阪急交通社意見交換会出席
9月7日～9日	長崎県観光連盟関西地区修学旅行誘致
9月23日	松ヶ枝国際ターミナル大ホールにて孫文展の告知・チケットグッズ販売
10月11日・12日	関西地区観光キャラバン
10月25日～28日	長崎県観光連盟 沖縄地区修学旅行誘致宣伝
11月7日	NTA商品造成会議（島原市・九十九ホテル）
12月6日～9日	長崎県観光連盟 中部地区修学旅行誘致
12月14日・15日	長崎県観光連盟 観光情報説明会
1月17日～20日	広島・山口AGTセールス
2月15日～17日	コンベンション協会主催九州セールスキャラバン隊
3月13日～16日	長崎県観光連盟主催首都圏修学旅行誘致

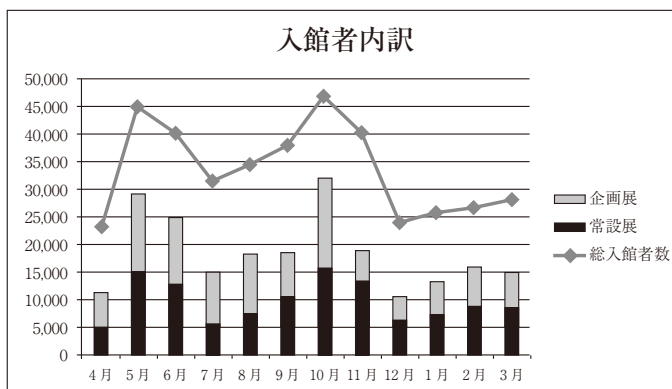
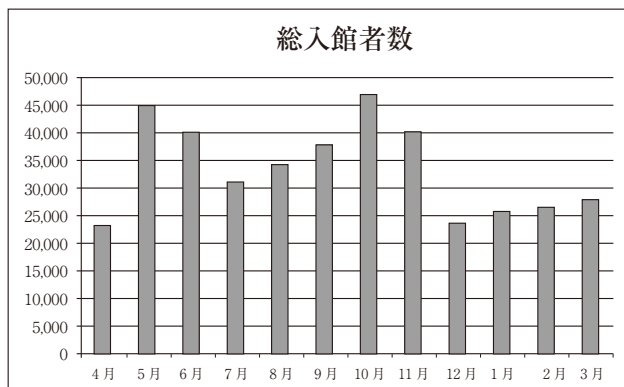
9

利用状況

1 来館者統計

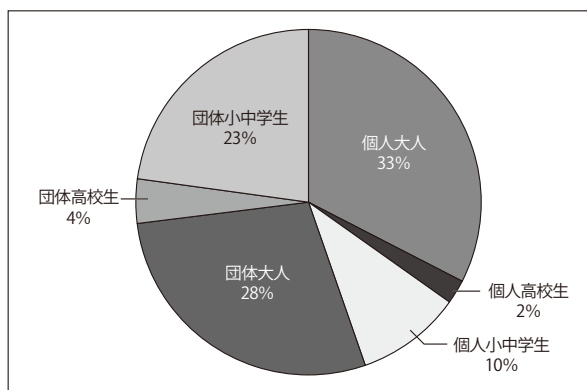
ア) 入館者数

	総入館者数	常設展	企画展
4月	23,256	5,081	6,229
5月	45,118	15,128	14,234
6月	40,244	12,669	12,074
7月	31,291	5,528	9,463
8月	34,393	7,296	10,896
9月	37,823	10,288	8,191
10月	46,923	15,482	16,506
11月	40,205	13,258	5,445
12月	23,720	6,182	4,434
1月	25,677	7,069	6,158
2月	26,559	8,553	7,229
3月	27,882	8,272	6,380
合計	403,091	114,806	107,239



イ) 常設展入館者内訳

個人	大人	37,379	33%
	高校生	2,585	2%
	小中学生	11,323	10%
団体	大人	32,547	28%
	高校生	4,769	4%
	小中学生	26,203	23%



2 主な出来事と来館者

月日	内容
4月16日(土)	「安野光雅の絵本展」開幕
5月26日(木)	第51回平成23年度九州博物館協議会理事会並びに総会(60名)
6月10日(金)	キューバ共和国特命全権大使来館
6月11日(土)	「知られざる日本写真開拓史 長崎・寫眞傳來展」開幕
6月27日(月)	E S D日米教員交流プログラム米国人教員長崎訪問団来館(22名)
7月6日(水)	長崎県博物館協議会理事会・総会(雲仙災害記念館)
7月9日(土)	長崎市内留学生による観光モニター(8名)
7月15日(金)	「えびすリアリズム 蛭子さんの展覧会」開幕
8月4日(木)～8日(月)	長崎大学中国人留学生臨床実習受け入れ(2名)
8月22日(月)～26日(金)	教職員研修受け入れ(長崎工業高校建築科1名)
9月30日(金)	「孫文・梅屋庄吉と長崎展」開幕
10月1日(土)	「孫文・梅屋庄吉と長崎展」館長サミット開催(出島交流会館)
10月5日(水)	中国福州市水道技術視察団一行来館(7名)
10月6日(木)	地方財政審議会一行来館(7名)
10月21日(金)	中国広東省代表団一行来館(11名)
10月24日(月)	中国北京合唱団一行来館(62名)
11月7日(月)	中国浙江省関係者一行来館(11名)
	中国上海老人大学関係者訪日団一行来館(22名)
11月9日(水)	中国政府財務部財政科学研究所等一行来館(10名)
11月23日(水祝)	中国重慶教育関係者来館
12月2日(金)	中国福州市共産党副書記官一行来館(9名)
12月5日(月)	中国山東省教育関係者来館(14名)
12月8日(木)	中国華北地区(天津市)教育関係者来館(15名)
12月10日(土)	名誉館長市川森一死去
12月11日(日)	中国歴史研究者代表団来館(20名)
12月12日(月)	「戴敦邦画 辛亥革命百年記念人物画展」開幕(～12/19)
	中国寧波保國寺古建築博物館来館(10名)
12月14日(水)	中国香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部首席代表一行来館(4名)
12月20日(火)	「第22回長崎福建経済交流促進会議」福建省訪問団来館(8名)
12月27日(火)	中国香港貿易開発局総裁一行来館(9名)
1月10日(火)	中国北京求实職業学校来館(39名)
1月12日(木)～19日(木)	第15回友好之翼上海青少年訪日団来館(総人数155名)
1月31日(火)	長崎県ミュージアム連携事業シンポジウム「ミュージアムと地域の新たな関係の構築のために」開催
2月1日(水)	中国上海教育委員会一行来館(10名)
2月3日(金)	ライデン国立民族学博物館館長・シーボルトハウス館長・鶏籠山自然史博物館館長 特別講演会「博物館と異文化交流」開催
	台湾国立総合大学理工学院来館(16名)
2月14日(火)	中国瀋陽市学生友好訪問団来館(62名)
2月17日(金)	シンガポール国家遺産庁文物局長一行来館(5名)
2月20日(月)	日比谷四季の会一行来館(16名)
2月23日(木)	瀋陽市学生友好訪問団来館(25名)
2月28日(火)	中国江蘇省教育関係者来館(10名)
3月2日(金)	福建省福建博物院一行来館(6名)
3月3日(土)	平成23年度文化庁ミュージアム活性化支援事業 公開フォーラム開催
3月11日(日)	中国西安教育関係者来館(20名)
3月13日(火)	武漢市辛亥革命博物館館長一行来館(4名)
3月15日(木)	長崎華僑の故郷—金門島—国際ワークショップ開催
	中国上海市人民政府外事弁公室代表団来館(6名)
3月18日(日)	民主党港振興議員連盟一行来館(21名)
3月22日(木)	元香港特別行政区政府民政事務局常任秘書長一行来館(3名)
3月31日(土)	歴史文化展示室リニューアル開会式

3 貸館・貸室

	件数	人数
イベントの間	101	5,899
ホール	60	5,899
会議室	109	912

	件数	人数
講座室	91	1,976
その他(イベント広場、企画展示室等)	4	2,425
合計	365	12,684

10 収 支

<負担金事業>

単位：千円

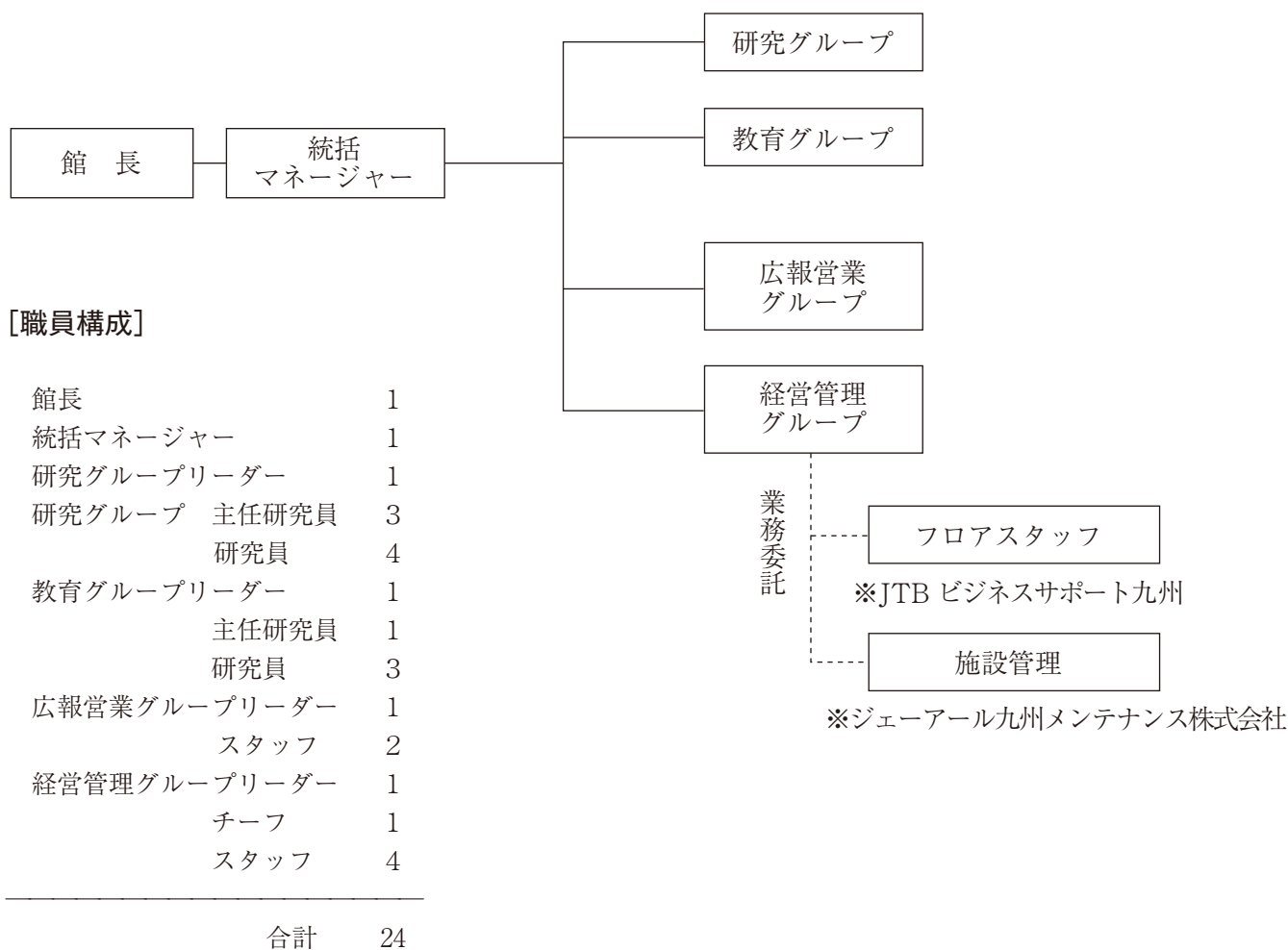
項目	細目	予算額	実績額	予算差異
収入合計		349,100	351,333	2,223
設置者負担金		348,550	348,550	0
利用者負担金収入		550	789	239
文化庁助成金（ミュージアム活性化支援事業）		0	1,994	1,994
支出合計		349,100	352,507	3,407
管理運営人件費		123,870	124,019	149
運営事業費	長崎学・生涯学習支援事業	15,670	16,848	1,178
	調査研究事業	14,570	19,400	4,830
光熱水費		70,000	72,330	2,330
維持管理費	施設設備保守点検業務	48,663	48,958	295
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	40,075	34,290	▲ 5,785
	受付案内業務	33,600	34,182	582
	発券機、車両リース	2,652	2,480	▲ 172
負担金事業 収支（指定管理者負担損失金）		0	▲ 1,174	▲ 1,174

<利用料金及びその他自主事業>

単位：千円

項目	細目	予算額	実績額	予算差異
収入合計		272,143	219,598	▲ 52,545
観覧料	常設展・企画展収入	177,518	86,505	▲ 91,013
	協賛金等収入	3,000	47,184	44,184
その他利用料金	駐車場収入	11,400	9,931	▲ 1,469
	施設貸し出し収入	2,400	3,311	911
ミュージアムショップ収入		34,200	41,283	7,083
飲食施設収入		25,200	16,584	▲ 8,616
平成 23 年度データ整理事業		8,301	5,565	▲ 2,736
日中交流架け橋事業		10,124	9,235	▲ 889
支出合計		287,729	258,034	▲ 29,695
展覧会事業費	常設展示事業費	9,376	2,066	▲ 7,310
	展覧会・企画展事業費	166,186	148,283	▲ 17,903
業務経費	広報・マーケティング費	16,400	11,029	▲ 5,371
	駐車場運営費	4,608	4,742	134
	その他利用料金事業	16,586	18,749	2,163
	ミュージアムショップ営業支出	31,584	38,984	7,400
飲食施設営業支出		24,564	19,381	▲ 5,183
平成 23 年度データ整理事業		8,301	5,565	▲ 2,736
日中交流架け橋事業		10,124	9,235	▲ 889
利用料金及びその他自主事業 収支		▲ 15,586	▲ 38,436	▲ 22,850

組 織



館長	大堀 哲	(非常勤)	名誉館長 市川 森一 (12月10日死去)
			客員研究員 水嶋 英治
統括マネージャー	野間 誠二	広報営業グループリーダー	繁村 敏巳
研究グループリーダー	大石 一久	広報営業グループ	木原 政樹
研究グループ主任研究員 (美術工芸)	越中 勇	広報営業グループ	松下 涼一
研究グループ主任研究員 (科学史)	平岡 隆二	経営管理グループリーダー	山崎 竜太
研究グループ主任研究員 (日本近世史)	深瀬公一郎	経営管理グループチーフ	松尾 純也
研究グループ研究員 (日本近世史)	岡本健一郎	経営管理グループ	真崎 俊介
研究グループ研究員 (日本美術史)	植松 有希	経営管理グループ	有馬由紀子
研究グループ研究員 (保存修復)	富川 敦子	経営管理グループ	境 陽子
研究グループ研究員 (資料管理)	関 裕典	経営管理グループ	石田 智美
教育グループリーダー	竹内 有理		
教育グループ主任研究員	加藤 謙一		
教育グループ研究員	久保 憲司		
教育グループ研究員	下田 幹子		
教育グループ研究員	一瀬 勇士		

12 施設概要

1 建築概要

館名	長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
設置者	長崎県、長崎市
運営者	指定管理者（株）乃村工藝社（指定期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日 6年間）
博物館報分類	相当施設
開館年月日	平成17年11月3日
所在地	〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1 Tel：095-818-8366 Fax：095-818-8407
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
建築設計	（株）黒川紀章建築都市設計事務所
建築施工	竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
展示設計施工	（株）乃村工藝社

敷地面積	14,413㎡
建築面積	5,091㎡
延床面積	13,309㎡（駐車場2,581㎡を含む）

建築工事	平成15年7月19日～平成17年8月31日
展示工事	平成15年10月3日～平成17年8月31日
総事業費	約80億円（長崎県：長崎市＝2：1）県53億円・市27億円



施設面積

展示関係	常設展示室	1,273.3㎡	教育普及関係	資料閲覧室 / 長崎学相談コーナー	140.0㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡		閉架書庫	114.2㎡
	長崎奉行所立山役所(木造部分)	494.6㎡		ホール	178.3㎡
	企画展示室	1,030.8㎡		講座室	66.2㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡	調査研究関係	ボランティア室	47.1㎡
	収蔵庫2	158.5㎡		学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡		研究室・資料整理室	92.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡		外来研究室	37.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡			

設備概要

- 電気：高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電
- 給排水：上水 / 雨水処理2系統加圧直送給水方式、汚水排水 / 屋内外合流方式・公共下水道放流
- 消火：消火器とハロゲン化合物消火設備
- 空調設備：熱源 / ガス炊吸引冷温水発生機
- 空調方式：エアハンドリングユニット 定風量単一ダクト方式、中央監視システム

13 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料（以下「資料」という。）の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）を長崎市に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務（同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。）
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手續)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安定して行うことができるものであること。
- (4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。

(5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

(3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。

(4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

(1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。

(2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。

(3) 前条第4項の規定に違反したとき。

(3) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。

(5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。

3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

(1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。

(2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第 15 条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第 10 条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第 16 条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第 17 条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して 1 年 2 月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第 2 条から第 6 条までの規定及び第 17 条の規定は公布の日から、第 9 条から第 14 条までの規定は公布の日から起算して 1 年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成 17 年規則第 69 号で附則本文に規定する規則は平成 17 年 11 月 3 日から施行)

(平成 17 年規則第 69 号でただし書に規定する規則は平成 17 年 8 月 5 日から施行)

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書（別紙様式第1号）によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館において乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- （1）名 称 長崎歴史文化博物館
- （2）所在地 長崎市立山1丁目1番1号
- （3）施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳登録の物品

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成22年4月1日から平成28年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（使命）

第5条 長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、別紙1「長崎歴史文化博物館の使命」のとおりであり、指定管理者はこの使命の達成に努めなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、長崎歴史文化博物館にかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙2「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- （1）地方自治法
- （2）長崎歴史文化博物館条例
- （3）長崎歴史文化博物館条例施行規則
- （4）労働基準法
- （5）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館に関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （1）指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- （2）公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（事業計画）

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。

- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第11条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第12条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の施設の保守点検等のための休館日以外の日には休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第13条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第14条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第15条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第16条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第17条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙4「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第18条 乙は、長崎県個人情報保護条例(平成16年3月23日付長崎県条例第3号)第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合においては、個人情報取扱特記事項第7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第19条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 入館者数、前日の売上
- (2) 実施した事業の内容及び実績

- 2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第20条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なけ

ればならない。

2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の各項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第25条 甲は、長崎歴史文化博物館の管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第26条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第27条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第28条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁気的方式その他の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(疑義の決定)

第 29 条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書 2 通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自 1 通を保有するものとする。

平成 22 年 3 月 25 日

甲 長崎市江戸町 2 番 13 号
長崎県
長崎県知事 中村 法道

乙 東京都港区台場 2 丁目 3 番 4 号
株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 渡辺 勝

(別紙1)

長崎歴史文化博物館の使命

長崎歴史文化博物館は、長崎県長期総合計画・後期5カ年計画において「交流を拓げる魅力的なまちづくり」という重点目標を推進する拠点施設として位置づけられるとともに、長崎市第三次総合計画においては「人間性を育む個性豊かな国際平和文化都市」実現のための重要な施策として位置づけられている。この目標・施策を実現するために長崎歴史文化博物館は、歴史資料の保存・研究・展示という基本的な使命の遂行に加え、従来型の博物館像にとらわれず、地域に求められている重要な機能のひとつであるという認識のもと、中長期的なビジョンに沿って、長崎独自の歴史や文化を整理・編集し、地域の魅力として発信し、現在及び未来に生きる県民・市民ひとりひとりの豊かな暮らしの実現と地域の活性化に努めなければならない。

長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、下記1～10のとおりである。

使命1. 多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する

海外交流史を中心とする常設展示室においては、館が所蔵するコレクションや他館等から借用している資料を活用し、初めての来館者からヘビーユーザーまで、誰がいつ来ても本県独自の歴史・文化に親しみ楽しく学べるよう充実した展示を行う。企画展示室においては、県民ニーズに沿った展覧会と、専門的かつ質の高い展覧会をバランスよく開催すること。レファレンスサービスにおいても、館の資料や情報等の的確かつ円滑な提供に努めること。また、展示室以外の施設やスペースにおいても、長崎の歴史・文化の魅力に触れることのできる活用策を積極的に講じる。

さらに来館がかなわない県民・市民のために、遠隔授業や移動博物館など様々な手法を講じ、一人でも多くの方に長崎の歴史・文化の魅力を再認識する機会を提供する。

使命2. 所蔵資料の保存・管理を適切に行う

県民・市民の財産である貴重な歴史資料を適切に保管、管理、修復するとともに、長崎の歴史のデータバンクとして、それらの情報を必要としている利用者の要望に対して十分にかつ円滑に対応できる体制を整え、資料の価値を最大限に発揮させる。

使命3. 長崎学の研究を推進し、その成果を具体的に地域に還元する

長崎歴史文化博物館と県、市が連携を図り、さらに館外の研究者との相互協力関係のもと充実した研究体制を構築し、長崎に関する歴史・文化の調査、研究を多角的に行う。さらに、その研究成果を様々な形で県民・市民、地域に還元するとともに、地域活性化の様々な取り組みの素材として各方面の活用に供する。特に、県内各地の歴史・文化を紹介する地域展の開催を通じて、地域間交流による活性化を積極的に促進する。

長崎歴史文化博物館の施設、環境を最大限に活用し、歴史・文化の研究、体験等を通じて県民ひとりひとりが自己実現を図り、豊かな人生を築くための生涯学習の場を提供する。

使命4. 博物館に親しみ、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育てる

長崎歴史文化博物館の施設の活用や貴重な歴史資料の様々な展示により、長崎の歴史の重要さや魅力子ども達に理解してもらい、長崎に生まれたこと、暮らすことを誇りに思い、長崎への愛着を醸成する取り組みを進める。長崎歴史文化博物館ならではの楽しいユニークな体験を提供する。特に、子どもたちには博物館に行くという習慣を身につけてもらい、成長し大人になったら子どもを連れて博物館に足繁く通う、という好循環を創り出す。また、長崎に暮らす人々にとって、ふるさとを訪れた大切なお客様を招待し長崎の歴史を紹介する場所として愛される施設となるよう努める。

使命5. 交流人口の拡大に寄与する

県、市の活性化の重要なキーワードのひとつに「交流人口の拡大」がある。

長崎独自の歴史の魅力を活かして広く情報発信を行い、長崎を訪れる人々を増やし、長崎の新しい観光地として地域の活性化に寄与する。

使命6. 地域活性化、まちづくりの拠点として活動する

長崎の歴史が持つ魅力を最大限に活用し、さまざまな知識・情報・資料を集積し、創造性を発揮して編集し長崎発の新しい文化を創りだす。このような博物館活動を通じて、コミュニティの維持・再構築を図るとともに、産業化、商品化を視野に入れた歴史・文化のコンテンツ化に積極的に取り組む。

また、長崎の様々な祭りやイベントと連携し、長崎歴史文化博物館はじめ他の文化・観光施設との相乗効果を生み出しながら地域の活性化の拠点として積極的に活動する。

さらに、大学や企業、民間団体と連携し、歴史・文化を活用した地域の活性化や様々な課題への対応ができる体制整備と人材育成に取り組む。

使命7. 県の中核的博物館として県内の博物館や地域の指導・育成に努める

長崎県美術館と連携し、県内の博物館、美術館、資料館、さらに市町など、地域の歴史を活かした活性化に取り組む様々な組織体に対し、中核博物館として協力、指導を行い、県全体及び各地域の歴史による魅力づくり、情報発信などを通じた地域ブランドの向上を図る。

そのために

使命8. 新しい運営方針を示し、ビジネスモデルを構築する

緻密なマーケティングと総合的なマネジメントによる博物館運営を行い、効率的な経営と質の高い博物館活動という相反しがちな両面について、高い次元で両立させる。

マネジメントをも熟知した学芸・研究部門と、歴史・文化をも理解している管理部門の両者が、密接な連携を図り、高い相乗効果を発揮することが求められ、そのためには職員の育成も不可欠である。

また、館単独での収支バランスを適正に保つことはもとより、来館者による経済効果、商品開発、本県の地場産地との連携による産業振興など、歴史・文化を切り口とした経済・産業振興上の役割も求められている。

使命9. 建築理念を管理運営に活かす

由緒ある諏訪の森地区に復元された長崎奉行所立山役所の重厚で落ち着いたたたずまいなど、立地条件、設計・デザインの優位性を最大限に活かしたイベントや仕掛けを工夫し、長崎歴史文化博物館そのものを愛するファンを生み出す。

さらにその中から一部の人々にはボランティア活動を通して一人ひとりの生き甲斐を長崎歴史文化博物館に見いだして頂くなど、運営面においても開かれた博物館を具現化する。

使命10. 周辺と一体となった運営を行う

県民・市民の憩いの場である諏訪の森地区など周辺の歴史的地区、さらに近隣の企業・ホテル、地元商店街・自治会、各種団体、大学・学校などと連携し、人が行き交い、楽しさに満ち溢れたまちのにぎわいを創り出す。

指定管理業務の範囲

長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記(1)～(13)のとおりとする。

記

(1) 管理運営業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

②開館時間

午前8時30分から午後7時までの10時間30分

(レストラン銀嶺は午前10時30分から午後9時まで)

③公平性の確保

長崎歴史文化博物館の管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

④禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

収蔵資料、歴史文庫施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑤人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑥管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑦情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎歴史文化博物館の管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑧環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑨危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、職員への講習等を行うものとする。

⑩県及び市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・定例会(業務進捗報告、施設管理報告等)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

(2) 収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集の

ための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。なお、長崎歴史文化博物館として収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。

- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料、工芸資料
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎文化に関する資料

②収蔵資料の保管業務と修復業務

ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、収蔵庫や展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去・保護用ガラス装着等の適切な処置を行う。

ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、収蔵資料については、年間1,000点以上の点検を行う。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

③収蔵資料の利用（貸出）等

他館等への収蔵資料の貸出について、資料2「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。また、収蔵資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出しにあたっては、原則として、所有者である県及び市との協議を行う。

④歴史・美術資料の展覧会業務

展覧会を行う際の主な業務内容

- ア) 展覧会の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展覧会の企画を実現するための他館の歴史・美術資料等の貸借に係る交渉業務
- ウ) 展覧会に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展覧会に係る広報等の集客業務
- オ) 展覧会に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展覧会の歴史・美術資料監視・点検業務
- キ) 展覧会の歴史・美術資料説明業務

〈1〉常設展示

- 1) 館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化をアピールする。
 - ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
 - ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
 - ・美術、工芸展示
 - ・長崎奉行所関連・情景展示
 - ・常設ミニ企画展（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）
- 2) オランダのライデン国立民族学博物館から、毎年資料を借用し、常設展示室のライデンコーナーで展示する。
- 3) 東京国立博物館から、重要文化財「長崎ゆかりのキリシタン資料」を2年毎に借用し、奉行所展示室で展示する。

〈2〉企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史・文化等について、様々な視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアはじめとする海外までを対象にした活動を行う

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・県内の地域の歴史や文化を取り上げる展覧会
- ・他館や新聞社・放送局等との共同企画による展覧会

・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会等

(3) 長崎の歴史・文化に関する調査及び研究に関する業務

- ① 歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ② 資料の保存修復に関する調査研究
- ③ 展覧会企画に関する調査研究
- ④ 生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤ 長崎の歴史・文化に関する調査研究

(4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務

- ① 様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、近世長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果等に関する講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。なお、参加者から受講料として、一部利用者負担を求められることができる。
- ② 修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③ 伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房を設置運営する。
- ④ 県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ⑤ 学校教育の一環として館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
- ⑥ 離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。

(5) 長崎の歴史・文化情報の提供に関する業務

レファレンスルームやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、全国の博物館情報等の提供を行う。なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行う。

(6) 広報・マーケティング業務

年間総入館者数 42 万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ① 積極的にマーケティング活動を行う。
- ② 展覧会ごとに戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③ 会員事業を実施する。
- ④ 定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ⑤ 館の利用促進を図るためのイベント等を開催する。

(7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

- ① 県内の中核博物館としての取組（各種技術指導を含む）
- ② 県及び市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
- ③ オランダのライデン国立民族学博物館等との交流・連携

(8) 博物館の利用許可及び利用料金に関する業務

- ① 利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- ② 利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
ホール、講座室、イベントの間、会議室、イベント広場等の施設貸出について利用促進を図るとともに、住民の公平な利用を確保すること。
- ③ 観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(9) ミュージアムショップ・レストランの運営に関する業務

- ① ミュージアムショップの管理運営

収蔵資料及び展覧会に関連した商品や長崎の歴史や文化にちなんだ商品の開発及び販売を行う。

② レストランの管理運営

来館者の休憩・飲食・会食の場として、料理や飲料等を提供するレストランを運営する。

(10) 博物館施設及び附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務

- ① 指定管理者は、県との緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって施設及び附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2) ②ウ) による。
- ② 施設及び附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
- ③ 施設及び附属設備等（物品を含む）の構造・造作を改変することはできないものである。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
- ④ 原則として、1件あたり20万円以下の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものである。1件あたり20万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
- ⑤ 県及び市が館の管理運営に必要と認めた備品については、県及び市が整備するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
- ⑥ 長崎歴史文化博物館の災害保険契約については、県が（財）都道府県会館建物共済事業（地方自治法第263条の2の規定による都道府県有財産の損害に対する相互共済事業保険契約）に基づき措置する。施設賠償責任及び来館者傷害保険については、指定管理者が負担金事業として措置する。収蔵資料についての保険については措置しない。
- ⑦ 施設及び附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3の「博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(11) 地域づくりと観光振興に資する業務

長崎歴史文化博物館は県内の博物館等の中核施設として、また、長崎市内を中心に長崎県内の歴史文化資源を紹介する中核施設として、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(12) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(13) その他設置目的や長崎歴史文化博物館の使命を達成するために必要となる業務

県及び市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

以上

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱（県資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）に収蔵し、展示するために収集する資料（以下「資料」という。）について、必要な事項を定める。

（定義）

第2条 この要綱において、収集とは県が資料を購入、寄贈、又は寄託を受けることをいう。

（収集の基本方針）

第3条 資料の収集は、次の基本方針に基づいて行うものとする。

（1）長崎県美術館の基本方針

- 一 長崎ゆかりの美術や郷土作家の作品
- 二 須磨コレクションを起点とするスペイン美術
- 三 美術館にふさわしい優れた美術作品

（2）長崎歴史文化博物館の基本方針

- 一 海外交流史に関する資料
- 二 近世長崎の美術資料、工芸資料
- 三 長崎奉行所に関する資料
- 四 長崎文化に関する資料

（寄贈）

第4条 県へ資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書（様式第1号）を提出するものとする。

2 県は、寄贈の受納が決定したときは、申込者に対し、寄贈受領書（様式第2号）を通知するとともに、寄贈品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

（寄託）

第5条 県へ資料を寄託しようとする者は、寄託申込書（様式第3号）又は寄託承諾書（様式第4号）を提出するものとする。

2 県は、前項の規定による寄託を受けたときは、申込者に対し、寄託証書（様式第5号）を交付するとともに、寄託品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

（資料調査）

第6条 収集にあたっては、あらかじめ県及び美術館・博物館の学芸員等が資料調査を行い、県に調査報告を行うものとする。

（預かり）

第7条 前条による調査資料は、所有者の了解を得て、美術館・博物館において必要な期間、次の条件を付して預かることができる。

- 一 預かった資料は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館収蔵資料管理基準により、一時保管庫に保管する。
- 二 美術館・博物館が預かり資料の模写、模造、撮影若しくは図書等に掲載する必要があるとき、又は美術館・博物館外に持ち出す必要がある場合は、事前に所有者の承諾を受けること。
- 三 資料を預かるにあたっては、預かる期間、輸送等に要する経費（輸送費、保険料等）の負担及び資料の評価額を事前に所有者と協議すること。

2 資料を預かる場合は、資料預かり書（様式第6号）を所有者に交付し、資料預かり簿（様式第7号）に、資料名、

所有者、預かり期間、担当者等の必要事項を記載すること。

3 やむを得ず、預かり期間を延長する必要がある場合は、所有者と協議のうえ決定すること。

(資料収集委員会及び価格評価委員会)

第8条 資料の収集にあたって、県は資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を設置する。また、価格評価にあたっては価格評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

2 収集委員会及び評価委員会に関する事項は別に定める。

(収集)

第9条 県は収集委員会及び評価委員会が提出する答申に基づいて収集の可否を判断する。

(資料の管理)

第10条 収集した資料は美術館・博物館に収蔵し、管理は美術館・博物館の指定管理者がそれぞれ行う。

長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱（市資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎市が長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）において取得、保管及び活用する資料について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱において、取得とは長崎市が購入、又は寄贈もしくは寄託を受けることをいう。

（取得する資料の範囲）

第3条 長崎市が博物館において保管活用するために取得する資料は次の各号のとおりとする。なお、資料の製作・伝来時期は、概ね長崎の開港から外国人居留地が廃止された時期とする。

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料
- (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

（事前調査）

第4条 市長は、資料を取得しようとするときは、事前に調査を行い、資料調書を作成しなければならない。

2 前項に規定する資料調書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 名称（フリガナ）
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数（単位）
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 資料を取得することが望ましい理由
- (15) その他、市長が必要と認める事項

（資料の一時保管）

第5条 市長は、資料の事前調査及び取得に要する手続きを行う期間中、所有者の承諾を得て、取得しようとする資料を博物館に保管することができる。なお、必要な輸送費などの経費の負担については、市長と所有者で協議して定める。

2 前項の規定により資料を保管する場合は、市長は、所有者に預書（様式第1号）を発行しなければならない。

3 第1項の規定に基づき資料を保管する場合は、長崎市が所蔵する資料と同じ注意をもって保管するものとする。

（博物館資料取得委員会の設置）

第6条 資料の取得について、その適正を期するため、必要により長崎歴史文化博物館資料取得委員会（以下「取得委員会」という。）を置く。

(取得委員会の組織)

第7条 取得委員会は、資料の数量と内容に応じて委員2人以上20人以内をもって組織する。

- 2 取得委員会の委員(以下「委員」という。)は、次に掲げるすべての条件を満たす者のなかから市長が委嘱する。
- (1) 資料に関する学識を有する者
 - (2) 人格高潔であり、公正な判断ができる者
 - (3) 収集する資料に対する利害関係のない者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、当該審議及び報告が終了するまでの間とする。

(取得委員会の所掌事務)

第9条 取得委員会は、市長の求めに応じ、取得しようとする資料の学術的価値および価格について審議し、資料取得の是非及び価格を報告する。

- 2 前項に定める報告を行う場合、取得委員会は、次に掲げる事項を記載した資料の評価調書を作成し、委員全員が署名及び捺印して市長に提出しなければならない。
- (1) 名称(フリガナ)
 - (2) 作家・著者
 - (3) 生産地
 - (4) 製作・伝来時期
 - (5) コレクション・文庫等の名称
 - (6) 員数(単位)
 - (7) サイズ
 - (8) 素材・技法
 - (9) 形態・形状
 - (10) 付属品
 - (11) 箱・箱書き等
 - (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
 - (13) 文化財指定等の状況
 - (14) 評価金額
 - (15) その他、市長が必要と認める事項

(取得委員会の会長)

第10条 取得委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、取得委員会を代表する。
- 3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(取得委員会の会議)

第11条 取得委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 取得委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 取得委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(謝礼金)

第12条 委員が取得委員会に出席した場合には、市長は委員に対して長崎市会計規則(昭和39年長崎市規則第21号。以下「会計規則」という。)が定める方法により、謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第13条 委員は、取得委員会において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、資料の所有者及び市長の許可を得た場合は、この限りではない。

(台帳への登載)

第 14 条 市長は、寄贈を受け、又は購入した資料につき博物館収蔵資料管理データベースに登載するとともに会計規則に定める備品台帳に登載し、常に保有を明らかにしておかなければならない。

2 市長は、寄託された資料を適切に管理するため、前項に規定する備品台帳に準じた台帳を別途作成しなければならない。

(管理の委託)

第 15 条 市長は、資料を取得したときはその旨を長崎県に通知し、長崎歴史文化博物館条例（平成 16 年長崎市条例第 145 号）第 2 条の規定により、当該資料の管理を長崎県に委託する。

(県との協議)

第 16 条 長崎市と長崎県が共同で資料を取得しようとするときは、この要綱にかかわらず長崎市と長崎県が協議しておこなう。

(取得に関する事務)

第 17 条 この要綱に規定する資料の取得に関する一切の事務は、文化観光部文化財課が処理する。

(委任)

第 18 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附則

この要綱は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

〈資料2〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準

(目的)

第1条 この基準は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）において収蔵し、展示する資料（以下「資料」という。）の管理について、必要な事項を定める。

(管理者)

第2条 資料の管理は、美術館・博物館の指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う。

2 指定管理者は、善良なる管理者の注意をもって、資料を適正に保存管理し、取り扱わなければならない。

(管理基準)

第3条 資料の適正な保存管理及び取扱については、次の基準による。

- (1) 指定管理者は、資料を取り扱う職員及び保存担当の職員に必要な研修を行うこと。
- (2) 美術館に収蔵する資料は、収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室、一時保管庫、城栄町収蔵庫（以下「美術館収蔵庫等」という。）で保管すること。博物館に収蔵する資料は、第1収蔵庫、第2収蔵庫、文書収蔵庫、展示室、一時保管庫（以下「博物館収蔵庫等」という。）で保管すること。
- (3) 収蔵する資料は、その性質に応じて適正な温湿度に保つこと。
- (4) 指定管理者は、美術館・博物館収蔵庫等の温湿度のデータを前月分のデータを翌月5日までに県に報告すること。
- (5) 展示している資料については、毎日目視による点検を行い、それを記録すること。異常があるときは直ちに県に報告すること。
- (6) 展示替え、貸し出し、修理等により資料を移動する場合は、県学芸員等の指示または立会により点検を行い、それを記録すること。
- (7) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺は常時点検を行い清潔に保つこと。虫等が発見された場合は、直ちに必要な処置を行い、県に報告すること。
- (8) 預かり等により新たに美術館・博物館に持ち込んだ資料は、必ず観察室に入れて虫や菌の付着がないか調査すること。必要な場合はくん蒸等の処置を行ってから保管すること。
- (9) 鍵の管理、美術館・博物館収蔵庫等の入室者管理、夜間の警備は厳重に行うこと。
- (10) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺に第三者が立ち入らないようにすること。開館時間中の展示室内には、警備員を配置して安全管理を図ること。

(指導助言)

第4条 県は、資料の管理状況を、随時点検するとともに、指定管理者に対して適切な指導助言を行う。

(資料の貸し出し)

第5条 指定管理者は、資料を借用しようとする者の主催する展覧会での出品を目的とし、その展覧会が公共性の高いものであると認められる場合、又は特に必要と認められる場合に限り、資料を貸し出すことができる。

2 貸し出しを許可するにあたって指定管理者は、あらかじめ県と協議しなければならない。

(貸し出しを許可する施設)

第6条 資料を貸し出すことのできるのは、次の条件を満たしている施設とする。

- (1) 保管、展示場所の温湿度の管理が適正に行われていること。
- (2) 資料の保管、展示に係る保安体制等が整っていること。
- (3) 貸し出しする資料の取り扱いを適正に行うことができる学芸員等が配置されていること。

(貸し出し条件)

第7条 資料の貸し出しにあたっては、次の条件を付するものとする。

- (1) 資料の取扱いについては、県及び美術館・博物館の学芸員の指示に従うこと。
 - (2) 資料の展示先の施設についてのファシリティレポートを提出すること。
 - (3) 寄託資料の貸し出しを受けようとする者は、自己の責任を持って、寄託者に承諾を得ること。
 - (4) 資料の展示にあたっては、「長崎県美術館蔵」又は「長崎歴史文化博物館蔵」など、美術館・博物館に収蔵している資料であることを明記すること。寄託資料の場合は、寄託者の意思に従うこと。
 - (5) 貸し出し先の負担により、適正な保険を付保すること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(借用)

第8条 指定管理者は美術館・博物館での展示のために、他に所蔵する資料を借用することができる。但し、県において借用することが適当な場合は、県が借用の手続きを行う。

- 2 借用資料の管理については、第2条及び第3条に準じる。

(閲覧等)

第9条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料の閲覧及び特別閲覧（以下「閲覧等」という。）を許可することができる。

- (1) 閲覧等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために閲覧等が行われると認められる場合
 - (4) その他、閲覧等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 閲覧等を許可するにあたって指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(閲覧等許可条件)

第10条 閲覧等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 閲覧等は、原則として美術館・博物館内で、県及び美術館・博物館の学芸員等立会のもとで行うこと。
 - (2) 閲覧等にあたっては、県及び美術館・博物館学芸員等の指示に従うこと。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(写真利用等)

第11条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用」等という）を許可することができる。

- (1) 写真利用等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために写真利用等が行われると認められる場合
 - (4) その他、写真利用等を許可することが適当でないと認められる場合
- 2 写真利用等を許可するにあたって、指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(写真利用許可条件)

第12条 写真利用等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 事前に申請した目的以外に使用しないこと。
 - (2) 寄託資料については、事前に所有者の承諾を得ること。
 - (3) 掲載等の場合には、「長崎県美術館蔵」及び「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
 - (4) 提供した写真等は、使用後速やかに美術館・博物館に返却すること。
 - (5) 新たに資料を撮影した場合、撮影したフィルム又は画像データを一部納付すること。
 - (6) 掲載等の場合には、その掲載誌紙を2部以上、美術館・博物館に無償で納付すること。
 - (7) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
 - (8) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、二次使用が不可能な措置をすること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

博物館の敷地内及び建物全体とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフドレイン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉、ごみ、砂等が集積していないこと。
- イ 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密性、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) 外構に関する事項

- ア 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

(3) 博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。（展示ケース内も同様とする。）

(4) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

ア 建物内清掃

- ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
- ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
- ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

イ 外構清掃

- ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
- ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。

ウ ごみの収集

- ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
- ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(5) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県と協議すること。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する必要がある。

(6) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

(7) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、博物館職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にすること。(追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。)

(1) 保守管理運営業務

ア 施設全体の統括管理業務

建築物環境衛生管理技術者を配置し、建物管理の全体スケジュールの調整等を行うこと。

イ 環境衛生管理業務

- ・空気環境測定 法定点検：6回/年(27箇所)
- ・雑用水大腸菌群検査 法定点検：6回/年
- ・雑排水槽清掃 2回/年(法定)
- ・雑用水PH測定 法定点検：2回/年
- ・ばい煙測定 2回/年(法定)
- ・中水残留塩素測定 法定点検：1回/週
- ・グリーストラップ 12回/年
- ・薫蒸装置保守点検 必要に応じ
- ・ブラスタートラップ清掃 2回/年
- ・(活性炭撤去及び廃棄) 使用回数による
- ・害虫駆除 法定点検 2回/年

ウ 設備常駐管理業務

- ・建物・設備の維持管理、操作盤監視、日常点検、電球交換等
1名以上常駐(8:00~17:00 1人、12:30~21:00 1人)

エ 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 建物内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃(床1回/月)
(常設展示室：6回/年)
(企画展示室：4回/年)

ガラス清掃 6回/年 (外部4回/年、内部1回/年)

オ 警備管理業務 常駐管理1名以上常駐 (開館日1名 (24H))
(休館日1名 24H)

カ 電気設備点検保守業務

- ・受変電設備 (年次・月次) 法定点検: 12回/年
- ・漏電測定 法定点検: 12回/年
- ・非常用発電機 法定点検: 12回/年

キ 空調設備保守点検業務

- ・直焚吸収式冷温発生器 定期点検: 6回/年
- ・冷却式HPチラー 定期点検: 1回/年
- ・冷却塔 (開放式) 定期点検: 2回/年
- ・水処理装置 定期点検: 1回/年
- ・冷却水管理装置 定期点検: 1回/年
- ・軟水装置 定期点検: 1回/年
- ・薬注ポンプユニット 定期点検: 1回/年
- ・蒸気ボイラー 定期点検: 2回/年
- ・ファンコイルユニット 定期点検: 2回/年
- ・パッケージエアコン 定期点検: 2回/年
- ・セパレートエアコン 定期点検: 2回/年
- ・空調機コンパクト型 定期点検: 3回/年
- ・空調機天吊型ほか 定期点検: 2回/年
- ・自動制御・中央監視装置 定期点検: 2回/年
- ・トイレ換気口点検 定期点検: 12回/年
- ・送・排風機 必要に応じ
- ・中性能フィルター フィルター交換: 必要に応じ
- ・ケミカルフィルター フィルター交換: 必要に応じ

ク 消防設備保守点検業務 法定点検: 2回/年 (機器点検・総合点検)

- ・消火器、消火栓、自動火災警報機、非常放送、誘導灯等定期点検等

ケ 昇降機設備業務 (4基) 法定点検: 12回/年

コ 給排水設備業務

- ・雨水濾過機 定期点検: 2回/年
- ・自動給水ポンプ 定期点検: 1回/年
- ・電気温水器 定期点検: 12回/年

(2) その他付帯設備等に関する業務

- ア 自動ドア装置保守点検 2回/年
- イ シャッター保守点検 1回/年
- ウ 放送設備保守点検 2回/年
- エ 電話交換機保守点検 2回/年
- オ 調光装置設備保守点検 4回/年 (うち自主2回)
- カ 音響設備保守点検 1回/年
- キ 駐車場料金システム保守点検 3回/年
- ク ながさきミュージアムネットワークシステム保守 12回/年
(ハードウェア保守、ソフトウェア更新)

(3) 収蔵庫内等燻蒸 必要に応じ

(4) 光熱水費等に係る業務

電気料金、ガス料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(5) その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

(別紙3)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費（ショップ、レストラン等に係る従業員の人件費を除く）
- 2 施設維持管理業務費
 - (1) 光熱水費
 - (2) 施設維持管理費
 - ①施設設備保守点検費等
 - ②清掃、警備、樹木管理等
 - ③施設の修繕費・消耗品費
 - ④受付案内業務費等
- 3 事業活動費
 - (1) 調査研究業務費
 - (2) 教育普及・生涯学習支援業務費
 - (3) 資料修復費等
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
 - (1) 展覧会及び展示事業費
 - ①常設展示、展示替えに係る経費
 - ②企画展示に係る経費
 - ③図録等の作成費
 - (2) 業務経費
 - ①広報、マーケティング費用
 - ②寸劇、イベント等自主事業費
 - ③駐車場運営費
 - ④施設貸出業務費
 - (3) ボランティア経費
 - (4) ミュージアムショップ経費
 - (5) レストラン経費
- 2 その他

博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び 施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
資料等の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙5)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるものと認められるもの。以下同じ）の保護の重要性を認識し、指定管理業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。
この協定が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、指定管理業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報について、盗難、漏えい、滅失及びき損の防止、乙内部における盗用の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第5 乙は、甲が指示したときを除き、指定管理業務に関して知り得た個人情報を、協定の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第6 乙は、甲が承諾したときを除き、指定管理業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この協定による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第8 乙は、指定管理業務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この協定の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示するときはその指示に従うものとする。

(従事者への周知)

第9 乙は、指定管理業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

第10 甲は、乙が指定管理業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(立ち入り検査)

第11 甲は、必要と判断した場合には、乙が指定管理業務を遂行する事業所内部に立ち入り、その個人情報の管

理状況について検査することができる。この場合には、事前に乙に通知するものとするが、甲において緊急を要すると判断した場合には、事前の通知なく立ち入り検査を実施することができるものとする。

(事故報告)

第 12 乙は、この協定に違反する事態もしくは事故が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(罰則)

第 13 (1) 指定管理業務に従事していた者が在職中又は退職後に行った行為に関する刑罰

①指定管理業務に従事している者又は従事していた者（以下「従業員等」という。）が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられる。

（長崎県個人情報保護条例第63条）

②従業員等が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられる。（同条例第64条）

③従業員等が、その業務に関して知り得た保有個人情報を、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰則に処せられる。（同条例第65条）

(2) (1) の行為についての受託者に対する刑罰

従業員等がおこなった(1)の①から③までの行為については、乙（同条例第68条第1項の法人又は人をいう。）に対しても、①から③までに掲げられた罰金刑が科せられる。

長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があつたときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること。
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのものと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第11条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第12条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の10日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めたときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。

3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第13条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

(1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき

(2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき

(3) 公序良俗に反すると認められるとき

(4) 過去において、第8条の規定による損害を与えたもの、又は第9条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。

(5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(特別閲覧許可の発行)

第14条 館長は、第3条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第2号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第15条 特別閲覧のできる時間は原則として午前9時30分から午後6時までとする。

(特別閲覧の条件)

第16条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

(1) 職員の立会いのもとで閲覧すること

(2) 閲覧中は職員の指示に従うこと

(3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第17条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第18条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第19条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めたときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委 任)

この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

(資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

(資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

(資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

(画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。
- (4) その他、適切と思われる方法による。

2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない

らない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。
(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。

3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委 任)

この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

14 利用案内

1) 開館時間

展示室	8:30~19:00 (最終入館 30 分前)
資料閲覧室・ショップ	8:30~19:00
レストラン「銀嶺」	10:30~21:00 (オーダーストップ 1 時間前)
伝統工芸体験工房・貸工房	9:00~18:00
施設貸出	9:00~21:00
駐車場	8:30~22:00

※ 12/30 ~ 1/3 は駐車場を除き、10:00~18:00

2) 休館日

毎月第 3 火曜日 (祝日の場合は翌日)

3) 観覧料

●常設展示

大人 600円〔480円〕 小中学生 300円〔240円〕

※〔 〕内は 15 名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳 (身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳) 保持者及び介護者 1 名は 5 割減。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

●企画展示 別料金

4) 友の会

●年会費 5,000 円

●特典 ・常設展の無料観覧

・当館主催企画展などの無料観覧 ※同伴者は前売り料金にて入場可能。無料入場対象外の企画展あり。

・「長崎れきぶんニュース」を年 4 回送付。

5) 交通案内

アクセス・駐車場台数

●路面電車「桜町」電停下車、徒歩 5 分。

●路面電車「公会堂前」電停下車、徒歩 7 分。

●路面バス「桜町公園前」バス停下車、徒歩 3 分。

●長崎自動車道 (長崎芒塚 IC) より、諏訪神社方面へ 10 分。

●一般車 62 台、大型バス 5 台

6) お問い合わせ

〒850-0007 長崎県長崎市立山 1 丁目 1 番 1 号

TEL. 095-818-8366 FAX. 095-818-8407

<http://www/nmhc.jp>

平成 23 年度
長崎歴史文化博物館年報

2012 年 9 月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館
〒 850-0007 長崎県長崎市立山 1-1-1
TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407
印刷 日本紙工印刷株式会社

